

消 防 概 要

令 和 7 年 版



夢ふくらみ安心して暮らせる元気都市いせさき

伊 勢 崎 市 消 防 本 部

は じ め に

この概要は、令和6年及び令和7年4月1日現在における伊勢崎市消防本部管内の現勢と消防諸般の事項を収録し、当消防本部の実態を広く紹介するとともに、今後の消防行政の合理的な運営に資するために編集したものです。

本書をご高覧いただき、消防行政に対するご理解をいただくとともに、防災思想の高揚を図るためご活用いただければ幸いに存じます。

令和7年7月

伊勢崎市消防本部

令和6年1月～12月 管内で発生した災害件数

火 災	108件
救 急	13,897件
救 助	75件

目 次

◇ 一般概要

位置と地勢	1
管内の面積・人口・世帯数	1
消防の沿革	2
消防署配置図	12
消防の組織	13
庁舎の位置・概要	14
歴代の消防長	15

◇ 総 務

職員の配置状況	16
職員の階級別年齢状況	17
職員の階級別勤続状況	18
教育訓練・研修等実施状況	19
職員特殊技能資格取得表	21
令和 6 年度職場衛生管理状況	21
令和 7 年度一般会計当初予算	22
令和 7 年度消防費予算額	23
予算と人口、世帯数との比較（過去 5 年間）	23
伊勢崎市消防費決算額（過去 5 年間）	23

◇ 予 防

〈査察対象物〉	24
管内人口の推移と査察対象物の状況	24
査察対象物の現況	25
中高層建築物棟数（4 階以上）	26
査察対象物の立入検査状況	27
各種届出等の状況	28
〈建築・設備〉	29
建築同意事務処理の推移	29
計画通知事務処理の推移	29
建築通知事務処理の推移	29
月別建築同意件数	30
査察対象物の検査状況	31
消防用設備等の検査状況	32
防火対象物定期点検及び防災管理	32
〈危険物施設〉	33
危険物製造所等の設置状況	34
危険物製造所等許可・検査・届出等の件数	35
危険物製造所等施設数及び事業所数の推移	36
火薬類（煙火）消費許可	37

◇ 警 防

〈消防救助〉

消防隊出動状況	38
高速自動車国道等出動状況（救急・火災・救助・支援出動）	39
水防関係・水防訓練	40
水防倉庫資器材備蓄一覧表	41
応援協定	42
救助活動概要	45
救助活動の推移（過去10年間）	45
事故種別救助活動状況	46
事故種別発生場所別出動件数	46

〈指揮調査〉

火災の概況	
指揮活動・指揮隊出動内訳	47
火災の状況（令和5年・令和6年比較）	48
市町別出火状況	49
火災状況の推移・火災件数の推移	50
火災件数（建物・車両・その他の火災の推移）	51
出火原因	53
火災による死傷者	55
署・分署別火災発生状況	56

〈装備・施設〉

消防車両等現有配置状況	57
消防車両一覧表	58
装備品一覧表	61
消防水利施設現況・年度別新設消火栓現況・消防水利整備事業	63

◇ 救 急

救急概要	64
救急出動件数の推移	64
市町別救急出動件数の推移（過去10年間）	65
救急活動概要	66
救急隊別出動状況	66
発生市町別救急出動件数	67
発生市町別救急搬送人員	67
現場到着までの所要時間	68
病院収容までの所要時間	68
月別救急出動件数	68
曜日別救急出動件数	68
時間別救急出動件数	69
救急隊員の行った応急処置件数	69
事故種別年齢区分別搬送人員	70
急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員	70
住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況	71
応急手当普及啓発活動の推移（過去10年間）	71

◇ 通信指令

通信指令系統図	72
高機能消防指令センターシステム系統図	73
無線通信設備一覧	74
119番通報受信状況	75
災害情報案内テレホンサービス利用状況	75
火災情報メール配信サービス利用状況	75
救急病院等案内テレホンサービス利用状況	76
救急病院等案内テレホンサービス科目別案内状況	76
気象情報発表状況	77

◇ 消防音楽隊

消防音楽隊編成表・歴代の音楽隊長	78
派遣状況の推移	79
令和6年度派遣状況	79

◇ 消防団

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団現況配置図	80
伊勢崎市消防団の沿革	81
伊勢崎市消防団組織表	84
伊勢崎市消防団車両一覧表	86
伊勢崎市消防団ポンプ車等の配備状況及び現有台数	87
伊勢崎市消防団無線配備一覧表	88
伊勢崎市消防団資機材配備一覧表	88
伊勢崎市消防団員年齢別状況	89
伊勢崎市消防団員階級別在団年数状況	89
伊勢崎市消防団員の職業構成別状況	89
伊勢崎市消防団員の就業形態別状況	89
伊勢崎市消防団出動状況	89
伊勢崎市消防団充足率	89

◇ 消防関係団体

消防関係団体の現況	90
女性防火クラブの現況	91
少年消防クラブの現況	91

一 般 概 要

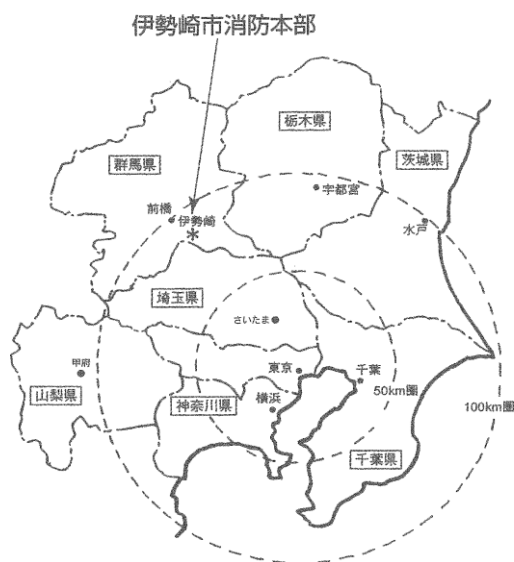
位 置 と 地 勢

当消防本部は群馬県平野部のほぼ中央に位置し、首都東京から西北方約100km圏内にあり諸機能の集積した前橋地区、太田地区および高崎地区とともに有機的な関連をもちつつ、これらの都市群の一角を形成し首都圏整備法に基づく広域都市開発区域として北関東における大規模都市建設の開発拠点となっている。

地勢は、北部に標高150m～170mの丘陵が散在しているが、北部から、南東に向かって、約150分の1のきわめてゆるやかな勾配で平坦部が展開しており、丘陵地帯は、管内の僅か1.0%に満たない状況である。

また、地質は、西部から南部を流れる利根川、中部の広瀬川、粕川、東部を流れる早川などを中心に、沖積層が広がっており、洪積層にはさまった形で分布している。

なお、北方面面には赤城山がそびえ、西方には、榛名山をはじめ、上信越連峰が望見される環境であるため、冬は「上州名物からっ風」などと俗称される赤城おろしが強く、また夏には雷も激しい。



管内の面積・人口・世帯数

	面積(k㎡)	令和6年4月1日現在		令和7年4月1日現在		人口伸び率(%) (前年度比)
		人口(人)	世帯数	人口(人)	世帯数	
伊勢崎市	139.44	211,923	96,010	211,651	97,403	-0.12
玉 村 町	25.78	35,637	16,320	35,402	16,440	-0.66
合 計	165.22	247,560	112,330	247,053	113,843	-0.20

消 防 の 沿 革

沿革 ●協定 ■訓練		施設・車両・通信等整備
昭和18年	3 月	・伊勢崎市警防団常備消防部を開設する。（部員 1 4 人・自動車ポンプ 2 台）
昭和22年	1 2 月	・伊勢崎市警防団を伊勢崎市消防団に改称する。
昭和28年	9 月	・伊勢崎市消防団常備消防部が救急業務を開始する。
昭和29年	1 1 月	・伊勢崎市消防団常備消防部を廃し、伊勢崎市消防本部・消防署を開設する。 (職員 3 1 人・速消車 2 台・救急自動車 1 台・普通車 1 台)
昭和30年	9 月	・消防用無線電話(短波)装備設置(基地局 1 台・移動局 1 台・受信機 3 3 機) 《市長 1 ・消防幹部 5 ・消防団詰所 2 5 ・水源地 1 ・東電 1 》
昭和32年	8 月	・境町消防団常備消防部を開設する。（部員 2 人・速消車 1 台）
昭和40年	3 月	・超短波無線電話装置配備（基地局 1 台・救急自動車）
昭和41年	4 月	・玉村町は町役場職員により救急業務を開始する。
	1 2 月	・超短波無線電話装置配備（1 号車・3 号車）
昭和42年	3 月	・超短波無線電話装置配備（2 号車・化学車・指令車）
	4 月	・境町消防団常備消防部を廃し、境町消防本部・消防署を開設する。 (職員 2 8 人・速消車 1 台・普通車 1 台)
	1 2 月	・境町消防本部が救急業務を開始する。
昭和44年	1 月	・伊勢崎市が赤堀村・東村の救急業務を受託する。
昭和45年	2 月	【施設】伊勢崎市消防庁舎（後に広域消防本部庁舎）起工
昭和46年	3 月	・伊勢崎佐波消防組合発足に伴い、伊勢崎市消防本部・境町消防本部を解散する。
	4 月	・伊勢崎佐波消防組合を発足する。
	1 1 月	【車両（新規）】連絡車（伊勢崎消防署）
	1 2 月	【車両（新規）】スノーケル車（伊勢崎消防署）
昭和47年	3 月	【施設】伊勢崎消防署北分署庁舎・国定・境・玉村消防署が新築完成する。
	4 月	・国定消防署・玉村消防署・伊勢崎消防署北分署が業務を開始する。 ・消防職員 4 6 人増員する。（職員数 1 3 8 人） (消防本部 1 9 人・伊勢崎消防署 4 1 人・北分署 1 3 人・国定消防署 1 9 人・ 境消防署 2 9 人・玉村消防署 1 7 人)
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・普通消防ポンプ自動車・連絡車 (伊勢崎消防署北分署)
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・救急自動車・連絡車（国定消防署・玉村消防署）
	5 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（境消防署）
	8 月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）
	9 月	・伊勢崎佐波消防組合を解散する。
	1 0 月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合へ消防事務を編入する。
昭和48年	2 月	【車両（新規）】広報車（消防本部） 《伊勢崎ライオンズクラブ・伊勢崎中央ライオンズクラブより寄贈》
	3 月	・救急一斉指令装置配備（伊勢崎消防署）
	4 月	・消防職員 9 人増員する。（職員数 1 4 1 人）
	7 月	【車両（新規）】救急自動車（玉村消防署）《群馬県農業共済協同組合連合会より寄贈》
	8 月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）《日本消防協会より寄贈》
	9 月	【車両（新規）】救急自動車（境消防署） ・自動気象記録観測装置設置（伊勢崎消防署）
	1 0 月	・伊勢崎消防署北分署が救急業務を開始する。

	1 1 月	【車両（新規）】大型消火器積載車（境消防署）《境ライオンズクラブより寄贈》
昭和49年	4 月	・消防職員 4 人増員する。（職員数 1 4 5 人）
	1 0 月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）《伊勢崎佐波危険物安全協会より寄贈》
昭和50年	4 月	・消防本部総務課に消防団係を新設する。
	7 月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東 1 都 6 県共催》
	1 1 月	【車両（新規）】連絡車（国定消防署）《国定ライオンズクラブより寄贈》
		【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
	1 2 月	● 大火災・その他特殊火災が発生した場合の被害を最小にする目的で、群馬県全域の 1 1 消防本部と相互応援協定を締結する。
昭和51年	2 月	・防災通信の合理化（県波導入）のため、消防車用超短波無線基地局設置（消防本部）
	4 月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合消防団審議会を発足する。 ・消防職員 5 人増員する。（職員数 1 5 0 人）
	1 1 月	【車両（新規）】消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）《日本損害保険協会より寄贈》
	1 2 月	● 特殊災害による被害を最小にする目的で、群馬・栃木隣接の 5 消防本部と相互応援協定を締結する。 （桐生市・太田地区・館林地区・佐野地区・足利市）
昭和52年	2 月	【装備】河川等における野火対策強化のため、可搬動力ポンプを配備する （伊勢崎消防署・境消防署）
	6 月	【車両（新規）】広報車（伊勢崎消防署）
昭和53年	4 月	・消防職員 3 人増員する。（職員数 1 5 3 人）
		【車両（新規）】連絡車（消防本部）
	9 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署）
	1 1 月	・伊勢崎消防団の出場指令合理化を図るため緊急指令装置を設置する。 （三郷・宮郷・豊受地区）《2 ヶ年継続事業》
	1 2 月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署）《日本損害保険協会より寄贈》
昭和54年	1 月	【車両（新規）】広報車（境消防署）
	2 月	【車両（新規）】乗用車（境消防署）《境危険物安全協会より寄贈》
	4 月	・消防職員 2 人増員する。（職員数 1 5 5 人）
	1 1 月	・伊勢崎消防団の出場指令合理化を図るため緊急指令装置を設置する。 （殖蓮・伊勢崎北・南・茂呂・名和地区）《継続 2 年次》
昭和55年	4 月	・消防職員 2 人増員する。（職員数 1 5 7 人） ・救急医療情報システムを財団法人群馬県救急医療情報センターとの協定により運用開始する。
	6 月	・住民サービスと通信業務を円滑にするため、テレホンサービスを開始する。 【車両（新規）】広報連絡車（国定消防署・玉村消防署）
昭和56年	3 月	【車両（新規）】30m級はしご付消防ポンプ自動車・化学消防ポンプ自動車Ⅲ型・救助工作車 （伊勢崎消防署） 【車両配置替え】スノーケル車（伊勢崎消防署→境消防署）
昭和57年	2 月	【車両（新規）】広報車（消防本部）
	3 月	【施設】伊勢崎消防署南分署庁舎及び救助訓練施設が新築完成する。
	4 月	・消防職員 1 1 人増員する。（職員数 1 6 8 人） ・伊勢崎消防署南分署が業務を開始する。 【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車・普通ポンプ自動車・救急自動車・広報車
	8 月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署）《日本消防協会を通じ日本船舶振興会より寄贈》
	1 2 月	【車両（新規）】広報連絡車（消防本部・伊勢崎消防署）
昭和58年	1 月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署北分署・国定・境・玉村消防署） 【車両（新規）】救急自動車（国定消防署）

	3月	【車両（新規）】普通消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【施設】境消防署庁舎・車庫を増改築する。
	9月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）《富士重工業㈱より寄贈》
昭和59年	5月	■ 第6回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（伊勢崎市役所）
	11月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）《日本自動車工業会より寄贈》
昭和60年	3月	【車両（新規）】広報車（伊勢崎消防署北分署） 【車両（新規）】広報車（国定消防署）《国定ライオンズクラブより寄贈》 【車両（新規）】救急自動車（境消防署・玉村消防署）
	4月	・非常備消防に関する事務が組合の共同処理する事務から除かれ、消防団が市町村へ帰属する。 ・境町消防団の出場指令の合理化を図るため緊急指令装置を設置する。
	7月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東1都6県共催》
	10月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【装備（新規）】水難救助用アルミボート（伊勢崎消防署南分署）
昭和61年	4月	・消防職員1人増員する。（職員数169人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（昭和63年3月31日まで） ● 関越自動車道の本庄から関越トンネル内県境間における災害を最小にする目的で、6消防本部と相互応援協定を締結する。
	11月	・消防本部警防課に通信指令係を新設する。
昭和62年	1月	【通信】広域消防の火災出場態勢を強化するため、出場区分を大幅に改正し、各無線局の呼出しを変更する。 ・広域管内における救急隊の多重出場に対処するため、出場区分を定める。 【施設】国定消防署通信室を増改築する。
	10月	【施設】消防本部庁舎3階に通信指令室及び事務室を増築する。
	11月	【車両（更新）】普通ポンプ自動車BD-I型（国定消防署・境消防署） 【車両（新規）】15m級はしご付消防ポンプ自動車（バスケット付）（境消防署）
昭和63年	2月	【通信】昭和62・63年度2ヵ年継続事業（国庫補助）として計画した消防緊急情報システム（Ⅱ型）のうち指令装置・無線統制台・自動出場指令装置及び電話交換機の設置が完了し、運用開始する。
	4月	【通信】群馬県防災行政無線を群馬県との協定により運用開始する。
	6月	【車両（新規）】広報車（消防本部・伊勢崎消防署・玉村消防署）
	9月	【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【施設】玉村消防署庁舎を新築移転する。
	11月	【車両（新規）】マイクロバス（消防本部）
	12月	【車両（新規）】救急自動車（伊勢崎消防署） 【車両（新規）】連絡車（境消防署）《境町危険物安全協会より寄贈》
平成元年	2月	【施設】国定消防署車庫を増改築する。
	3月	【通信】消防緊急情報システム（Ⅱ型）のうち気象観測装置及び地図等検索装置の設置が完了し、運用開始する。
	5月	■ 第11回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（伊勢崎市文化会館）
	11月	【車両（更新）】広報車（境消防署） 【車両（新規）】資機材運搬車（伊勢崎消防署南分署）
	12月	【施設】消防本部庁舎内部の改修工事を行い、伊勢崎消防署事務室を庁舎1階に移転する。
平成2年	3月	【施設】境消防署に訓練塔1基を建設する。 【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（3,400ℓ）（玉村消防署）
	4月	・消防職員6人増員する。（職員数175人）

		・警防課装備施設係を廃し、その事務を総務課経理係に包含する。
	8 月	【車両（新規）】小型動力ポンプ付水槽車（10,000ℓ）（伊勢崎消防署）
		■ 群馬県総合防災訓練が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《群馬県・伊勢崎市共催》
	1 2 月	【通信】救急出動の増加に伴い救急波無線を導入する。
平成3年	2 月	【車両（更新）】広報車（消防本部）
	3 月	【施設】東消防署庁舎が新築完成する。 ・デジタル式遠隔装置を導入する。
	4 月	・消防職員 4 人増員する。（職員数 1 7 9 人） ・東消防署が業務を開始する。 【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ）・救急自動車・広報車 ・国定消防署を赤堀消防署に改称する。
	1 1 月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ）（境消防署・玉村消防署）
平成4年	3 月	【車両（新規）】照明車（6,000W）（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】救急自動車（伊勢崎消防署南分署）
	4 月	・消防職員 7 人増員する。（職員数 1 8 6 人）
	5 月	【車両（新規）】乗用車（消防本部）《恵工業株式会社より寄贈》
	7 月	【車両（更新）】広報車（伊勢崎消防署）
	9 月	【車両（更新）】救急自動車（赤堀消防署）
	1 2 月	・伊勢崎市高齢者向緊急通報システムを運用開始する。
平成5年	3 月	【施設】伊勢崎消防署西分署庁舎が新築完成する。
	4 月	・消防職員 1 2 人増員する。（職員数 1 9 8 人） ・伊勢崎消防署西分署が業務を開始する。【車両（新規）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ）・救急自動車
	7 月	・東村オフトーク通信を東村との協定により運用開始する。
	1 2 月	・玉村町オフトーク通信を玉村町との協定により運用開始する。
平成6年	1 月	【車両（更新）】救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	2 月	・応急手当講習会（普通救命講習会）の第 1 回目が行われる。
	3 月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（4,000ℓ） （伊勢崎消防署・伊勢崎消防署南分署・赤堀消防署） 【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（境消防署） ・パソコンを導入し、業務の合理化を図る。
	4 月	・消防職員 5 人増員する。（職員数 2 0 3 人） ・警防課通信指令係を廃し、通信指令課を新設する。（課長以下 1 3 人 指令 1 係・指令 2 係） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成 8 年 3 月 3 1 日まで）
	5 月	・組合第 1 号救急救命士が誕生する。
	6 月	・赤堀町防災無線を赤堀町との協定により運用開始する。
平成7年	2 月	【車両（更新）】広報連絡車（高床式）（消防本部）、救助工作車Ⅱ型（伊勢崎消防署）、 指令車（赤堀消防署） 【車両（更新）】救急自動車（境消防署・玉村消防署）
	4 月	・中隊制を係制に改める。 ・伊勢崎消防署に課制を敷き、救助 1 係・救助 2 係（各 6 人）を新設する。
	5 月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《建設省・関東 1 都 6 県共催》
	6 月	● 群馬県緊急消防援助隊が発足する。
	9 月	【施設】消防本部庁舎の落雷対策工事を行う。 ■ 第 1 7 回両毛六消防本部合同特殊災害訓練を実施する。（群馬県教育センター）
	1 0 月	・定数条例を改定し、2 0 3 人が 2 3 3 人となる。

		【車両（新規）】広報連絡車（伊勢崎消防署北分署・南分署・西分署）
平成8年	2月	【車両（更新）】化学車Ⅱ型（伊勢崎消防署）
	3月	【施設】赤堀消防署食堂等を増改築する。 【施設】伊勢崎消防署西分署・玉村消防署に訓練塔1基建設する。
	4月	・消防職員10人増員する。（職員数213人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成9年3月31日まで）
	10月	【通信】災害情報案内の同時情報提供（1,024人）サービスを開始する。
	12月	・境町防災無線を境町との協定により運用開始する。
平成9年	1月	・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成11年3月31日まで） ● 火災・地震等大規模災害が発生した場合の人的・物的被害を最小にする目的で、利根川を挟み隣接する埼玉県児玉郡市広域市町村圏組合及び深谷市・岡部町共同事務組合と応援協定を締結する。
	3月	【施設】伊勢崎消防署北分署庁舎を新築移転する。（付帯設備 訓練塔） 【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署） 【装備（新規）】高規格救急自動車導入に伴い、心電図受信装置を3病院（救急告示病院）に設置する。 【車両（更新）】指令車2台（消防本部）、指令車（伊勢崎消防署・玉村消防署） 【車両（新規）】資機材運搬車（消防本部）、普通ポンプ自動車（CD-I型900ℓ水槽付）（東消防署）
	4月	・消防職員11人増員する。（職員数224人） ・本部次長制を廃止する。 ・消防本部予防課に予防係（3人）及び各消防署（各分署を除く）に救急1係、救急2係（各3人）を新設する。
	5月	● 地震・台風・水害・火災及び事故等の災害時に、群馬県防災航空隊の応援を受けることによって被害を最小にする目的で群馬県と応援協定を締結する。
	11月	【車両（更新）】普通ポンプ自動車（CD-I型900ℓ水槽付）（赤堀消防署・境消防署） 【車両（新規）】指令車（消防本部）《柏井建設㈱より寄贈》
平成10年	1月	● 火災・地震等の災害時に、消火用水の供給応援を受けることによって被害を最小にする目的で、コンクリートミキサー車を有する企業と応援協定を締結する。
	4月	・消防職員3人増員する。（職員数227人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成12年3月31日まで）
	8月	【施設】赤堀消防署訓練場に照明灯を設置する。
	10月	【通信】携帯電話等からの119番通報システムを運用開始する。
平成11年	3月	【車両（更新）】40m級はしご付消防自動車（伊勢崎消防署） 【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	4月	・消防職員3人増員する。（職員数230人） ・伊勢崎市役所農林行政部庶務課へ職員を出向させる。（平成14年3月31日まで）
	6月	【施設】玉村消防署訓練場に照明灯を設置する。
	11月	【施設】東消防署訓練場に照明灯を設置する。
平成12年	1月	・ダイヤルイン方式の運用を開始する。
	2月	【通信】平成11年度事業（国庫補助）として計画した消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）指令装置、表示盤、無線統制台、自動出動指定装置、指令伝達装置及び気象情報収集装置等の更新が完了し運用開始する。 ・群馬県知事特別功労表彰を受賞する。 （群馬県消防大会において参加したアトラクション、寸劇「残月赤城山」が県知事に評価されたもの）
	3月	【車両（新規）】高規格救急自動車（Ⅱ課程対応）（東消防署）
	4月	・消防職員2人増員する。（職員数232人） ・火災調査課を新設する。（火災調査係 課長以下4人）【車両（新規）】火災調査車

		・群馬県総務部消防防災課へ職員を派遣する。（平成14年3月31日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成14年3月31日まで）
	11月	【車両（更新）】広報連絡車（消防本部）
平成13年	3月	【車両（新規）】高規格救急自動車（Ⅱ課程対応）（赤堀消防署） ・イベント広報用のミニ消防車・超ミニ消防車を製作し運用を開始する。
	3月	・北関東自動車道開通に伴い、高速救急隊（北分署・10人を併任）を発足し運用開始する。
	4月	・消防職員1人増員する。（職員数233人） ・定数条例を改正し、233人が242人となる。
	8月	【車両（新規）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	10月	【車両（新規）】指令車（境消防署）
平成14年	3月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）（伊勢崎消防署北分署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署南分署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（Ⅱ課程対応）（伊勢崎消防署西分署） 【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（4,500ℓ）（玉村消防署）
	4月	・消防職員2人増員する。（職員数235人） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成17年3月31日まで） ・伊勢崎市役所農林行政部庶務課へ職員を出向させる。（平成16年12月31日まで）
	10月	・消防本部・各署（分署）へインターネット接続用パソコンを導入し、運用開始する。
	11月	【装備（新規）】水難救助用水上バイク（境消防署）《境町ライオンズクラブより寄贈》
平成15年	2月	【車両（更新）】指令車（東消防署）、高規格救急自動車（玉村消防署）
	3月	【車両（更新）】火災調査車（火災調査課）、資機材運搬車（伊勢崎消防署南分署） 【施設】赤堀消防署庁舎を新築移転する。
	4月	・消防職員5人増員する。（職員数240人）
	9月	【装備（更新）】水難救助用パワーボート（伊勢崎消防署）
平成16年	2月	【車両（更新）】高規格救急自動車（境消防署） ・消防本部・伊勢崎消防署の一部に庁内ネットワークシステム（サーバ1台・パソコン30台）を導入する。
	3月	【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（10,000ℓ）（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）（東消防署）、乗用車（消防本部） 【施設】火災調査課の消防本部庁舎移転に伴い改築する。
	4月	・消防職員12人採用、前年度退職者12人。（職員数240人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成18年3月31日まで）
	6月	【通信】IP電話を用いた緊急通報を運用開始する。
	12月	・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合が解散する。
平成17年	1月	・市町村合併により伊勢崎市消防本部に名称変更する。 ・佐波郡玉村町より消防事務（消防団・水利事務を除く）を受託する。
		【車両（更新）】マイクロバス（消防本部）
	4月	・消防職員6人採用、前年度退職者4人。（職員数242人）
	5月	■ 利根川水系連合水防演習が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《国土交通省・関東1都6県共催》

	1 2 月	【通信】携帯電話直接受信システムを運用開始する。
平成18年	3 月	【車両（更新）】指令車（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）（境消防署）
	4 月	・消防職員7人採用、市長部局より1人出向、前年度退職者11人。（職員数239人） ・消防本部警防課に救急救助係を新設し、消防係を消防安全係に名称変更する。 ・群馬県総務部消防防災課へ職員を派遣する。（平成20年3月31日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成21年3月31日まで）
	8 月	【装備（新規）】潜水用具（伊勢崎消防署）、水難救助用ゴムボート（伊勢崎消防署南分署） 【車両（新規）】牽引用トレーラー（伊勢崎消防署南分署）
	9 月	【施設】伊勢崎消防署北分署に浴室等を設置する。
平成19年	1 月	【施設（更新）】高圧ガス製造所内空気充填設備（30MPa対応コンプレッサー）（消防本部）
	3 月	【施設（更新）】緊急出動灯（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）、 水槽付消防ポンプ自動車（3,500ℓ）（玉村消防署） 【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（2,000ℓ） （伊勢崎消防署西分署・境消防署）
	4 月	・消防職員6人採用、前年度退職者5人。（職員数240人）
	9 月	【施設】赤堀消防署庁舎の浴室を増設する。
平成20年	2 月	【車両（更新）】指令車（消防本部）、15m級はしご付消防ポンプ自動車（境消防署） 【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（赤堀消防署）
	4 月	・消防職員11人採用、前年度退職者10人。（職員数242人） ・火災調査課を廃し、消防本部に指揮調査課を新設する。（指揮調査第1係、第2係） （課長〔総務担当が兼任〕以下9人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成22年3月31日まで）
	9 月	【施設】伊勢崎消防署寝室棟が完成する。（リースによる規格建築物）
平成21年	1 月	【車両】40m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施する。（伊勢崎消防署）
	2 月	【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	4 月	・消防職員16人採用、前年度退職者16人。（職員数242人） ・高崎市等広域市町村圏振興整備組合に消防救急無線共同整備に係る事務を委託する。
	1 0 月	【通信】消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）のうち指令装置、表示盤、指令伝送装置の改修及び統合型位置情報通知装置（携帯・IP電話）の設置が完了し、運用を開始する。
	1 2 月	【車両（更新）】高規格救急自動車（東消防署）
平成22年	3 月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（伊勢崎消防署南分署） 【施設】伊勢崎消防署仮設訓練塔の建替を行う。
	4 月	・消防職員5人採用、前年度退職者5人。（職員数242人） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成25年3月31日まで） ・高崎市等広域消防局へ職員を派遣する。（平成23年3月31日まで） 【車両配置替え】普通ポンプ自動車（CD-I型900ℓ水槽付）《境消防署→伊勢崎市消防団本部》 【車両配置替え】防火号《伊勢崎市消防団本部→伊勢崎消防署》 【車両配置替え】水防車《伊勢崎市消防団境方面隊本部→境消防署》
	7 月	【通信】統合型位置情報システム（NTT固定電話）の運用を開始する。
平成23年	2 月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署南分署） 【施設】玉村消防署庁舎を増築する。

	3月	【施設】消防本部庁舎の耐震診断を業務委託する。
	4月	・消防職員8人採用、前年度退職者8人。（職員数242人） ・条例定数を改正し242人が260人となる。
	6月	【施設】伊勢崎消防署緊急車両車庫の壁面塗装工事を行う。（東日本大震災による災害復旧工事）
	8月	【車両（更新）】指令車（消防本部・赤堀消防署）
	10月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署西分署）
平成24年	2月	【車両（更新）】高規格救急自動車（玉村消防署） 【車両（更新）】救助工作車Ⅲ型（伊勢崎消防署） ・消防水利（防火水槽）の一元管理を図るため、消防水利管理システムを構築する。
	3月	【装備】緊急消防援助隊設備及び多数傷病者発生災害対応の強化を図るため、チューブ膨張式エアテント付属品（前室・エアコン等）を購入し、配備する。 ・高崎市等広域市町村圏振興整備組合との消防救急無線共同整備に係る事務委託を廃止する。
	4月	・消防職員12人採用、前年度退職者10人。（職員数244人） ・毎月実施していたサイレンの定時吹鳴試験を、毎月1日の正午実施に変更する。
	8月	【通信】全国瞬時警報システム（J-ALERT）を整備し、運用開始する。 【通信】市民向け災害情報メールの配信を開始する。
	11月	・イベント用ミニはしご車の運用を開始する。 ・消防本部庁舎敷地を拡張する。（借用していた駐車場ほか5筆 1867.74㎡を取得）
平成25年	2月	【車両（更新）】指令車・指揮車（消防本部）・高規格救急自動車（境消防署） 【車両（更新）】玉村消防署に指令車が更新配備される。 ● 大規模災害時における石油類燃料の供給に関する協定を藤本商事株式会社と締結する。
	3月	【施設】伊勢崎消防署西分署に女性職員用スペース設置工事を行う。
	4月	・消防職員16人採用、前年度退職者5人。（職員数255人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成27年3月31日まで） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成28年3月31日まで）
	9月	■ 群馬県総合防災訓練が実施される。（八斗島ちびっこ広場）《群馬県・伊勢崎市共催》 【施設】消防本部車庫棟が完成する。（リース契約） 【施設】消防本部庁舎建設工事を着工する。（平成27年2月27日まで）
	10月	【施設】伊勢崎消防署南分署の車庫シャッター設置工事を行う。
平成26年	1月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
	3月	【車両（更新）】資機材運搬車（パワーゲート付）（境消防署） 【車両配置替え】資機材運搬車《境消防署→伊勢崎消防署南分署》 【通信】平成25・26年度2ヵ年事業として計画した消防救急無線デジタル化整備工事のうち移動局の車載型無線装置及び卓上型無線装置の設置工事、携帯型無線装置及び可搬型無線装置の配置が完了する。
	4月	・消防職員16人採用、前年度退職者16人。（職員数255人） ・前年度退職者6人を再任用する。（再任用職員数6人） ・伊勢崎消防署の各分署に救急1係・救急2係（各3人）を新設する。
平成27年	3月	【施設】平成25・26年度2ヵ年事業の消防本部庁舎が完成する。 【通信】平成26年度事業として計画した消防救急無線デジタル化整備工事により基地局無線設備及び指令センターの整備が完了し、高機能消防指令センターの運用を開始する。
	4月	・消防職員9人採用、前年度退職者7人。（職員数256人） ・前年度退職者3人を再任用する。（再任用職員数3人） ・指揮調査課に調査係を新設する。

	5 月	■ 利根川水系連合・総合水防演習が実施される。（境島村地先 利根川左岸 1 7 7 k m 付近） 《主催・国土交通省、関東 1 都 6 県、伊勢崎市》
	6 月	【施設】玉村消防署用地を拡張する。（1546㎡を取得）
	9 月	【施設】消防本部旧庁舎解体外工事を行う。
平成28年	1 月	【施設】東消防署車庫棟塗装工事を行う。 【車両（更新）】高規格救急自動車（赤堀消防署）
	3 月	【車両（新規）】資機材運搬車（支援車Ⅱ型）（消防本部） 【車両配置替え】水難救助用水上バイク《境消防署→伊勢崎消防署南分署》 牽引用トレーラー《境消防署→伊勢崎消防署南分署》 【車両配置替え】水難救助用ゴムボート《伊勢崎消防署南分署→伊勢崎消防署》
	4 月	・消防職員 3 人採用、前年度退職者 2 人。（職員数 2 5 7 人） ・前年度退職者 2 人を再任用する。（再任用職員数 2 人） ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（平成 3 0 年 3 月 3 1 日まで）
	1 1 月	【施設】伊勢崎消防署南分署訓練塔木製パネル改修工事を行う。
平成29年	2 月	【車両（更新）】広報連絡車（本部 2）（消防本部） 【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
	3 月	【施設】消防本部訓練塔が完成する。
	4 月	・消防職員 4 人採用、前年度退職者 2 人。（職員数 2 5 9 人） ・前々年度退職者 2 人を再任用する。（再任用職員数 2 人） ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（平成 3 2 年 3 月 3 1 日まで）
	7 月	【施設】伊勢崎消防署西分署空調設備機器等交換工事を行う。 【施設】東消防署空調設備機器等交換工事を行う。
平成30年	1 月	【車両（更新）】災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（伊勢崎消防署）
	3 月	【水利】伊勢崎消防署南分署に耐震性貯水槽（潜函工法）40㎡を設置する。
	4 月	・消防職員 4 人採用、前年度退職者 4 人。（職員数 2 5 9 人） ・前年度退職者 1 人を再任用する。（再任用職員数 1 人）
	5 月	【車両（新規）】危険物安全協会車 2 号車（消防本部）《危険物安全協会より寄贈》 ● 消防活動の協力に関する協定を株式会社サンケンと締結する。
	6 月	● 消防活動の協力に関する協定を第一工業株式会社と締結する。
	7 月	【車両（修繕）】38m級はしご付消防自動車のオーバーホールを実施する。（伊勢崎消防署）
	1 1 月	【車両（修繕）】15m級はしご付消防ポンプ自動車のオーバーホールを実施する。（境消防署） 【施設】伊勢崎消防署南分署車庫塗装工事を行う。
平成31年	1 月	【施設】赤堀消防署訓練場舗装工事を行う。
	2 月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署北分署）
	3 月	【車両（廃車）】防火号（伊勢崎消防署）
	4 月	・消防職員 4 人採用、前年度退職者 5 人。（職員数 2 5 8 人） ・前年度退職者 1 人を再任用する。（再任用職員数 2 人）
令和元年	7 月	【装備（更新）】水難救助用ボート（境消防署）
	9 月	【装備（更新）】水難救助ボート用船外機（境消防署）
令和2年	2 月	【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（東消防署）
	3 月	【車両（更新）】広報連絡車（伊勢崎消防署北分署・南分署・西分署） 【車両（更新）】指令車（本部 3）（消防本部）
	4 月	・消防職員 7 人採用、前年度退職者 4 人。（職員数 2 6 0 人 ※市役所出向者除く） ・前年度退職者 3 人を再任用する。（再任用職員数 5 人）

- ・群馬県消防学校へ職員を派遣する。（令和４年３月３１日まで）
- ・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（令和４年３月３１日まで）
- ・伊勢崎市役所総務部安心安全課へ職員を出向させる（令和５年３月３１日まで）

令和３年	１月	【車両（更新）】災害対応特殊救急自動車（伊勢崎消防署南分署）
	２月	【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（伊勢崎消防署北分署）
	４月	・消防職員５人採用、前年度退職者５人。（職員数２６０人※市役所出向者除く） ・前年度退職者３人を再任用する。（再任用職員数７人） ・消防本部に救急課（救急指導係・救急管理係）を新設する。 ・指揮調査課について、組織を警防課に移管し廃止する。 ・警防課について、上記組織の移管（１１人 指揮調査第１係・第２係）ほか、消防安全係を消防救助係に名称変更する。
	１２月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（東消防署）
令和４年	２月	【車両（更新）】高規格救急自動車（玉村消防署）
	３月	【車両（更新）】資機材運搬車（消防本部）
	４月	・消防職員６人採用、前年度退職者７人。（職員数２５９人※市役所出向者除く） ・前年度退職者３人を再任用する。（再任用職員数９人） ・定数条例を改正し、２６０人が２８３人となる。
		・群馬県総務部消防保安課へ職員を派遣する。（令和６年３月３１日まで） ● 大規模災害時の協力体制及び職員の教育に関する協定を群馬ボートライセンススクールと締結する。
	１２月	【通信】高機能消防指令センターの部分更新が完了する。
令和５年	１月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署西分署）
	３月	【車両（更新）】水槽付消防ポンプ自動車（玉村消防署）
	４月	・消防職員５人採用、前年度退職者２人。（職員数２６２人※市役所出向者除く） ・再任用職員数４人
		・群馬県防災航空隊へ職員を派遣する。（令和８年３月３１日まで） ・伊勢崎市役所総務部安心安全課へ職員を出向させる。（令和８年３月３１日まで）
	５月	【車両（更新）】指令車（境消防署）
	８月	【施設】境消防署庁舎を新築移転する。
	１１月	【車両（更新）】高規格救急自動車（伊勢崎消防署）
	１２月	【車両（更新）】高規格救急自動車（境消防署）
令和６年	３月	【車両（更新）】指令車（東消防署） 【装備（更新）】水難救助用ボート・船外機（伊勢崎消防署）
	４月	・消防職員８人採用、前年度退職者４名。（職員数２６６人※市役所出向者除く） ・再任用職員数２人
令和７年	１月	【車両（更新）】災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（境消防署） 【車両（更新）】高規格救急自動車（赤堀消防署）
	３月	【車両（更新）】小型動力ポンプ付水槽車（伊勢崎消防署）
	４月	・消防職員６人採用、前年度退職者６名。（職員数２６６人※市役所出向者除く） ・再任用職員数３人

消 防 署 配 置 図

消 防 本 部
伊勢崎市消防団本部

人 員	59名
指 令 車	4台
広 報 連 絡 車	4台
マイクロバス	1台
乗 用 車	1台
資機材運搬車	2台
指 揮 車	1台
火 災 調 査 車	1台
救急車(非常用)	2台

伊 勢 崎 消 防 署
第 1 ・ 第 2 方 面 隊 本 部

人 員	59名
タ ン ク 車	1台
小 型 動 力 車	1台
ポ ン プ 付 水 槽 車	1台
救 急 車	2台
は し ご 車	1台
化 学 車	1台
救助工作車Ⅲ型	1台
救助工作車Ⅱ型(非常用)	1台
指 令 車	1台
資 機 材 運 搬 車	1台



伊勢崎消防署北分署

人 員	21名
タ ン ク 車	1台
救 急 車	1台
広 報 連 絡 車	1台

伊勢崎消防署西分署

人 員	19名
タ ン ク 車	1台
救 急 車	1台
広 報 連 絡 車	1台



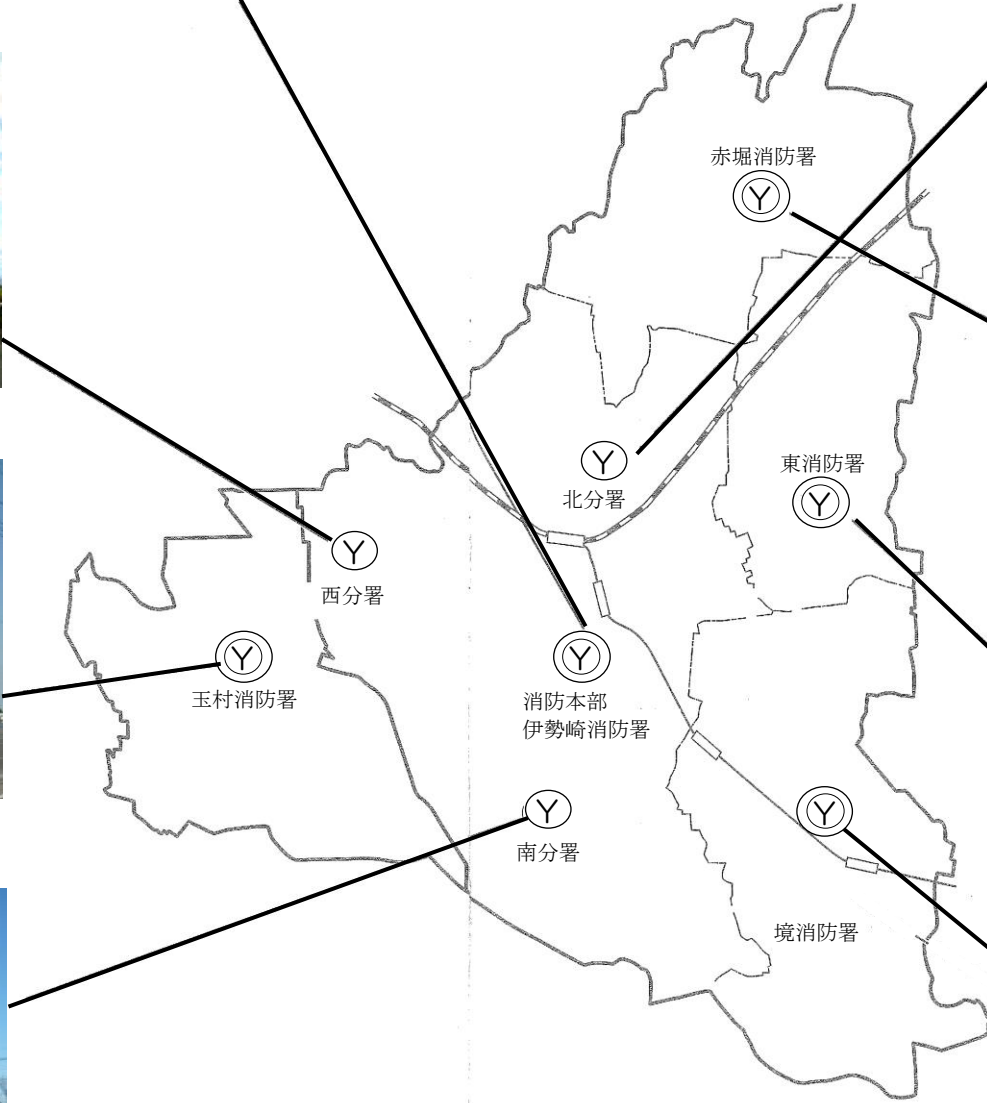
玉 村 消 防 署

人 員	24名
タ ン ク 車	1台
小 型 動 力 車	1台
ポ ン プ 付 水 槽 車	1台
救 急 車	1台
指 令 車	1台



伊勢崎消防署南分署

人 員	20名
タ ン ク 車	1台
救 急 車	1台
資機材運搬車	1台
広 報 連 絡 車	1台
被 牽 引 車	1台



赤 堀 消 防 署

赤 堀 方 面 隊 本 部

人 員	20名
タ ン ク 車	1台
普通ポンプ車	1台
救 急 車	1台
指 令 車	1台



東 消 防 署

東 方 面 隊 本 部

人 員	20名
タ ン ク 車	1台
普通ポンプ車	1台
救 急 車	1台
指 令 車	1台

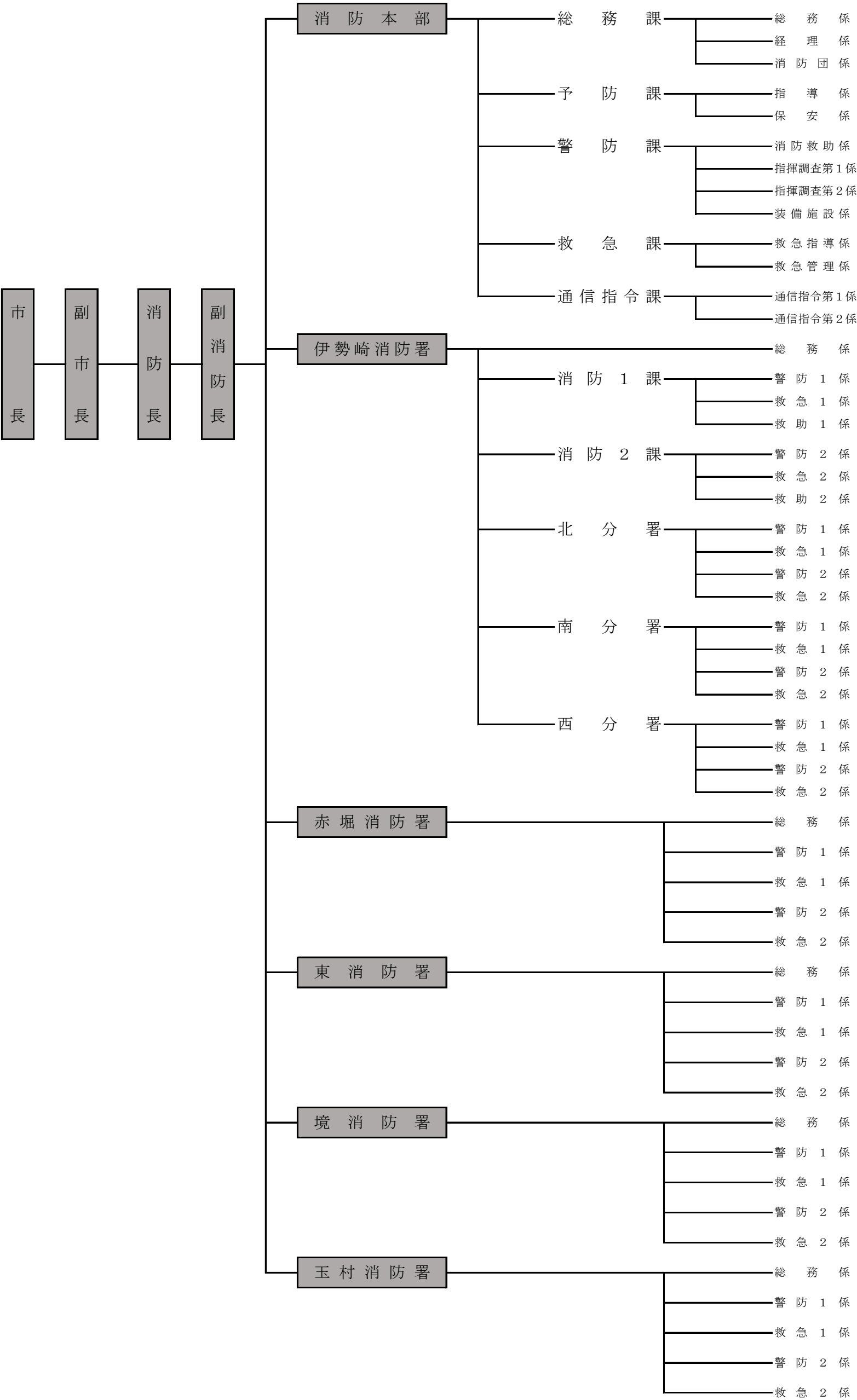


境 消 防 署

境 方 面 隊 本 部

人 員	24名
タ ン ク 車	1台
小 型 動 力 車	1台
ポ ン プ 付 水 槽 車	1台
救 急 車	1台
指 令 車	1台
は し ご 車	1台
資機材運搬車	1台

消 防 の 組 織



庁舎の位置・概要

名 称	位 置	建物面積・構造	敷地面積(㎡)	竣工年月日	工事費(千円)	電話・FAX(0270)	メールアドレス
消 防 本 部 伊 勢 崎 消 防 署	〒372-0031 伊勢崎市今泉町二丁目895番地	鉄筋コンクリート造4階建 延4398.33㎡	7,161.92	H27. 3	1,197,434	TEL 25-3511 (総) FAX 26-9995	sh-soumu@city.isesaki.lg.jp
		屋内貯蔵所 鉄筋コンクリート造 平屋建 17.39㎡		H27. 3	3,109	TEL 25-3311 (予) TEL 25-3916 (警) FAX 70-4121	yobou@city.isesaki.lg.jp keibou@city.isesaki.lg.jp
		車庫 鉄骨造平屋建 674.90㎡		H25 .9	83,601 (リース物件)	TEL 25-3933 (救) TEL 25-3510 (通) FAX 25-3613	kyukyu@city.isesaki.lg.jp tsushin@city.isesaki.lg.jp
		駐輪場(南) アルミ造平屋建 22.42㎡		H27. 3	978	TEL 25-3918 (伊) FAX 25-3650 TEL 25-3920 (伊救)	fd-isesaki@city.isesaki.lg.jp
		駐輪場(北) アルミ造平屋建 20.00㎡		H27. 9	5,000		
		訓練塔 A 512.35㎡		H29. 3	197,121		
		訓練塔 B 36.00㎡		H29. 3	32,227		
		訓練塔 C 168.44㎡		H29. 3	50,176		
伊 勢 崎 消 防 署 北 分 署	〒372-0015 伊勢崎市鹿島町429番地5	鉄筋コンクリート造2階建 延558.05㎡ 訓練塔 16.00㎡	2,000.00	H 9. 3 H 9. 3	168,230 6,046	TEL 25-5247 FAX 50-8198	fd-kita@city.isesaki.lg.jp
伊 勢 崎 消 防 署 南 分 署	〒372-0834 伊勢崎市堀口町656番地1	鉄筋コンクリート造2階建 延389.69㎡ 訓練塔 60.00㎡	2,131.42	S57. 3 S57. 3	72,905 上記金額に含まれる	TEL 32-0062 FAX 32-9695	fd-minami@city.isesaki.lg.jp
伊 勢 崎 消 防 署 西 分 署	〒372-0803 伊勢崎市宮古町89番地	鉄筋コンクリート造平屋建 延443.67㎡ 器材倉庫 20.40㎡ 訓練塔 17.85㎡	3,204.00	H 5. 3 H 5. 9 H 8. 3	108,716 3,650 5,562	TEL 21-4545 FAX 50-8126	fd-nishi@city.isesaki.lg.jp
赤 堀 消 防 署	〒379-2204 伊勢崎市西久保町二丁目341番地3	鉄筋コンクリート造2階建 延676.11㎡ 訓練塔 52.81㎡ 危険物倉庫 3.97㎡ 器材倉庫 32.08㎡	4,950.00	H15. 3 H15. 3 H15. 3 H15. 3	178,565 14,066 787 946	TEL 62-0230 FAX 62-0199	fd-akabori@city.isesaki.lg.jp
東 消 防 署	〒379-2234 伊勢崎市東小保方町3238番地	鉄筋コンクリート造平屋建 延473.30㎡ 危険物倉庫 4.00㎡ 器材倉庫 20.00㎡ 訓練塔 16.00㎡	4,200.49	H 3. 3 H 3. 3 H 3. 3 H 3. 3	106,965 1,100 2,180 4,960	TEL 62-8980 FAX 40-9167	fd-azuma@city.isesaki.lg.jp
境 消 防 署	〒370-0104 伊勢崎市境木島907番地	鉄骨造2階建 延904.26㎡ 消防団車庫 鉄骨造平屋建 75.39㎡ 危険物倉庫 4.00㎡ 訓練塔 56.40㎡	5,782.00	R 5. 6 R 5. 6 R 5. 6 R 5. 6	287,971 9,869 2,074 26,228	TEL 27-9119 FAX 76-0019	fd-sakai@city.isesaki.lg.jp
玉 村 消 防 署	〒370-1105 佐波郡玉村町大字福島548番地1	鉄筋コンクリート造2階建 延699.18㎡ 危険物倉庫 3.25㎡ 訓練塔 17.85㎡	4,446.00	S63.10 S63.10 H 8. 3 H23. 2	72,500 上記金額に含まれる 5,510 (庁舎増築) 34,784	TEL 65-2982 FAX 65-3157	fd-tamamura@city.isesaki.lg.jp

歴代の消防長

初代消防長	栗原 豊治郎 氏	(昭和46年 4月～昭和47年9月)
第2代消防長	高柳 良太 氏	(昭和47年10月～昭和50年3月)
第3代消防長	高橋 基樹 氏	(昭和50年 4月～昭和51年3月)
第4代消防長	栗林 啓三郎 氏	(昭和51年 4月～昭和53年2月)
第5代消防長	古池 已之吉 氏	(昭和53年 3月～昭和53年6月)
第6代消防長	中野 美津夫 氏	(昭和53年 7月～昭和56年3月)
第7代消防長	細井 佐内 氏	(昭和56年 4月～昭和63年3月)
第8代消防長	古部 三郎 氏	(昭和63年 4月～平成元年3月)
第9代消防長	品川 忠弥 氏	(平成元年 4月～平成 4年3月)
第10代消防長	新井 静雄 氏	(平成 4年 4月～平成 6年3月)
第11代消防長	新井 周雄 氏	(平成 6年 4月～平成 9年3月)
第12代消防長	井埜 宗市 氏	(平成 9年 4月～平成10年3月)
第13代消防長	多田 紀一 氏	(平成10年 4月～平成13年3月)
第14代消防長	寺岡 勝 氏	(平成13年 4月～平成14年3月)
第15代消防長	栗原 康二 氏	(平成14年 4月～平成16年3月)
第16代消防長	田村 映 氏	(平成16年 4月～平成18年3月)
第17代消防長	高橋 溥 氏	(平成18年 4月～平成19年3月)
第18代消防長	岡田 充博 氏	(平成19年 4月～平成20年3月)
第19代消防長	清水 政利 氏	(平成20年 4月～平成21年3月)
第20代消防長	田島 武雄 氏	(平成21年 4月～平成24年3月)
第21代消防長	毒島 吉一 氏	(平成24年 4月～平成26年3月)
第22代消防長	吉田 純一 氏	(平成26年 4月～平成27年3月)
第23代消防長	笠原 仁 氏	(平成27年 4月～平成29年3月)
第24代消防長	小島 輝男 氏	(平成29年 4月～平成30年3月)
第25代消防長	大澤 芳夫 氏	(平成30年 4月～平成31年3月)
第26代消防長	五十嵐 博充 氏	(平成31年 4月～令和 3年3月)
第27代消防長	鈴木 義人 氏	(令和 3年 4月～令和 4年3月)
第28代消防長	秋山 晴彦 氏	(令和 4年 4月～令和 5年3月)
第29代消防長	丹野 武志 氏	(令和 5年 4月～令和 6年3月)
第30代消防長	矢内 博 氏	(令和 6年 4月～令和 7年3月)
第31代消防長	長岡 秀和	令和 7年 4月～

総務



職 員 の 配 置 状 況

(令和7年4月1日現在)

階 級 別 配 置 別	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
条 例 定 数	283									
実 員	266 (3)	1	5	14	40	120	42 (3)	25	19	0
消 防 長	1	1								
副 消 防 長	1		1							
消 防 本 部	57		3	4	14	30	5		1	
総 務 課	11		1		3	6	1			
予 防 課	9			1	2	2	3		1	
警 防 課	16		1	2	3	10				
救 急 課	5		1		1	3				
※通信指令課	14			1	5	7	1			
本 部 付	2					2				
伊 勢 崎 消 防 署	119 (3)		1	6	12	55	21 (3)	16	8	
※伊勢崎署	59 (3)		1	3	4	26	9 (3)	10	6	
北 分 署	21			1	4	8	7		1	
南 分 署	20			1	2	11	4	1	1	
西 分 署	19			1	2	10	1	5		
赤 堀 消 防 署	20			1	3	8	6		2	
東 消 防 署	20			1	4	9	2	2	2	
境 消 防 署	24			1	3	9	6	1	4	
玉 村 消 防 署	24			1	4	9	2	6	2	

※ 定年延長職員含む
()は再任用職員

職員の階級別年齢状況

(令和7年4月1日現在)

階級別 年齢別	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
総数	266 (3)	1	5	14	40	120	42 (3)	25	19	0
18歳	1								1	
19歳	0									
20歳	1								1	
21歳	4								4	
22歳	5								5	
23歳	9							2	7	
24歳	3							3		
25歳	5							5		
26歳	5							4	1	
27歳	4							4		
28歳	5							5		
29歳	4						2	2		
30歳	4						4			
31歳	8						8			
32歳	4						4			
33歳	13						13			
34歳	10					4	6			
35歳	7					6	1			
36歳	7					6	1			
37歳	12					10	2			
38歳	12					11	1			
39歳	8					8				
40歳	10					10				
41歳	6					6				
42歳	7					7				
43歳	4					4				
44歳	7					7				
45歳	4					4				
46歳	9					9				
47歳	6					6				
48歳	10				1	9				
49歳	8				4	4				
50歳	13				11	2				
51歳	7				5	2				
52歳	8				6	2				
53歳	9			2	6	1				
54歳	4			1	3					
55歳	7		2	3	2					
56歳	4			2	2					
57歳	7	1	1	5						
58歳	0									
59歳	3		2	1						
※60歳以上	2 (3)					2	(3)			

平均年齢 40.1歳(再任用職員除く)

※定年延長職員
()は再任用職員

職員の階級別勤続状況

(令和7年4月1日現在)

階級別 年数別	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
総 数	266 (3)	1	5	14	40	120	42 (3)	25	19	0
1 年未満	6								6	
1 年	8								8	
2 年	4							3	1	
3 年	6							4	2	
4 年	5							4	1	
5 年	6							5	1	
6 年	3						1	2		
7 年	4						1	3		
8 年	4						2	2		
9 年	3						3			
10 年	8						7	1		
11 年	15					1	13	1		
12 年	15					9	6			
13 年	12					7	5			
14 年	8					6	2			
15 年	4					2	2			
16 年	15					15				
17 年	10					10				
18 年	6					6				
19 年	7					7				
20 年	4					4				
21 年	8					8				
22 年	8					8				
23 年	6					6				
24 年	5					5				
25 年	5				2	3				
26 年	4				2	2				
27 年	5				1	4				
28 年	12				5	7				
29 年	11				7	4				
30 年	0									
31 年	8		1	4	3					
32 年	14			2	9	3				
※33 年	10		1	2	5	2				
34 年	5				5					
35 年	7		1	5	1					
36 年	2		1	1						
37 年	1		1							
38 年	0 (1)						(1)			
39 年	1 (1)	1					(1)			
※40 年	1					1				
41 年	0									
42 年以上	0 (1)						(1)			

※定年延長職員含む
()は再任用職員

教育訓練・研修等実施状況

消防大学校

(令和7年4月1日現在)

課 程	平成28年 度以前	29	30	令和元年度	2	3	4	5	6	合計
幹 部 科	6	1	1						1	9
上 級 幹 部 科	1									1
警 防 科	10			1						11
予 防 科	13					1				14
危 険 物 科	2						1			3
救 急 科	7		1				1			9
救 助 科	6	1						1		8
トップセミナー	1									1
火災調査科	5			1						6
新任教官科	1									1
合 計	52	2	2	2	0	1	2	1	1	63

群馬県消防学校

(令和7年4月1日現在)

課 程	平成28年 度以前	29	30	令和元年度	2	3	4	5	6	合計
初 任 科	300	5	4	4	7	5	6	5	8	344
予 防 査 察 科	76	3	4	4	4	3	3	3	3	103
危 険 物 科	71	3	4	4	4	3	3	3	3	98
火災調査科	69	3	4	4	4	3	3	3	3	96
警 防 科	116	3	4	4	4		3	3	3	140
無線通信課程	103									103
救 助 科	83	2	2	3	2	2	2	2	2	100
救急Ⅱ課程	62									62
救 急 科	181	14	6	5	6	2	3	2	3	222
初級幹部科	27			2				2		31
中級幹部科	25	2							2	29
上 級 幹 部 科	8		2				2			12
はしご自動車課程	44									44
音 楽 課 程	54									54
ポンプ操作指導員	68	5		5				5		83
気管挿管講習	14									14
救急隊長講習	8									8
ビデオ喉頭鏡講習	8	3	1			1	1	1	4	19
フルハーネス型 墜落制止用器具								4	4	8
合 計	1317	43	31	35	31	19	26	33	35	1570

救急救命士

	平成28年 度以前	29	30	令和元年度	2	3	4	5	6	7
救急救命士数(人)		60	63	65	66	68	72	76	82	83
養成者数(人)	34	1	1	1	1	1	1	1	1	1

部内研修実施状況

(令和6年度)

研修種別	回数	人数	時間	場所	担当課
チェーンソー作業簡易特別教育	2	16	2 時間	消防本部	総務課
消防職員ハラスメント研修	2	166	2 時間	消防本部	総務課
作戦会議室研修	1	18	1.5時間	消防本部	警防課
火災調査現場実習	5	9	2～3時間	現場	警防課
消防活動現場実習	3	36	1 時間	現場	警防課
消火活動OJT（火災調査含む）	18	181	1～2時間	各署・分署	警防課
指導救命士修了者による救急隊員生涯教育	8	171	2～3時間	各署・分署	救急課
救急隊長研修	2	38	2時間	消防本部	救急課

部外研修実施状況

(令和6年度)

研修種別	人数	実施機関
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	(一社) 群馬労働基準協会連合会
玉掛け技能講習	2	(一社) 日本クレーン協会群馬支部
小型移動式クレーン運転技能講習	2	(一社) 日本クレーン協会群馬支部
小型船舶操縦士免許取得講習（2級）	2	群馬県ボートライセンススクール
小型船舶操縦士免許取得講習（特殊）	2	群馬県ボートライセンススクール
潜水土免許試験受験準備講習会	2	(一財) 安全衛生普及センター
消防職員の惨事ストレス初級研修	1	国立大学法人筑波大学エクステンションプログラム事務局
テールゲートリフター特別教育	1	(一社) 日本クレーン協会群馬支部
伐木造材作業（チェーンソー作業）特別教育	1	林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部
令和6年度 予防技術講習会	1	一般社団法人 全国消防機器協会
令和6年度 危険物等事故防止講習会	1	総務省消防庁
第34回 危険物事故事例セミナー	1	危険物保安技術協会
令和6年度消防実務講習会（神奈川県横浜市）	1	(一財) 全国消防協会関東地区支部
防災啓発中央研修会 後期（オンライン）	2	(一財) 消防防災科学センター
JMA パイロット養成講習（伊勢崎市）	2	(一社) 日本マルチコプター協会
火災原因調査事例研究発表会（さいたま市）	2	さいたま市消防局
消防技術者会議（東京都）	1	消防研究センター
調査技術会議（東京都）	1	消防研究センター
外傷セミナー【JPTEC】プロバイダーコース	4	群馬大学医学部附属病院
蘇生トレーニング【ICLS】プロバイダーコース	6	伊勢崎市民病院
群馬MC L S標準コース（前橋市）	8	前橋赤十字病院・群馬県総務部消防保安課
群馬MC L Sインストラクターコース（前橋市）	2	前橋赤十字病院・群馬県総務部消防保安課
DMA T研修	1	群馬県健康福祉部医務課
災害医療研修	2	群馬県総務部消防保安課・群馬県健康福祉部医務課
症例検証会（管内告示病院・12回）	156	伊勢崎地域メディカルコントロール協議会
前橋赤十字病院症例検討会	114	前橋赤十字病院

職員特殊技能資格取得表

(令和7年4月1日現在)

階級別 種別			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
自動車免許	大型	1 種	1	5	14	40	116	42	21		239
		2 種					1				1
	自動二輪車			1	7	21	33	14	4	3	83
	特 殊 車					1	4				5
小型船舶	1 級					2	2				4
	2 級		1	2	7	16	45	9	2		82
	特 殊		1	2	6	19	33	9	2		72
潜 水 士					1	5	25	4	3		38
自動車整備士		ガソリン					2				2
		ディーゼル					1				1
無線	特 殊		1	5	14	40	120	42	25	9	256
	アマチュア		1	2	3	6	1				13
ボイラー技士		2 級					2				2
溶 接 士		電 気			2	4	5	1			12
		ガ ス		1	2	6	7	1	1	1	19
電 気 工 事 士				1	1	1	5	1			9
消 防 設備士		甲 種				1	3	1			5
		乙 種		1	1	8	8	2			20
危 険 物		甲 種				1	2				3
		乙 種		3	7	22	47	8	10	6	103
衛生管理者		1 種			1						1
		2 種		2	1	5	4				12
玉 掛 け			1	2	2	11	29	7	2		54
ク レ ー ン			1	2	3	11	29	7	2		55
酸素欠乏危険作業主任者			1	1	5	13	34	3			57
毒劇物取扱主任者						1	3				4

令和 6 年度職場衛生管理状況

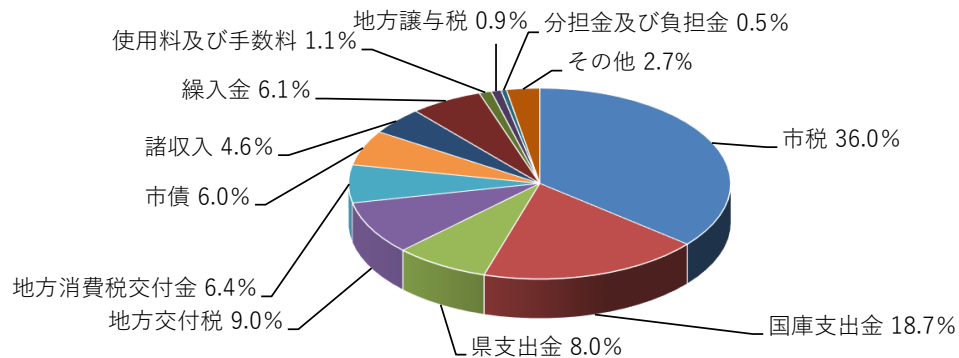
内 容	実 施 日	受診人数(人)	備 考
健 康 診 断	6/12・13	167	深夜業務従事者
	12/16・17	126	全職員（ドック受診者除く）
	2/5	6	初任科入校予定者
人 間 ド ッ ク	指定日	189	日帰り・一泊・脳
B 型 肝 炎 予 防 検 診	指定日	10	
流 行 性 ウ イ ル ス 疾 患 予 防 検 診	指定日	30	麻疹・風疹 流行性耳下腺炎・水痘
破 傷 風 予 防 検 診	指定日	41	
衛 生 管 理 規 程 に 基 づ く 職 場 巡 視	7/2	巡視者：衛生委員、衛生管理者、職員課職員	

1. 令和7年度一般会計当初予算

①歳入

(単位：千円)

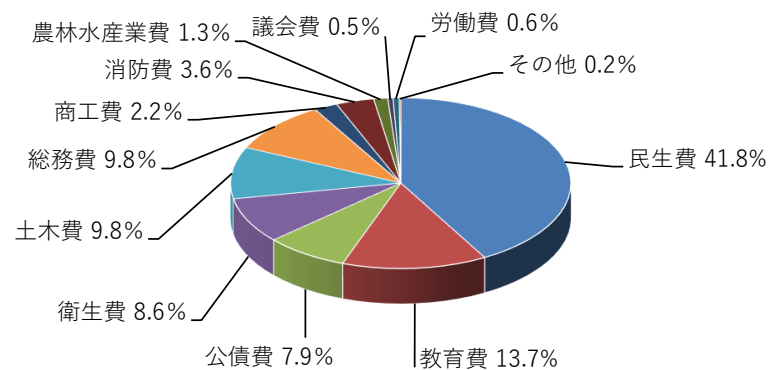
歳入科目	本年度予算額	比率 (%)
市税	33,055,627	36.0
国庫支出金	17,216,930	18.7
県支出金	7,330,865	8.0
地方交付税	8,300,000	9.0
地方消費税交付金	5,900,000	6.4
市債	5,489,100	6.0
諸収入	4,251,868	4.6
繰入金	5,639,982	6.1
使用料及び手数料	951,597	1.1
地方譲与税	772,857	0.9
分担金及び負担金	426,503	0.5
その他	2,574,671	2.7
歳入合計	91,910,000	100



②歳出

(単位：千円)

目的別区分	本年度予算額	比率 (%)
民生費	38,424,490	41.8
教育費	12,622,841	13.7
公債費	7,224,024	7.9
衛生費	7,922,112	8.6
土木費	9,019,268	9.8
総務費	8,962,973	9.8
商工費	2,065,391	2.2
消防費	3,311,521	3.6
農林水産業費	1,215,615	1.3
議会費	452,649	0.5
労働費	538,916	0.6
その他	150,200	0.2
歳出合計	91,910,000	100



2. 令和7年度消防費予算額

(単位：千円)

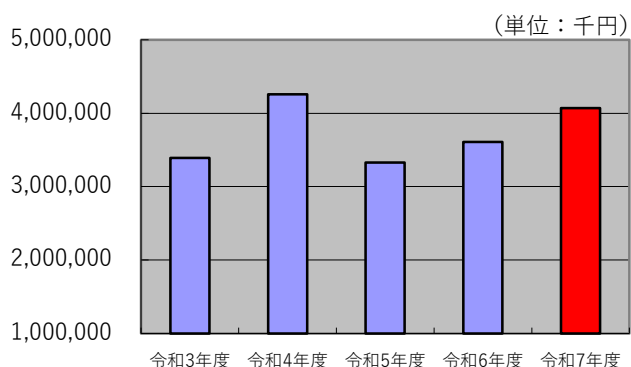
市町名	区分	消 防 費 予 算 額 A	一 般 会 計 予 算 額 B	比率 A/B (%)
伊 勢 崎 市		3,311,521	91,910,000	3.6
玉 村 町		758,426	13,300,000	5.7
合 計		4,069,947	105,210,000	3.9

3. 予算と人口、世帯数との比較（過去5年間）

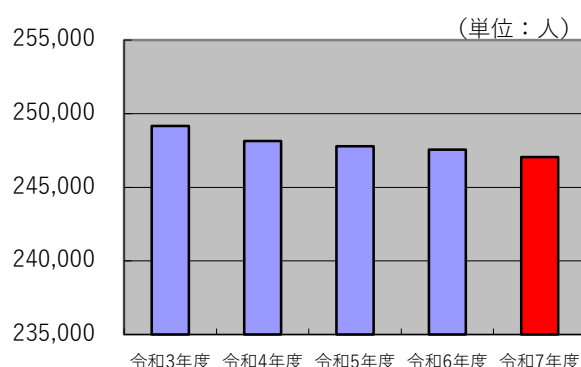
(4月1日現在)

年度	区分	消 防 費 当初予算額(千円)	人口(受託地域を含む)		世帯(受託地域を含む)	
			人口	1人当たり(円)	世帯数	1世帯当たり(円)
令和3年度		3,391,066	249,157	13,610	108,267	31,321
令和4年度		4,255,556	248,134	17,150	108,956	39,058
令和5年度		3,329,398	247,783	13,437	110,509	30,128
令和6年度		3,609,016	247,560	14,578	112,330	32,129
令和7年度		4,069,947	247,053	16,474	113,843	35,751

消防費当初予算額推移



人口推移



4. 伊勢崎市消防費決算額（過去5年間）

(単位：円)

年度別	目別	常 備 消 防 (人件費含) 決 算 額	非 常 備 消 防 費 決 算 額	消 防 施 設 費 決 算 額	水 防 費 決 算 額	合 計
令和2年度		2,285,034,650	149,860,775	227,973,682	643,469	2,663,512,576
令和3年度		2,317,233,220	139,625,824	321,078,270	557,736	2,778,495,050
令和4年度		2,366,362,361	142,333,717	556,068,939	667,618	3,065,432,635
令和5年度		2,403,011,307	141,841,350	739,120,623	556,429	3,284,529,709
令和6年度		2,524,887,264	140,675,904	355,552,301	452,419	3,021,567,888

防 予



秋の全国火災予防運動広報活動
(スマーク伊勢崎)

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

(令和7年度全国統一防火標語)

危険物 無事故へ挑む ゴング鳴る

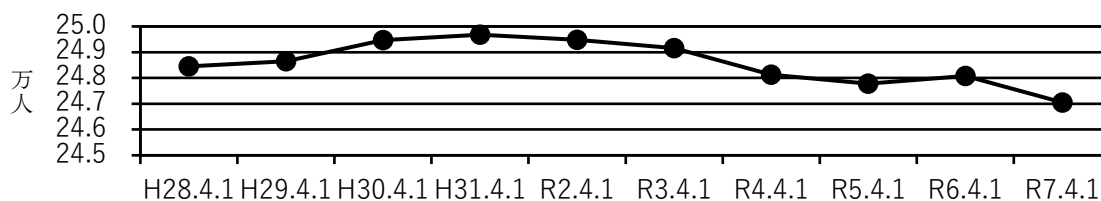
(令和7年度危険物安全週間推進標語)

査 察 対 象 物

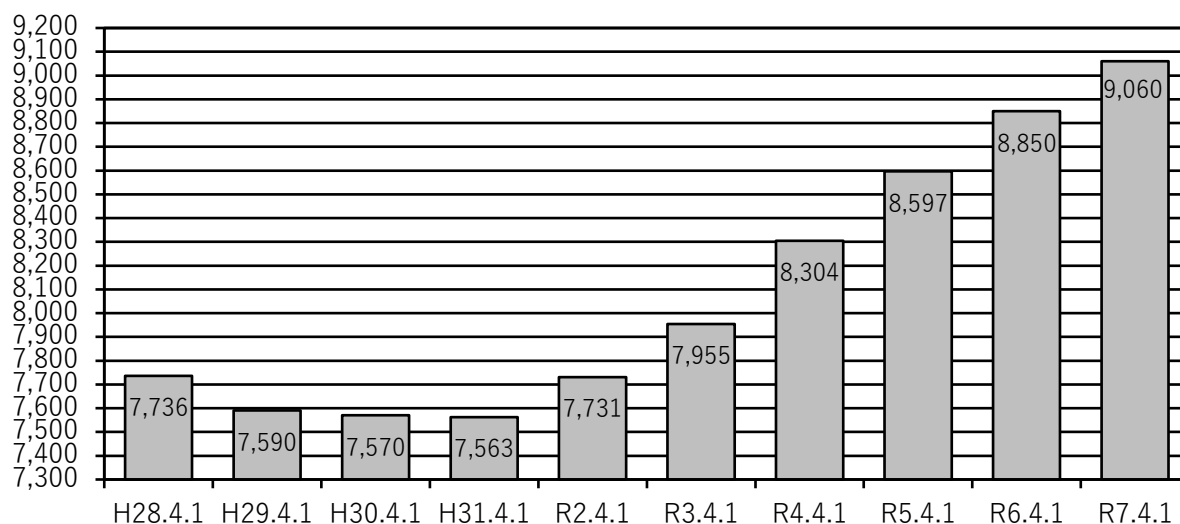
管内における査察対象物は、年々増加傾向にあり、特に高齢化社会の進展に伴い、高齢者福祉施設等が増加傾向にあります。

管内人口の推移と査察対象物の状況

(人口)



(対象物数)



露店指導写真

査察対象物の現況

(令和7年4月1日現在)

市町村別			伊勢崎市	玉村町	合 計
項別					
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等	8		8
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	87	12	99
2	イ	キ ャ ト バ レ ー ナ イ ト ク ラ ブ 等	24		24
	ロ	ダンスホール・遊技場	29	2	31
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	7		7
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	2		2
	ロ	飲 食 店	664	60	724
4		百貨店・マーケット等	483	41	524
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	80		80
	ロ	共 同 住 宅 等	1267	125	1,392
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	169	24	193
	ロ	老人短期入所施設等	152	25	177
	ハ	老人デイサービス等	243	40	283
	ニ	幼稚園・特別支援学校	29	2	31
7		小・中・高・大学・各種学校等	160	46	206
8		図 書 館 等	4		4
9	イ	サ ウ ナ 浴 場 等	4		4
	ロ	公 衆 浴 場 等	2		2
10		車 両 ・ 停 車 場 等	3		3
11		神 社 ・ 教 会 等	49	3	52
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	1,954	276	2,230
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場 等	75	12	87
	ロ	格 納 庫 等	1		1
14		倉 庫	1,412	233	1,645
15		事 務 所 等	655	98	753
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	296	22	318
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）	132	30	162
17		重 要 文 化 財 等	17	1	18
合 計			8,008	1,052	9,060

中高層建築物棟数（４階以上）

（ ）内数字は１１階以上又は高さ３１mを超える査察対象物数

（令和7年4月1日現在）

市町村別		伊勢崎市	玉村町	合 計
項別				
1	イ 劇場・映画館等	1		1
	ロ 公会堂・集会場	3		3
2	イ キャバクレーン等	1		1
	ロ ダンスホール・遊技場	1		1
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ カラオケボックス等			
3	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店			
4	百貨店・マーケット等	3		3
5	イ 旅館・ホテル等	14(2)		14(2)
	ロ 共同住宅等	177(8)		177(8)
6	イ 病院・診療所等	8(1)		8(1)
	ロ 老人短期入所施設等	3		3
	ハ 老人デイサービス等	3		3
	ニ 幼稚園・特別支援学校	1		1
7	小・中・高・大学・各種学校等	14(1)	2	16(1)
12	イ 工場・作業場	12	3	15
	ロ 映画・スタジオ等			
13	イ 車庫・駐車場等	2		2
	ロ 格納庫等			
14	倉庫	4		4
15	事務所等	27(1)	3	30(1)
16	イ 複合用途防火対象物（特定）	27(4)	2	29(4)
	ロ 複合用途防火対象物（上記以外）	10	2(1)	12(1)
合 計		311(17)	12(1)	323(18)

11階以上	9	1	10
10階	4		4
9階	3		3
8階	4		4
7階	11		11
6階	26	2	28
5階	49		49
4階	205	9	214
合 計	311	12	323

査察対象物の立入検査状況

(令和6年度)

項別対象物数（査察対象物台帳の数とする）			伊勢崎市	玉村町	合 計
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	5		5
2	イ	キ ャ バ レ ッ ト ク ラ ブ 等	3		3
	ロ	ダ ン ス ホ ー ル ・ 遊 技 場	6	1	7
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2		2
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店	47	14	61
4	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等		33		33
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	2		2
	ロ	共 同 住 宅 等	47		47
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	7		7
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	13		13
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス 等	18	1	19
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	1		1
7	小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 ・ 各 種 学 校 等		5	5	10
8	図 書 館 等		1		1
9	イ	サ ウ ナ 浴 場 等			
	ロ	公 衆 浴 場 等			
10	車 両 ・ 停 車 場 等				
11	神 社 ・ 教 会 等				
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	145	11	156
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場 等	3	1	4
	ロ	格 納 庫 等			
14	倉 庫		56	6	62
15	事 務 所 等		18	5	23
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	35	4	39
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）	8		8
17	重 要 文 化 財 等		1		1
そ の 他					
合 計			456	48	504

各種届出等の状況

(令和6年度)

種別		署別	伊勢崎署	赤堀署	東 署	境 署	玉村署	合 計
炉			5			2	2	9
暖 房 設 備								
温 風 暖 房 機			1					1
ボイラー・給湯湯沸設備			19	2		7	2	30
乾 燥 設 備			4		3		1	8
サ ウ ナ 設 備			1	1				2
ヒートポンプ冷暖房機			2					2
火花を生ずる設備								
放 電 加 工 機								
燃 料 電 池 発 電 設 備								
発 電 設 備			4	1	1		1	7
変 電 設 備			29	17	5	5	10	66
急 速 充 電 設 備			4	2			1	7
蓄 電 池 設 備			7		3		2	12
ネオン管灯設備								
水素ガスを充てんする気球								
火災と紛らわしい煙又は火災を 発するおそれのある行為			49	6	6	8	10	79
煙火打上げ仕掛け			11	2	2	4		19
催 物 開 催							10	10
水 道 断 水 ・ 減 水								
道 路 工 事			11		1	5	75	92
少量危険物貯蔵取扱い			39	11	12	7	11	80
指 定 可 燃 物			9	11	3	3	1	27
消阻 火害 活物 動質	圧縮アセチレンガス						1	1
	液化石油ガス		79	6	15	11	9	120
	毒 物 劇 物						2	2
	そ の 他 の 物 質							
露店等の開設届出書			18	5	6	26	29	84
防火安全に関する意見書			1					1
風俗営業に関する意見書			8					8
合 計			301	64	57	78	167	667

建 築 ・ 設 備 建 築 同 意 事 務 処 理 の 推 移

年度別 市町村別	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
伊勢崎市	348	313	328	321	406
玉村町	28	32	36	32	43
合 計	376	345	364	353	449

計 画 通 知 事 務 処 理 の 推 移

年度別 市町村別	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
伊勢崎市	7	7	4	5	4
玉村町					
合 計	7	7	4	5	4

建 築 通 知 事 務 処 理 の 推 移

年度別 市町村別	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
伊勢崎市	1,055	1,210	1,155	944	908
玉村町	140	186	143	124	104
合 計	1,195	1,396	1,298	1,068	1,012

月別建築同意件数

(令和6年度)

項 別		月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等													
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	1	2		2				1	1		1		8
2	イ	キ ャ バ レ ー ナ イ ト ク ラ ブ 等													
	ロ	ダ ン ス ホ ー ル ・ 遊 技 場													
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等													
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等													
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等													
	ロ	飲 食 店		1	1						1	1	1	2	7
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト 等	3	2	3	4	1	2	3		1	2	1	1	23
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等												1	1
	ロ	共 同 住 宅 等	1	2	5		3			1	5	1	2	2	22
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等					1	2	1	1	1	1			7
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等							1						1
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス 等	1	1	3	2	2		1			1		1	12
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校			2	1									3
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 ・ 各 種 学 校 等					1	1	1			1			4
8		図 書 館 等													
9	イ	サ ウ ナ 浴 場 等										1			1
	ロ	公 衆 浴 場 等													
10		車 両 ・ 停 車 場 等													
11		神 社 ・ 教 会 等			1				1		2		1	1	6
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	3	5	6	7	1	3	6	7	3	4	4	5	54
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等													
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場 等													
	ロ	格 納 庫 等													
14		倉 庫	3	8	1	4	4	3	4	1	1	1	2	7	39
15		事 務 所 等	26	6	3	2	3	3	2	5	3	5	17	16	91
16	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物 (特 定)			1			1	1	1		1			5
	ロ	複 合 用 途 防 火 対 象 物 (上 記 以 外)			1			1					1		3
17		重 要 文 化 財 等					1								1
18		ア ー ケ ー ド													
そ の 他			15	16	12	16	12	17	12	13	17	9	12	10	161
合 計			53	43	39	38	29	33	33	30	35	28	42	46	449

査察対象物の検査状況

(令和6年度)

市町村別			伊勢崎市	玉村町	合 計
項別					
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	3	1	4
2	イ	キ ャ バ レ ッ ト ク ラ ブ 等	1		1
	ロ	ダンスホール・遊技場			
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店	1		1
4		百貨店・マーケット等	13		13
5	イ	旅館・ホテル等	1		1
	ロ	共 同 住 宅 等	4		4
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	5	2	7
	ロ	老人短期入所施設等	12	1	13
	ハ	老人デイサービス等	16	1	17
	ニ	幼稚園・特別支援学校			
7		小・中・高・大学・各種学校等	4	1	5
8		図 書 館 等			
9	イ	サ ウ ナ 浴 場 等			
	ロ	公 衆 浴 場 等			
10		車 両 ・ 停 車 場 等	1		1
11		神 社 ・ 教 会 等			
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	40	8	48
	ロ	映 画 ・ ス タ ジ オ 等			
13	イ	車 庫 ・ 駐 車 場 等	3		3
	ロ	格 納 庫 等			
14		倉 庫	28	10	38
15		事 務 所 等	8	2	10
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	8	1	9
	ロ	複合用途防火対象物（上記以外）	1	1	2
17		重 要 文 化 財 等	1	1	2
そ の 他					
合 計			150	29	179

消防用設備等の検査状況

消防用設備等には、消火設備・警報設備・避難設備などの「消防の用に供する設備」、防火水槽・貯水池等の「消防用水」また消防隊が使用する「消火活動上必要な施設」などがあります。令和6年度中にこれらの設備の設置に伴う検査をしたものが下記の表であり、「必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備」をその他として示しています。

(令和6年度)

消 火 設 備									警 報 設 備					避難設備				消火活動上 必要な施設					その他						
消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	泡 消 火 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポ ン プ	自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備 （ 非 常 ベ ル 等 ）	非 常 警 報 設 備 （ 放 送 設 備 ）	避 難 器 具	誘 導 標 識	誘 導 灯	消 防 用 水	排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	無 線 通 信 補 助 設 備	パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備	パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 報 知 設 備	共 同 住 宅 用 自 動 火 災 報 知 設 備	合 計	
64	16	6				1	4	13	4	132			29		6	2	58									10			345



立入検査写真

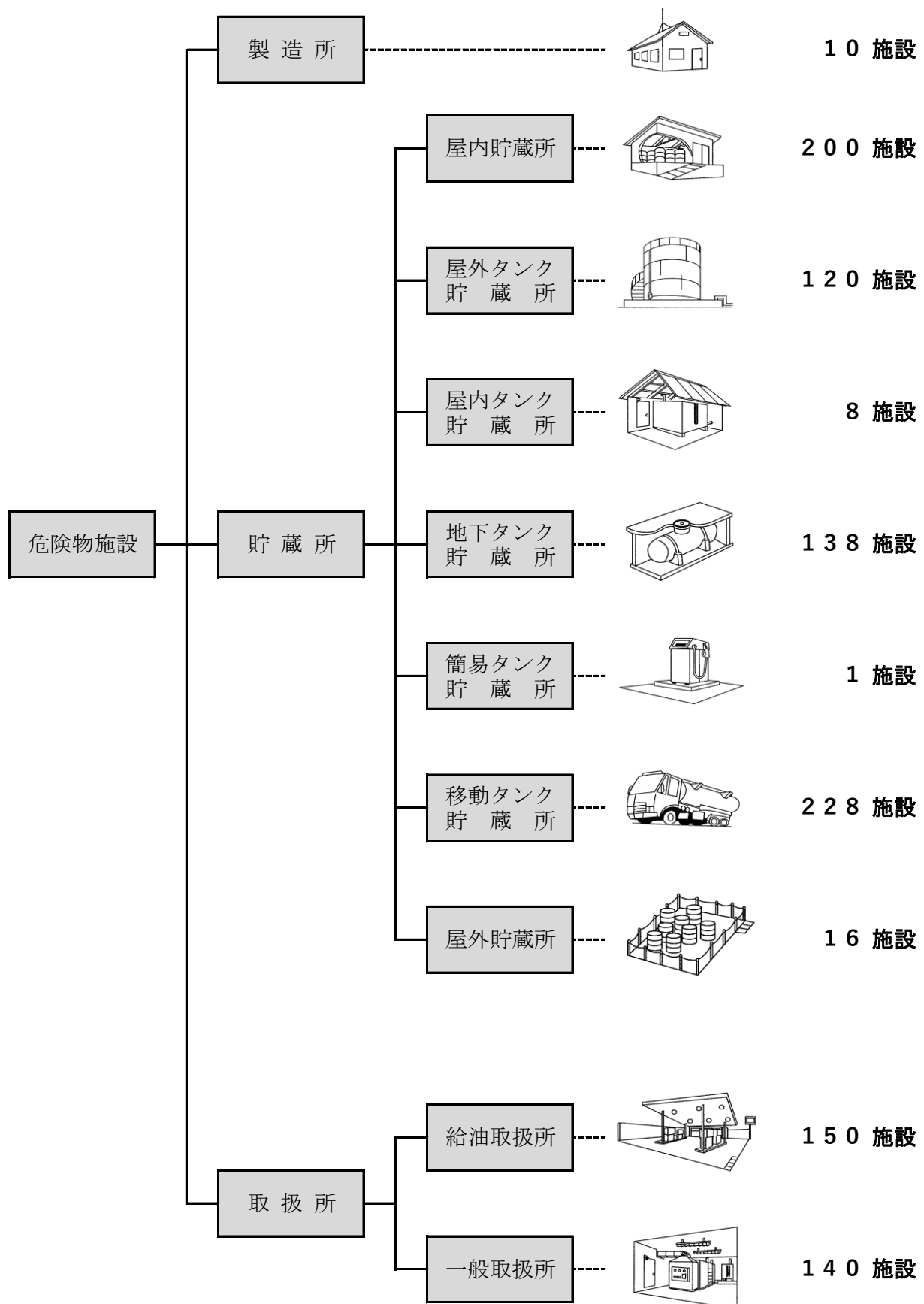
防火対象物定期点検及び防災管理

	伊勢崎市	玉村町	合計
防火対象物定期点検が必要な建築物	131	10	141
防災管理者が必要な建築物	8	2	10

※防火対象物定期点検とは、多数の人が出入りする一定の防火対象物について、管理権原を有する人が火災予防のため資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告するものです。

※防災管理者が必要な建築物とは、大規模・高層の建築物等で一定の規模以上の防火対象物です。

危険物施設



危険物製造所等の設置状況

(令和7年4月1日現在)

倍数別 市町別 製造所等の別 市町別		指 定 数 量 の 倍 数 別									市町別	
		5倍 以下	5倍 を超え 10倍 以下	10倍 を超え 50倍 以下	50倍 を超え 100倍 以下	100倍 を超え 150倍 以下	150倍 を超え 200倍 以下	200倍 を超え 1000倍 以下	1000倍 を超え 5000倍 以下	合 計	伊 勢 崎 市	玉 村 町
製 造 所			2	3	3		1	1		10	7	3
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	87	55	27	14	7	5	3	2	200	177	23
	屋外タンク貯蔵所	43	17	39	12	2	3	4		120	113	7
	屋内タンク貯蔵所	4	3	1						8	5	3
	地下タンク貯蔵所	55	33	34	13	1		2		138	107	31
	簡易タンク貯蔵所	1								1	1	
	移動タンク貯蔵所	158	3	15	41	11				228	56	172
	屋 外 貯 蔵 所	6	5	5						16	16	
取 扱 所	給 油 取 扱 所	7	13	66	7	10	8	39		150	113	37
	一 般 取 扱 所	57	50	27	4			2		140	110	30
合 計		418	181	217	94	31	17	51	2	1,011	705	306
市 町 別	伊 勢 崎 市	255	148	173	50	17	15	46	1	705		
	玉 村 町	163	33	44	44	14	2	5	1	306		

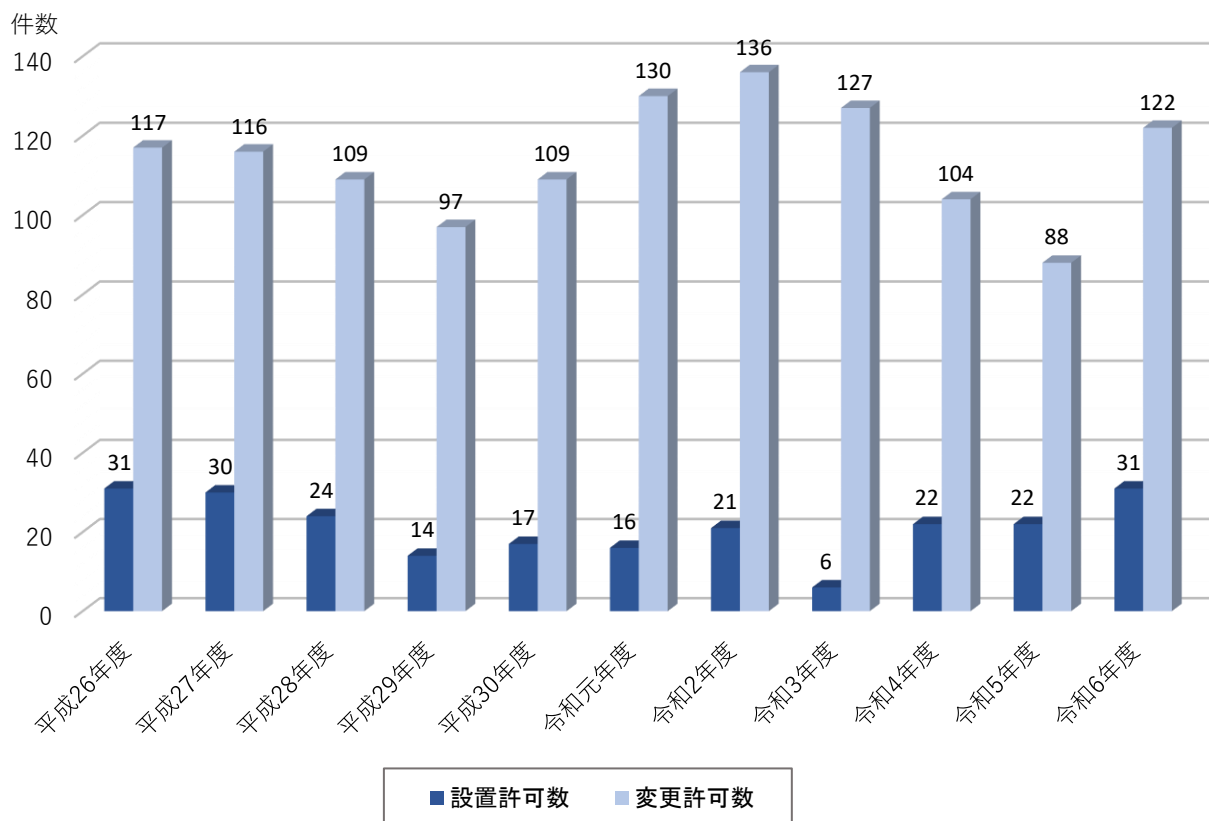
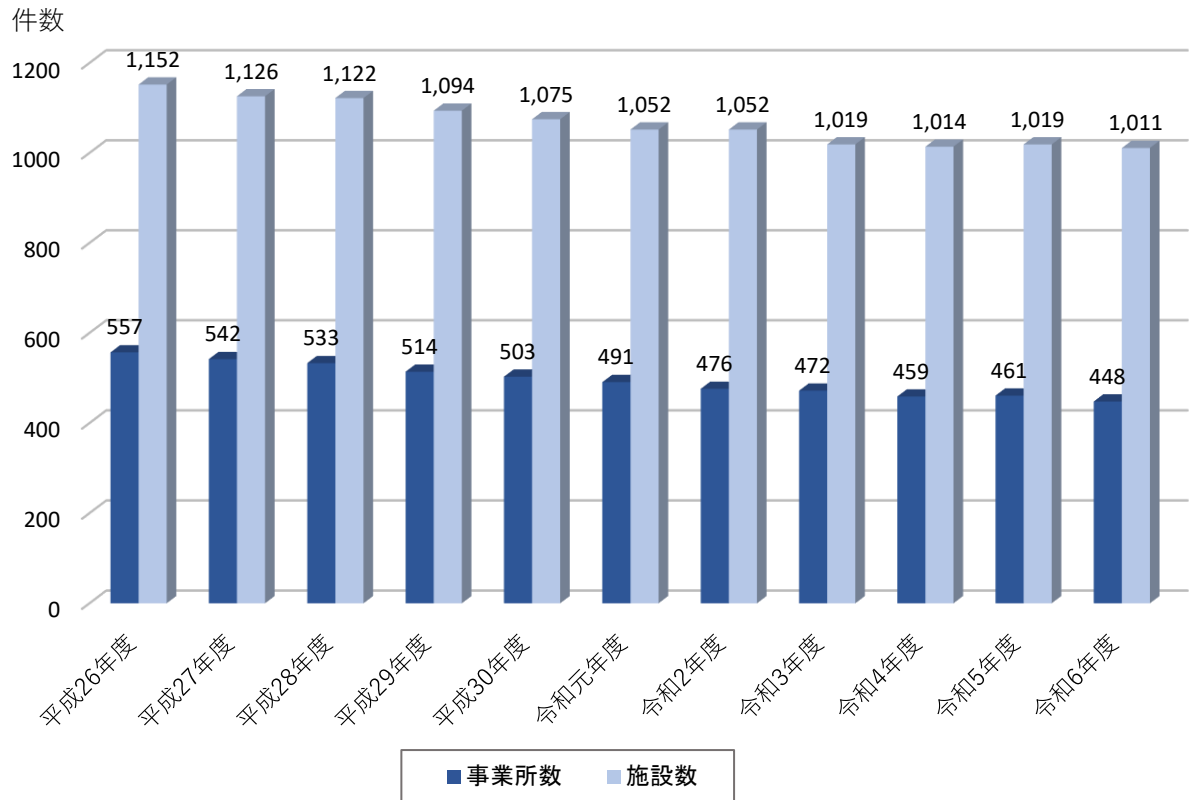
危険物製造所等許可・検査・届出等の件数

(令和6年度)

製造所等の別 市町別 許可・検査・届出の区分		製造所	貯 蔵 所							取扱所		合 計	市町別	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所		伊勢崎市	玉村町
許可	設置	1	7	5		1		14			3	31	16	15
	変更	8	4		1	3		67		15	24	122	46	76
完成検査	設置		2			2		13		1	1	19	6	13
	変更	8	4		1	3		50		13	22	101	47	54
仮使用承認		4	2		1	3				14	21	45	37	8
予防規程										6	2	8	7	1
保安監督者選解任届		1	22	25	2	6			2	20	15	93	86	7
関係資料提出書		11	51	42	2	17		24	4	61	64	276	232	44
譲渡引渡届			1					64		1		66	1	65
種類・数量変更届		2	7	1		1			1		9	21	16	5
廃止届			3	4	1	6		5	1	3	5	28	23	5
火気使用届														
仮貯蔵・仮取扱承認												1	1	
液化石油ガス等の意見書														
液化石油ガス設備工事届												10	10	
完成検査前検査	タンク水張検査											83 (73)	83 (73)	()
	タンク水圧検査											61 (1)	50 ()	11 (1)

※ () は少量タンク

危険物製造所等施設数及び事業所数の推移



火薬類（煙火）消費許可

（令和6年度）

実施日	実施名	火薬類の種類及び数量											
		火 薬	2 号 玉	2.5 号 玉	3 号 玉	4 号 玉	5 号 玉	6 号 玉	7 号 玉	8 号 玉	10 号 玉	マス イ ター	小 型
6月9日（日）	オートレース優勝戦後 花火打上	2.65 kg	67 個	10 個	15 個								
7月13日（土）	第34回たまむら花火大会	161.75 kg			40 個	100 個	90 個		30 個	15 個	15 個	8 台	
8月3日（土）	第39回あずま夏まつり	10.40 kg		50 個								5 台	15 台
8月4日（日）	小泉町夏祭り花火	4.1 kg	30 個									3 台	15 台
8月15日（木）	オートレース優勝戦後 花火打上	6.6 kg	96 個	80 個	40 個								
8月31日（土）	3市連携利根川花火大会	260.30 kg			50 個	50 個	80 個		50 個	30 個	60 個	8 台	
9月8日（日）	オートレース優勝戦後 花火打上	2.65 kg	67 個	10 個	15 個								
10月10日（木）	群馬県立障害者リハビリ テーション秋まつり	7.55 kg		20 個								3 台	10 台
10月26日（土）	夜空を見上げよう プロジェクト	12.62 kg		100 個								5 台	13 台

警 防

消 防 救 助



令和6年度群馬県等関東自動車道等消防連絡協議会連携訓練

消防隊出動状況

(令和6年中)

種 別 \ 月 別			合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災出動	建物	件数	51	2	8	7	4	6	2	3	1	4	2	5	7
		隊数	318	3	61	54	30	49	7	17	7	22	4	24	40
		人員	1,057	13	198	173	97	171	27	48	24	73	14	80	139
	車両	件数	9	0	2	1	1	0	0	0	1	2	0	1	1
		隊数	27	0	7	1	3	0	0	0	4	8	0	2	2
		人員	96	0	25	3	10	0	0	0	18	23	0	9	8
	その他	件数	48	3	5	4	6	4	6	5	4	2	2	3	4
		隊数	148	12	12	20	15	13	21	15	9	7	4	6	14
		人員	496	35	44	64	46	43	70	57	33	21	18	22	43
	小 計	件数	108	5	15	12	11	10	8	8	6	8	4	9	12
		隊数	493	15	80	75	48	62	28	32	20	37	8	32	56
		人員	1,649	48	267	240	153	214	97	105	75	117	32	111	190
救助出動 ※1	件数	66	3	10	5	2	5	5	6	8	6	7	5	4	4
	隊数	217	12	35	16	6	17	15	20	29	20	23	14	10	10
	人員	705	34	103	54	23	58	57	66	87	65	81	44	33	33
自然災害出動	件数	13	0	0	0	3	0	0	5	1	4	0	0	0	0
	隊数	17	0	0	0	5	0	0	5	2	5	0	0	0	0
	人員	60	0	0	0	17	0	0	23	7	13	0	0	0	0
警戒出動・ その他災害 出動※2	件数	1,609	119	102	112	96	127	112	158	133	142	123	193	192	192
	隊数	1,812	144	128	146	111	150	121	166	141	156	125	216	208	208
	人員	5,281	392	365	399	345	458	364	485	412	430	377	634	620	620
誤報	件数	95	5	2	2	1	8	10	20	13	11	7	7	9	9
	隊数	159	6	2	2	7	14	20	32	20	20	17	9	10	10
	人員	564	15	6	7	26	55	73	118	71	67	60	31	35	35
合 計	件数	1,891	132	129	131	113	150	135	197	161	171	141	214	217	217
	隊数	2,698	177	245	239	177	243	184	255	212	238	173	271	284	284
	人員	8,259	489	741	700	564	785	591	797	652	692	550	820	878	878

演習・訓練	隊数	79	5	6	5	1	4	5	7	1	3	7	10	25	25
	人員	245	17	17	16	2	15	10	22	4	9	26	32	75	75
広報・指導	隊数	689	25	18	54	24	52	37	45	86	49	110	129	60	60
	人員	1,943	74	53	156	66	147	108	112	229	123	321	379	175	175
警防調査	隊数	133	4	5	8	34	16	14	12	10	10	6	7	7	7
	人員	386	14	15	27	97	39	42	36	24	34	19	17	22	22
特別警戒	隊数	9	0	0	0	0	0	3	2	2	0	0	0	2	2
	人員	27	0	0	0	0	0	9	8	4	0	0	0	6	6
予防査察	隊数	457	25	35	25	8	14	36	53	40	43	74	54	50	50
	人員	1,301	70	100	65	22	44	108	157	99	117	214	153	152	152
その他	隊数	1,333	80	104	111	110	91	94	125	84	95	129	160	150	150
	人員	3,500	211	302	314	282	262	254	305	229	258	317	390	376	376
合 計	隊数	2,700	139	168	203	177	177	189	244	223	200	326	360	294	294
	人員	7,402	386	487	578	469	507	531	640	589	541	897	971	806	806

※1 火災、特殊災害、管外応援及び誤報を除く。

※2 その他災害出動とは、特殊災害出動、救急支援出動、ドクターヘリ支援出動、危険排除出動等をいう。

高速自動車国道等出動状況

1 救急出動

(令和6年中)

種別 路線		救急									救急 合計
		火災	自然災害	交通事故	労働災害	一般負傷	加害	自損行為	急病	左記以外 の救急	
関越	出動件数										
	搬送人員										
上信越	出動件数										
	搬送人員										
北関東	出動件数	1		2					4		7
	搬送人員			3					3		6
合計	出動件数	1		2					4		7
	搬送人員			3					3		6

2 火災出動・救助出動・支援出動

(令和6年中)

種別 路線		火災			火災 合計	救助				救助 合計	支援等
		建物火災	車両火災	左記以外 の火災		火災	交通事故	風水害等 自然災害	左記以外 の救助		
関越	出動件数										
	出動台数										
上信越	出動件数										
	出動台数										
北関東	出動件数			1	1						3
	出動台数			6	6						5
合計	出動件数			1	1						3
	出動台数			6	6						5

水 防 関 係



※令和6年度水防訓練（釜段工）

令和6年度伊勢崎市水防訓練

実施訓練	実施日	訓練会場
水防関係座学・ 水防工法・水防用資機材取扱訓練	7月8日から7月24日 延べ実施回数8回	各署・分署敷地内

水防倉庫資器材備蓄一覧表

水防倉庫別 資器材別		伊勢崎消防署水防倉庫	太田水防倉庫	華蔵寺水防倉庫	南分署水防倉庫 ※	西分署水防倉庫 ※	赤堀消防署水防倉庫	東消防署水防倉庫	境消防署水防倉庫 ※	境支所水防倉庫 ※	境防災センター水防倉庫※	境島村公民館水防倉庫 ※	境平塚水防倉庫 ※	境三ツ木水防倉庫	伊勢崎下流域水防倉庫	道路管理課分室水防倉庫※	合 計
完成土のう	個	441	260	350	300	490	415	409	950			300	26	600	840		5,381
土のう袋	枚	7,244	3,800	3,400	1,500	1,950	1,760	2,652	2,079	1,000	1,300	3,200	1,800	2,015	1,589		35,289
木杭	本	45	20	200			39	8	3			21		80	5		421
丸太	本	71	20				7	30			24						152
鉄杭	本	79	21					9	260	59				70	9		507
鉄杭(黄・黒柄)	本	382	191	475	200	85	88	78	184	55	50	87	43	53	40		2,011
パイプ杭(Φ40mm)	本	107	35		14		30										186
縄	巻	6	5	6			5					4				3	29
ロープ(黄・黒柄)	巻	3	2	3	3	2	7	1	5				2				28
ビニールロープ	巻	11	2	13	5	2	5	2	3		2	2	2	2	2		53
鉄線	kg	80	30	75	50	8	40	25	10		50	30	20	20	30		468
ビニールシート	枚	26	4	5	4	5	11	4	12	3	5	4	5	5	5	2	100
釘	kg	4	4	4													12
積板工法用止め金具	本				15												15
軽量鋼板	枚	57			12		30							48			147
シート張り	枚							2									2
塩ビ パイプ	本	6	1	1		2	1	2	2	1	4	2	1	1	1		25
竹とげ	丁	3		2		1	1	1	1					20			29
剣先スコップ	丁	64	30	40	41	20	22	16	31	11	23	34	21	25	27	7	412
角スコップ	丁	28			7	5	7	11	11				5			15	89
掛矢	丁	23	20	27	10	4	6	6	8	4	4	5	5	3	4	4	133
なた	丁	4	5	6	4	2	5	5	3	4	4	7	6	4	4	3	66
かま	丁	18	10	20	9	2	11	8	5	7	5	8	9	5	5	9	131
のこぎり	丁	14	15	19	5	3	7	6	8	8	10	11	9	7	4	4	130
斧(大=杭ごしらえ可)	丁	5					6	1	1	1	2			1	2		19
斧(小)	丁	2	2	5	5	2	2	2	2	1	3	3	2	1			32
唐ぐわ	丁	5	4	4	3		4	4	1	3	2	2	3	2	2		39
つるはし	丁	11	11	25	7	4	5	5	2	2	2	4	4	2	2	8	94
ペンチ	丁	6	2		2	2	2	3		2	2	4	2	2		3	32
ハンマー (両手)	丁	7	2	1	11	10	5	6	5	2	3	3	2	2	1	2	62
ハンマー (片手大)	丁	17	6					1	3								27
ハンマー (片手小)	丁	14		13	10	6	2	4	12	1	6	11	13	8	5	2	107
鉄線カッター	丁	5	3	2	2	2	1	2	1	1	2	1	2	2	1	1	28
バール	丁	2	2	2	3	2	2	1	4	2	2	4	2	2	3	5	38
しの	丁	3			2	4	7	2					1				19
もっこ	台					10			2								12
たこづち	丁	11			2	2	2	2	2								21
一輪車	台	3			1	1	2	4	2							2	15
水防マット	枚	4					2										6
チェンソー	機	1			1	1	1	1	1							4	10
排水ポンプ	基							1	1							4	6

※ アルミ製コンテナ

応 援 協 定

群馬県消防相互応援協定

大規模かつ広域的な災害、その他緊急を要する災害が発生した場合において、協定団体相互間の消防力を活用して当該災害による被害を最小限度に防止する目的で、関係消防機関と相互応援協定を締結している。（群馬県全域）

平成19年9月4日

協定団体

前 橋 市 消 防 局	利 根 沼 田 広 域 消 防 本 部
高 崎 市 等 広 域 消 防 局	渋 川 広 域 消 防 本 部
桐 生 市 消 防 本 部	多 野 藤 岡 広 域 消 防 本 部
太 田 市 消 防 本 部	富 岡 甘 楽 広 域 消 防 本 部
館 林 地 区 消 防 本 部	吾 妻 広 域 消 防 本 部

特殊災害消防対策相互応援協定

隣接消防機関の相互の緊密なる協力のもとに特殊災害に対処する目的で、群馬、栃木隣接の関係消防機関と相互応援協定を締結している。

平成18年3月27日

協定団体

桐 生 市 消 防 本 部	佐 野 市 消 防 本 部
太 田 市 消 防 本 部	足 利 市 消 防 本 部
館 林 地 区 消 防 本 部	

関越自動車道、上信越自動車道及び北関東自動車道における消防相互応援協定

関越自動車道の本庄・関越トンネル間、上信越自動車道の藤岡・佐久間及び北関東自動車道の高崎・足利間における、火災又は救急事故等が発生した際に消防業務の円滑化を図る目的で、関係消防機関と相互応援協定を締結している。

平成23年3月9日

協定団体

前 橋 市 消 防 局	利 根 沼 田 広 域 消 防 本 部
高 崎 市 等 広 域 消 防 局	富 岡 甘 楽 広 域 消 防 本 部
多 野 藤 岡 広 域 消 防 本 部	佐 久 広 域 連 合 消 防 本 部
児 玉 郡 市 広 域 消 防 本 部	太 田 市 消 防 本 部
渋 川 広 域 消 防 本 部	足 利 市 消 防 本 部

消防相互応援協定

火災、地震その他緊急を要する災害が発生した場合において、協定団体相互間の消防力を活用して、当該災害による被害を最小限に防止する目的で、利根川を挟み隣接する埼玉県消防機関と相互応援協定を締結している。

平成20年4月1日

協定団体

児 玉 郡 市 広 域 消 防 本 部
深 谷 市 消 防 本 部

群馬県防災航空隊支援協定

地震・台風・水火災及び事故等の災害の場合において、群馬県防災航空隊（防災ヘリコプター）の支援を受けることによって被害を最小限に防止する目的で、群馬県と支援協定を締結している。

平成18年3月27日

協定団体

群 馬 県

鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する応援協定

鉄道災害発生時において、鉄道事業者及び消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図る目的で、群馬県、鉄道事業者、消防機関と応援協定を締結している。

平成20年10月1日

協定団体

群馬県	利根沼田広域消防本部
東日本旅客鉄道株式会社高崎	渋川広域消防本部
上信電鉄株式会社	多野藤岡広域消防本部
前橋市消防局	富岡甘楽広域消防本部
高崎市等広域消防局	吾妻広域消防本部
桐生市消防本部	

鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する応援協定

鉄道災害発生時において、鉄道事業者及び消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図る目的で、鉄道事業者、消防機関と応援協定を締結している。

平成21年7月1日

協定団体

東武鉄道株式会社	桐生市消防本部
太田市消防本部	館林地区消防本部

火災または地震等の災害時における消火用水供給応援に関する協定

火災又は地震等の消火活動に関し、消火用水の供給応援を受けることによって被害を最小限度に防止する目的で、コンクリートミキサー車を有する企業と応援協定を締結している。

平成10年1月17日

協定団体

上州生コン株式会社
田中生コン株式会社

大規模災害時における石油類燃料の供給に関する協定

地震等の大規模な災害の発生により市内のサービスステーションが混雑し、緊急車両の運行に必要な石油類燃料の調達が困難となった場合において、優先的かつ安定的な石油類燃料の供給を受ける目的で、サービスステーションを所有する企業と応援協定を締結している。

平成25年2月1日

協定団体

藤本商事株式会社

消防活動の協力に関する協定

火災等の災害時の消防活動に関し、重機等を保有する建設事業者に対して協力要請を迅速に行う目的で協定を締結している。

平成30年5月24日

協定団体

株式会社サンケン

平成30年6月28日

協定団体

第一工業株式会社

群馬ボートライセンススクールとの連携・協力に関する協定

大規模災害発生時の協力体制及び職員の教育・人材育成の推進のため、相互協力が可能な事項について連携・協力し、消防力強化を効果的に生み出していく目的で協定を締結している。

令和4年4月12日

協定団体

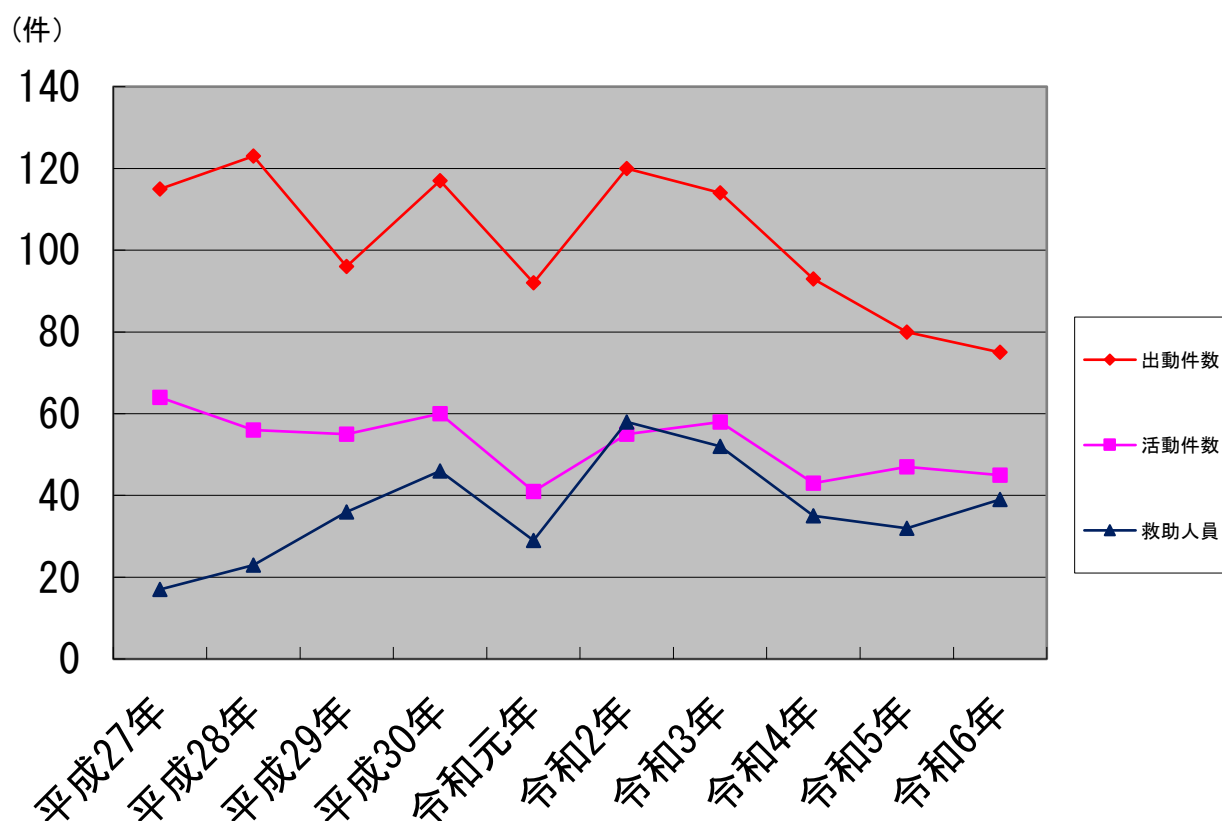
有限会社籠島装業 群馬ボートライセンススクール

救 助 活 動 概 要

令和6年中の救助出動件数は75件、活動件数は45件で前年と比較すると出動件数は5件減り、活動件数2件減少となっています。

また、消防隊等により救助された人（救助人員）は、39人で前年と比較すると7人増加しています。

救助活動の推移（過去10年間）



年 \ 区分	出動件数	活動件数	救助人員
平成27年	115	64	17
平成28年	123	56	23
平成29年	96	55	36
平成30年	117	60	46
令和元年	92	41	29
令和2年	120	55	58
令和3年	114	58	52
令和4年	93	43	35
令和5年	80	47	32
令和6年	75	45	39

事故種別救助活動状況

(令和6年中)

事故種別		救助出動件数		救助活動件数	
火災	建物	9	9	9	9
	建物以外			0	
交通事故		40	66	17	36
水難事故		5		3	
自然災害		0		0	
機械による事故		3		3	
建物等による事故		7		7	
ガス及び酸欠事故		0		0	
破裂事故		0		0	
その他		11		6	
合計		75		45	

事故種別発生場所別出動件数

(令和6年中)

事故種別 発生場所			火 災		交通 事故	水難 事故	自然 災害 事故	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他 の事故	合計
			建物	建物 以外									
屋 内	住 居		6						2				8
	その他の屋内		2				1	3					6
屋 外	道 路	高速自動車国道等											0
		その他の道路			39							2	41
	水 面	内 水 面				5							5
		外 水 面											0
	山 岳												0
	その他の屋外		1		1			2	2			8	14
地 下													0
そ の 他												1	1
合 計			9	0	40	5	0	3	7	0	0	11	75

指 揮 調 査



警察機関と合同で実況見分を行っている状況

〈火災の概況〉

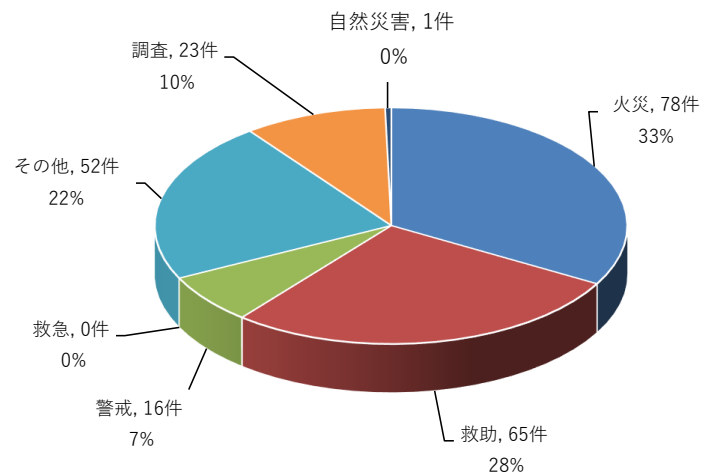
令和6年中の管内における火災件数は108件で前年に比べ15件増加しています。
構成市町別では伊勢崎市が96件、玉村町が12件となっております。
損害額については18,870万円であり、前年より7,481万円の増加となりました。

指 揮 活 動



指揮活動の状況

指揮隊出動件数 ・ 災害種別内訳



指揮隊出動内訳

(令和6年中)

	火 災	救 助	警 戒	救 急	そ の 他	調 査	自然災害	月 計
1 月	3	3	0	0	5	0	0	11
2 月	10	10	1	0	2	6	0	29
3 月	9	5	2	0	3	6	0	25
4 月	7	2	1	0	3	1	0	14
5 月	8	5	2	0	4	4	0	23
6 月	7	5	1	0	5	1	0	19
7 月	6	6	1	0	6	0	0	19
8 月	5	8	2	0	4	0	1	20
9 月	6	6	2	0	3	3	0	20
1 0 月	3	7	0	0	2	0	0	12
1 1 月	6	5	2	0	9	1	0	23
1 2 月	8	3	2	0	6	1	0	20
合計 (件)	78	65	16	0	52	23	1	235

火 災 の 状 況

(令和5年・令和6年比較)

	令和6年(A)	令和5年(B)	増減(A)－(B) (C)	増減率(C)/(B) ×100 (%)
出火件数 (件)	108	93	15	16
建物	51	41	10	24
車両	9	5	4	80
その他	48	47	1	2
焼損棟数 (棟)	77	65	12	18
全焼	17	8	9	113
半焼	4	7	△ 3	△ 43
部分焼	24	20	4	20
ぼや	32	30	2	7
り災世帯 (世帯)	44	47	△ 3	△ 6
全損	8	5	3	60
半損	3	3	0	300
小損	33	39	△ 6	△ 15
り災人員 (人)	104	104	0	0
死傷者 (人)	13	16	△ 3	△ 19
死者	2	4	△ 2	△ 50
負傷者	11	12	△ 1	△ 8
30日死者	0	0	0	—
焼損				
床面積 (㎡)	2,275	1,312	963	73
表面積 (㎡)	358	712	△ 354	△ 50
損害額 (千円)	188,706	113,893	74,813	66
建物	153,168	83,729	69,439	83
収容物	28,868	28,761	107	0
車両	1,870	460	1,410	307
その他	4,800	943	3,857	409
出火率 (件)	4.4	3.8	0.6	16

- (注) 1 死者とは、火災により負傷した後、48時間以内に死亡したものをいう。
- 2 30日死者とは、負傷者のうちで火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に死亡したものをいう。
- 3 焼損面積は、建物のみ。
- 4 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。
- 5 △は減少を示す。

市町別出火状況

(令和6年中)

	伊勢崎市	玉村町	合 計
出火件数（件）	96	12	108
建物	43	8	51
車両	9	0	9
その他	44	4	48
焼損棟数（棟）	64	13	77
全焼	14	3	17
半焼	3	1	4
部分焼	17	7	24
ぼや	30	2	32
り災世帯（世帯）	32	12	44
全損	6	2	8
半損	0	3	3
小損	26	7	33
り災人員（人）	76	28	104
死傷者（人）	12	1	13
死者	1	1	2
負傷者	11	0	11
30日死者	0	0	0
焼損			
床面積（㎡）	1,728	547	2,275
表面積（㎡）	187	171	358
損害額（千円）	154,000	34,706	188,706
建物	120,456	32,712	153,168
収容物	27,007	1,861	28,868
車両	1,744	126	1,870
その他	4,793	7	4,800
出火率（件）	4.5	3.4	4.4

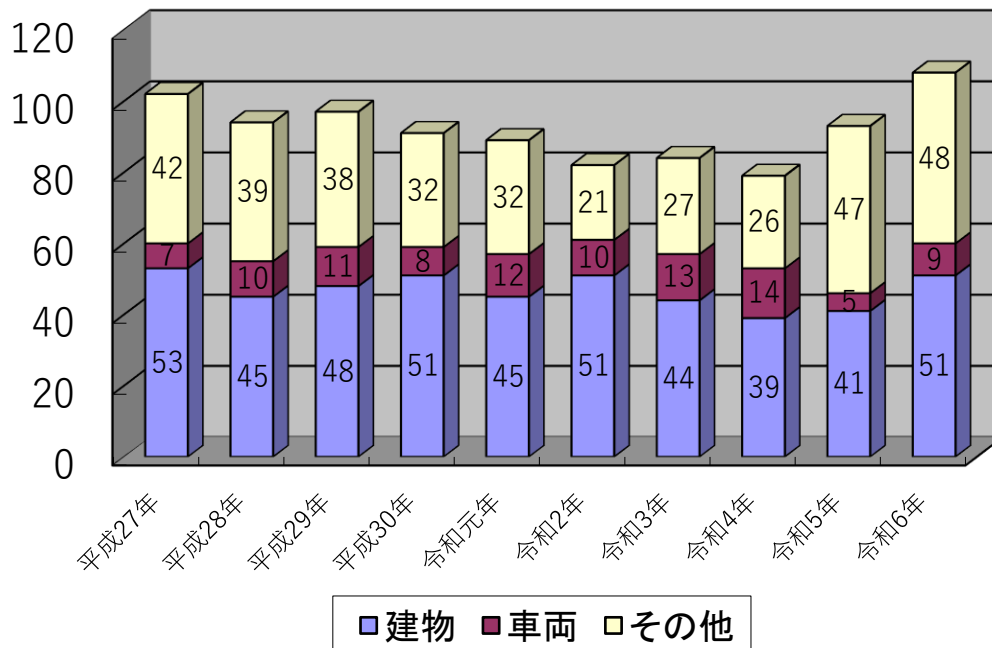
- (注) 1 死者とは、火災により負傷した後、48時間以内に死亡したものをいう。
 2 30日死者とは、負傷者のうちで火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に死亡したものをいう。
 3 焼損面積は、建物のみ。
 4 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。

火災状況の推移

(過去10年間)

	件数	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	出火率
平成27年	102	床 4,049 表 855	170,081	5	11 30日死者 0	4.1
平成28年	94	床 3,086 表 759	224,768	6	15 30日死者 1	3.8
平成29年	97	床 2,478 表 600	236,449	3	11 30日死者 0	3.9
平成30年	91	床 3,491 表 304	394,191	6	7 30日死者 0	3.6
令和元年	89	床 3,013 表 300	149,737	6	15 30日死者 1	3.6
令和2年	82	床 1,934 表 801	189,276	0	9 30日死者 0	3.3
令和3年	84	床 1,602 表 120	148,135	4	9 30日死者 0	3.4
令和4年	79	床 1,701 表 699	104,131	4	8 30日死者 0	3.2
令和5年	93	床 1,312 表 712	113,893	4	12 30日死者 0	3.8
令和6年	108	床 2,275 表 358	188,706	2	11 30日死者 0	4.4

火災件数の推移



火 災 件 数

建物火災

建物火災は51件で前年に比べ10件増加している。損害額は18,295万円で前年と比べ7,006万円増加している。

建物火災の推移

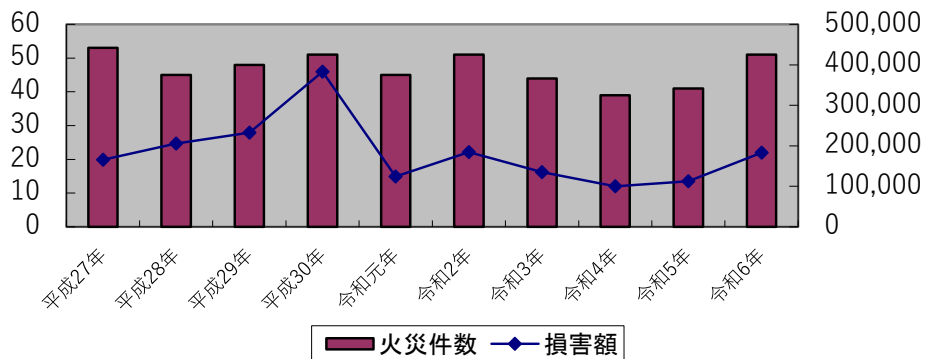
(単位：千円)

	火災件数	※損害額
平成 27 年	53	165,792
平成 28 年	45	205,352
平成 29 年	48	232,531
平成 30 年	51	383,132
令和 元 年	45	125,737
令和 2 年	51	184,515
令和 3 年	44	134,797
令和 4 年	39	100,030
令和 5 年	41	112,894
令和 6 年	51	182,952

※建物火災に関連した損害を含む。

件数

(単位：千円)



車両火災

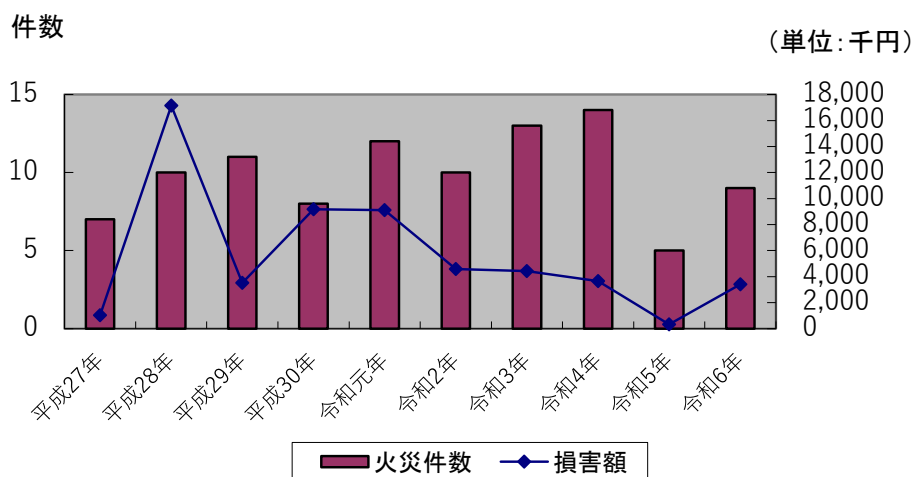
車両火災は9件で前年に比べ4件増加している。損害額は341万円で前年と比べ308万円増加している。

車両火災の推移

(単位：千円)

	火災件数	※損害額
平成 27 年	7	1,028
平成 28 年	10	17,142
平成 29 年	11	3,526
平成 30 年	8	9,179
令和 元 年	12	9,114
令和 2 年	10	4,579
令和 3 年	13	4,423
令和 4 年	14	3,663
令和 5 年	5	331
令和 6 年	9	3,418

※車両火災に関連した損害を含む。



その他の火災

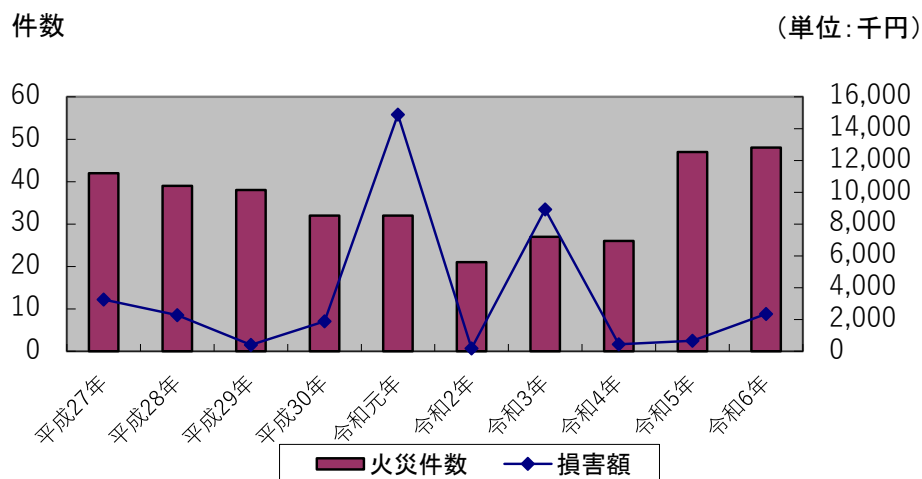
その他の火災は48件で前年と比べ1件増加している。損害額は233万円で前年と比べ167万円増加している。

その他の火災の推移

(単位: 千円)

	火災件数	※損害額
平成27年	42	3,261
平成28年	39	2,274
平成29年	38	392
平成30年	32	1,880
令和元年	32	14,886
令和2年	21	182
令和3年	27	8,915
令和4年	26	438
令和5年	47	668
令和6年	48	2,336

※その他の火災に関連した損害を含む。



出 火 原 因

令和6年中における全火災108件中を原因別に見ると、出火原因の第1位は「放火・放火の疑い（21件・全体の19.4%）」、第2位は「たき火（16件・全体の14.8%）」、「たばこ（11件・全体の10.1%）」となっている。

第 1 位 放火・放火の疑いによる損害状況

放火による火災は3件、放火の疑いによる火災を含めると21件で、前年に比べ8件増加しており、全火災の19.4%を占めている。

放火・放火の疑いによる火災の損害額は519万円で前年に比べ467万円増加している。

	単 位	放 火			放火の疑い			放火と放火の疑いの合計		
		令和6年	令和5年	増減値	令和6年	令和5年	増減値	令和6年	令和5年	増減値
出 火 件 数	件	3	1	2	18	12	6	21	13	8
建物火災		2	1	1	5	0	5	7	1	6
車両火災		0	0	0	0	1	△ 1	0	1	△ 1
その他の火災		1	0	1	13	13	0	14	13	1
建物焼損床面積	㎡	0	0	0	133	0	133	133	0	133
建物焼損表面積		6	0	6	61	0	61	67	0	67
損 害 額	千円	17	0	17	5,180	520	4,660	5,197	520	4,677

第 2 位 たき火による損害状況

たき火による火災は16件で前年に比べ2件増加し、全火災の14.8%を占めている。損害額は3,696万円で前年に比べ968万円増加している。

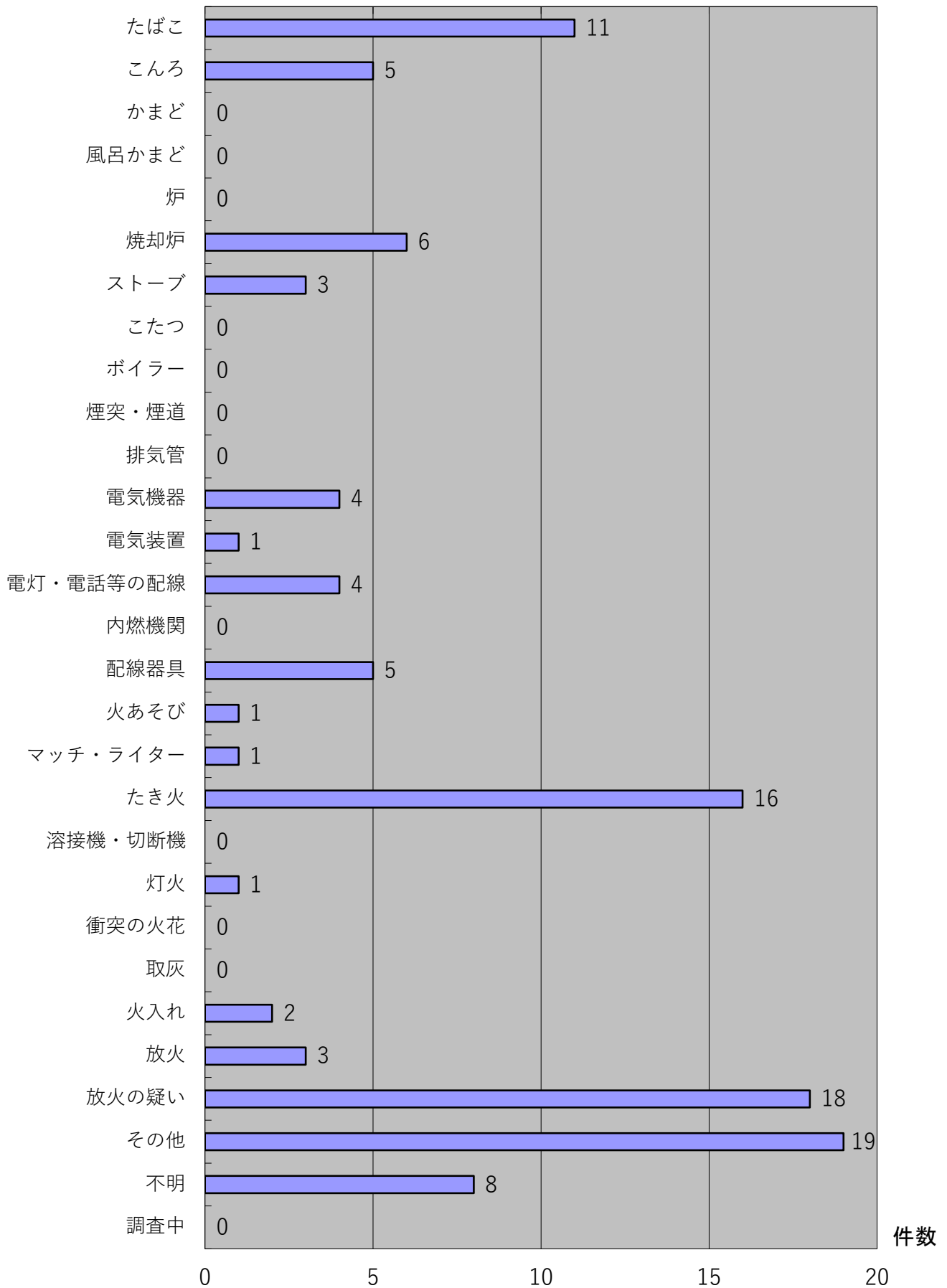
	単 位	たき火		
		令和6年	令和5年	増減値
出 火 件 数	件	16	14	2
建物火災		4	4	0
車両火災		0	0	0
その他の火災		12	10	2
建物焼損床面積	㎡	622	294	328
建物焼損表面積		31	340	△ 309
損 害 額	千円	36,960	27,288	9,672

第 3 位 たばこによる火災の損害状況

たばこによる火災は11件で前年に比べ2件減少し、全火災の10.1%を占めている。損害額は831万円で前年に比べ461万円増加している。

	単 位	たばこ		
		令和6年	令和5年	増減値
出 火 件 数	件	11	13	△ 2
建物火災		4	3	1
車両火災		1	1	0
その他の火災		6	9	△ 3
建物焼損床面積	㎡	77	41	36
建物焼損表面積		74	7	67
損 害 額	千円	8,310	3,707	4,603

出 火 原 因



火 災 に よ る 死 傷 者

令和6年中の火災による死者は2人で、負傷者は11人である。

火災種別ごとの死傷者発生状況

	建物火災	車両火災	その他の火災
死 者(人)	1	1	
割 合(%)	50	50	
負傷者(人)	9	1	1
割 合(%)	82	9	9

全火災の区分別死傷者数

	消防吏員	消防団員	応急消火義務者	消防協力者	その他	計
死 者(人)					2	2

	消防吏員	消防団員	応急消火義務者	消防協力者	その他	計
負傷者(人)			9		2	11
重 症			2		1	3
中等症			4		1	5
軽 症			3			3

全火災の死傷者の性別・年齢区分

	死 者 (人)			負 傷 者 (人)		
	男	女	計	男	女	計
5歳以下(人)						
6 ～ 10 歳						
11 ～ 15 歳						
16 ～ 20 歳				1		
21 ～ 25 歳	1		1			
26 ～ 30 歳				1		
31 ～ 35 歳						
36 ～ 40 歳						
41 ～ 45 歳				1		
46 ～ 50 歳						
51 ～ 55 歳				1		
56 ～ 60 歳				1		
61 ～ 65 歳				2		
66 ～ 70 歳				1		
71 ～ 75 歳		1	1			
76 ～ 80 歳						
81歳以上				3		
合 計	1	1	2	11	0	11

署・分署別火災発生状況

	伊勢崎 消防署	北分署	南分署	西分署	赤 堀 消防署	東 消防署	境 消防署	玉 村 消防署	計
火災件数（件）	13	13	19	1	10	17	22	13	108
建 物	8	8	6	1	3	9	8	8	51
車 両	1	1	3	0	1	0	3	0	9
そ の 他	4	4	10	0	6	8	11	5	48
焼損棟数（棟）	12	24	6	1	4	9	8	13	77
全 焼	4	7	1	0	0	1	1	3	17
半 焼	0	2	0	0	1	0	0	1	4
部 分 焼	3	4	2	0	1	3	4	7	24
ぼ や	5	11	3	1	2	5	3	2	32
り災世帯（世帯）	8	9	3	1	0	6	5	12	44
り災員（人）	18	25	5	3	0	11	14	28	104
焼損床面積（㎡）	286	638	97	0	424	139	144	547	2,275
焼損表面積（㎡）	108	20	1	0	19	5	34	171	358
死 者（人）	0	0	1	0	0	0	0	1	2
負傷者（人）	4	1	1	1	0	2	2	0	11
損害額（千円）	36,440	78,971	5,759	5	2,201	9,593	21,031	34,706	188,706

装 備 ・ 施 設

【令和6年度 整備車両】

小型動力ポンプ付水槽車

伊勢崎消防署配備 伊勢崎水槽1号車



災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車

境消防署配備 境1号車



消防車両等現有配置状況

(令和7年4月1日現在)

車種別 所 属	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車	梯 子 自 動 車	化 学 消 防 車	救 急 車	救 助 工 作 車 Ⅱ 型	救 助 工 作 車 Ⅲ 型	指 揮 車	小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	資 機 材 運 搬 車	指 令 車	火 災 調 査 車	広 報 連 絡 車	乗 用 車	マ イ ク ロ バ ス	被 牽 引 車 (ト レ ー ラー)	合 計
消 防 本 部					2			1		2	4	1	4	1	1		16
伊 勢 崎 消 防 署	1		1	1	2	1	1		1	1	1						10
伊 勢 崎 消 防 署 北 分 署	1				1								1				3
伊 勢 崎 消 防 署 南 分 署	1				1					1			1			1	5
伊 勢 崎 消 防 署 西 分 署	1				1								1				3
赤 堀 消 防 署	1	1			1						1						4
東 消 防 署	1	1			1						1						4
境 消 防 署	1		1		1				1	1	1						6
玉 村 消 防 署	2				1						1						4
合 計	9	2	2	1	11	1	1	1	2	5	9	1	7	1	1	1	55

消 防 車 両 一 覧 表

(令和7年4月1日現在)

所 属	車 両 名	メ ー カ ー 種	登 録 番 号	取 得 年 月 日	ポンプ性能 製作所	車両総 重量(kg)	免 許 区 分	備 考
消 防 部	本 部 1 (指 令 車)	三 菱 パ ジ エ ロ	800 す 9965	H20.2.8		2,495	普通	四輪駆動
	本 部 2 (広 報 連 絡 車)	ト ヨ タ ノ ア	503 す 4678	H29.2.10		2,010	普通	
	本 部 3 (指 令 車)	ニ ッ サ ン キ ャ ラ バ ン	800 セ 9610	R2.3.10		3,115	普通	
	本 部 4 (指 令 車)	ホ ン ダ ステップワゴン	800 セ 3284	H23.8.23		2,150	普通	
	本 部 5 (指 令 車)	ニ ッ サ ン A D バ ン	800 セ 4532	H25.2.22		1,745	普通	
	本 部 6 (マイクロバス)	ニ ッ サ ン シ ビ リ ア ン	200 さ 1014	H16.8.20		5,365	中型	乗車定員29人
	本 部 支 援 1 (資 機 材 運 搬 車)	日 野 レ ン ジ ャ ー	800 は 1922	H28.3.4		10,905	中型	支援車Ⅱ型 四輪駆動 緊急消防援助隊登録
	本 部 機 材 1 (資 機 材 運 搬 車)	三 菱 キ ャ ン タ ー	800 そ 1148	R4.3.15		4,255	準中型	四輪駆動 緊急消防援助隊登録
	救 急 伊 勢 崎 3 (高 規 格 救 急 自 動 車)	ニ ッ サ ン パ ラ メ デ ィ ッ ク	800 セ 5277	H26.1.7		3,275	普通	非常用救急自動車
	救 急 伊 勢 崎 4 (高 規 格 救 急 自 動 車)	ニ ッ サ ン パ ラ メ デ ィ ッ ク	800 セ 4541	H25.2.26		3,265	普通	非常用救急自動車
	本 部 指 揮 1 (指 揮 車)	ト ヨ タ ハ イ エ ー ス	800 セ 4535	H25.2.22		3,020	普通	
	本 部 調 査 1 (火 災 調 査 車)	ト ヨ タ ハ イ メ デ ィ ッ ク	800 す 1246	H15.3.27		2,555	普通	
	乗 用 車	ト ヨ タ マ ー ク II	300 ま 3569	H16.3.12		1,745	普通	
	危 険 物 安 全 協 会 車 (広 報 連 絡 車)	ト ヨ タ プ ロ ボ ッ ク ス	502 ん 3916	H22.11.30		1,315	普通	寄贈車両
	危 険 物 安 全 協 会 車 2 (広 報 連 絡 車)	ス ブ キ エ ブ リ イ	480 て 8595	H30.5.28		1,330	普通	寄贈車両
	水 防 車 (広 報 連 絡 車)	ダ イ ハ ツ ハ イ ゼ ッ ト	41 む 6600	H17.1.21		1,210	普通	

【令和6年度 整備車両】



伊勢崎消防署配備
伊勢崎水槽1号車
(小型動力ポンプ付水槽車)



境消防署配備
境1号車
(水槽付消防ポンプ自動車)



赤堀消防署配備
救急赤堀1号車
(高規格救急自動車)

※救急課により整備

所属	車 両 名	メーカ一 車種	登録番号	取得年月日	ポンプ性能 製作所	車両総 重量(kg)	免許区分	備 考
伊勢 崎 消 防 署	伊勢崎指令1 (指令車)	トヨ タ ノ ア	800 す 7250	H18.3.15		1,970	普通	
	伊勢崎1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 レ ン ジ ャ ー	800 は 1272	H21.1.28	A-2級 モ リ タ	11,180	大型	四輪駆動 積載水量2,000ℓ CAFS装置
	伊勢崎水槽1 (小型動力ポンプ付水槽車)	日 野 プ ロ フ ィ ア	800 は 2674	R7.3.7	B-2級 シ バ ウ ラ	21,835	大型	積載水量10,000ℓ
	伊勢崎化学1 (化学Ⅱ型)	日 野 レ ン ジ ャ ー	800 は 2055	H30.1.29	A-2級 モ リ タ	11,420	大型	四輪駆動 積載水量1,500ℓ 積載薬剤 500ℓ 緊急消防援助隊登録
	伊勢崎救助1 (救助Ⅲ型)	日 野 レ ン ジ ャ ー	800 は 1574	H24.2.20		11,865	大型	四輪駆動 緊急消防援助隊登録
	伊勢崎救助2 (救助Ⅱ型)	日 野 レ ン ジ ャ ー	88 ら 1490	H7.2.16		9,700	中型	非常用救助工作車
	伊勢崎梯子1 (38m級)	日 野	88 ら 2190	H11.3.10		20,390	大型	全伸梯 41m
	伊勢崎機材1 (資機材運搬車)	三 菱 キ ャ ン タ ー	800 す 1206	H15.3.27		5,525	準中型	クレーン付
	救急伊勢崎1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パ ラ メ デ ィ ッ ク	800 そ 2304	R5.11.14		3,235	普通	
	救急伊勢崎2 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パ ラ メ デ ィ ッ ク	800 セ 7555	H29.2.16		3,285	普通	
北 分 署	伊勢崎北指令1 (広報連絡車)	ニ ッ サ ン ク リ ッ パ ー	880 あ 2159	R2.3.10		1,350	普通	
	伊勢崎北1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 レ ン ジ ャ ー	800 は 2289	R3.2.9	A-2級 モ リ タ	11,960	大型	四輪駆動 積載水量2,000ℓ CAFS装置 救助資機材 緊急消防援助隊登録
	救急伊勢崎北1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パ ラ メ デ ィ ッ ク	800 セ 8914	H31.2.20		3,245	普通	
南 分 署	伊勢崎南指令1 (広報連絡車)	ス ズ キ ハ ス ラ ー	880 あ 2161	R2.3.9		1,060	普通	四輪駆動
	伊勢崎南1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 プ ロ フ ィ ア	800 は 1375	H22.3.12	A-2級 モ リ タ	14,940	大型	積載水量3,500ℓ CAFS装置
	伊勢崎南機材1 (資機材運搬車)	ト ヨ タ ダ イ ナ	88 に 5728	H4.5.26		4,450	準中型	四輪駆動
	救急伊勢崎南1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パ ラ メ デ ィ ッ ク	800 そ 267	R3.1.21		3,255	普通	緊急消防援助隊登録
	水上バイク 被牽引車	ス ペ シ ャ ル ト レ ー ラ ー ズ	80 を 1267	H14.11.8		490	普通	水難救助用
西 分 署	伊勢崎西指令1 (広報連絡車)	ニ ッ サ ン ク リ ッ パ ー	880 あ 2158	R2.3.10		1,360	普通	
	伊勢崎西1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 レ ン ジ ャ ー	800 は 1074	H19.3.15	A-2級 モ リ タ	11,520	大型	四輪駆動 積載水量2,000ℓ 救助資機材 緊急消防援助隊登録
	救急伊勢崎西1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パ ラ メ デ ィ ッ ク	800 そ 1663	R5.1.12		3,235	普通	

所属	車 両 名	メ ー カ ー 種	登録番号	取得年月日	ポンプ性能 製作所	車両総 重量(kg)	免許区分	備 考
赤 堀 消 防 署	赤 堀 指 令 1 (指 令 車)	ホ ン ダ ステップワゴン	800 セ 3285	H23.8.23		2,150	普通	
	赤 堀 1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 プロフィア	831 た 119	H18.3.15	A-2級 モリタ	14,645	大型	積載水量3,500ℓ 救助資機材
	赤 堀 2 (CD-I 水槽付)	い す ゞ エルフ	88 め 7217	H9.11.25	A-2級 モリタ	5,510	準中型	積載水量900ℓ
	救 急 赤 堀 1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 そ 3037	R7.1.17		3,275	普通	緊急消防援助隊登録
東 消 防 署	東 指 令 1 (指 令 車)	ニ ッ サ ン バネット	800 そ 2507	R6.3.14		2,110	普通	
	東 1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 レンジャー	800 は 2382	R3.12.15	A-2級 モリタ	10,950	中型	積載水量2,000ℓ
	東 2 (CD-I 水槽付)	い す ゞ エルフ	88 め 5247	H9.3.14	A-2級 モリタ	5,510	準中型	積載水量900ℓ
	救 急 東 1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 セ 9599	R2.2.27		3,205	普通	緊急消防援助隊登録
境 消 防 署	境 指 令 1 (指 令 車)	ニ ッ サ ン バネット	800 そ 1963	R5.5.24		2,080	普通	
	境 1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 レンジャー	800 は 2659	R7.1.24	A-2級 モリタ	11,950	大型	四輪駆動 積載水量2,000ℓ CAFS装置 緊急消防援助隊登録
	境 2 (小型動力ポンプ付水槽車)	日 野 レンジャー	800 は 1467	H23.3.10	B-2級 トーハツ	12,995	大型	積載水量4,700ℓ
	境 梯 子 1 (15m 級)	日 野 レンジャー	800 は 1185	H20.2.25	A-2級 モリタ	10,480	中型	積載水量900ℓ 伸縮式固定水管路付
	境 機 材 1 (資機材運搬車)	日 野 デュトロ	800 セ 5410	H26.3.7		6,155	準中型	四輪駆動
	救 急 境 1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 そ 2330	R5.12.5		3,245	普通	
玉 村 消 防 署	玉 村 指 令 1 (指 令 車)	ス ズ キ ランディ	800 セ 4533	H25.2.22		2,200	普通	
	玉 村 1 (水槽付Ⅱ型)	日 野 プロフィア	800 は 1079	H19.3.20	A-2級 モリタ	14,715	大型	積載水量3,500ℓ 救助資機材
	玉 村 2 (水槽付Ⅱ型)	日 野 レンジャー	800 は 2499	R5.3.8	A-2級 モリタ	10,770	中型	積載水量2,000ℓ
	救 急 玉 村 1 (高規格救急自動車)	ニ ッ サ ン パラメディック	800 そ 986	R4.2.3		3,225	普通	

装 備 品 一 覧 表

(令和7年4月1日現在)

品 名		所 属	消 防 本 部	伊 勢 崎 消 防 署	北 分 署	南 分 署	西 分 署	赤 堀 消 防 署	東 消 防 署	境 消 防 署	玉 村 消 防 署	計
測定 資 機 材 等	ピ ト ー ゲ ー ジ							1		1	1	3
	コ ン プ レ ッ シ ョ ン ゲ ー ジ							1		1	1	3
	騒 音 計		1									1
	可燃性ガス検知器・酸素濃度測定器		1	3	1	1	1	1	1	1	1	11
	有 毒 ガ ス 検 知 器			2								2
	放 射 線 測 定 器		4	3	1		1	1	1	1		12
	非 接 触 式 ・ 放 射 温 度 計		2	1		1	1	1	1	1	1	9
消 火 ・ 救 助 活 動 資 機 材 等	消 火 ホ ー ス	4 0 mm		22	15	10	13	10	19	22	15	126
		5 0 mm		75	45	31	38	41	48	47	55	380
		6 5 mm		71	58	28	26	25	38	76	49	371
		6 5 mm (梯子車用)		1								1
	放 水 銃			1	1	1			1	1		5
	ラ イ ン プ ロ ボ ー シ ョ ナ ー				1	1	1	1	1	1	1	7
	R P 型 エ ア ー フ ォ ー ム ノ ズ ル					1			1	1		3
	背 負 式 消 火 水 の う (手 動 式)			24	2	2	2	2	4	9	3	48
	送 排 風 機			2								2
	酸 素 呼 吸 器			5								5
	空 気 呼 吸 器	L 3 0 型等	5	25	7	5	6	8	8	11	9	84
		K 3 0 型	15									15
	空 気 ボ ン ベ	FRP複合 (5ℓ 30MPa)		10	3		4			5		22
		FRP複合 (7ℓ 30MPa)		54	27	21	27	33	33	37	30	262
		FRP複合 (9ℓ 30MPa)		5								5
		スチール (4～8ℓ)		13	3	2		3		7	8	36
		潜 水 用 (12ℓ)		6								6
	防 護 服 等	耐 熱 服		7		1	1	1		2	1	13
		耐 電 服		4								4
		絶 縁 ゴ ム 手 袋		19	6	4	5	2	5	4	4	49
		防 毒 マ ス ク	17	11	3	3	3	3	3	3	3	49
		防 塵 メ ガ ネ		6		7					8	21
		化 学 防 護 服	30	6								36
		陽 圧 式 化 学 防 護 服		5								5
		放 射 線 防 護 服		7								7
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー			5	1	1	1	1	1	2	2	14
	チ ェ ー ン ソ ー			4	1	1	1	1	1	2	2	13
	鉄 線 カ ッ タ ー		8	5	3	2	2	1	2	4	1	28
	携 帯 発 電 機		4	5	1	3	1	2	3	5	3	27
	投 光 器		4	8	1	1	1	2	2	3	3	25
	携 帯 投 光 器		5	13	1		7	2	3	6	2	39
	三 連 は し ご		1	4	2	1	1	1	2	2	2	16
	か ぎ 付 は し ご			4	2	1	2	2	1	3	2	17
	救 命 索 発 射 銃			1								1
	画 像 探 索 機			2								2
	簡 易 画 像 探 索 機			1								1

品 名		所 属	消 防 本 部	伊 勢 崎 消 防 署	北 分 署	南 分 署	西 分 署	赤 堀 消 防 署	東 消 防 署	境 消 防 署	玉 村 消 防 署	計
救 助 活 動 資 機 材 等	熱 画 像 直 視 装 置		1	5	1			1	1	1	1	11
	救 助 用 支 柱 器 具			1								1
	油 圧 ジ ャ ッ キ			5		1		2	1	4	1	14
	油 圧 ス プ レ ッ ダ ー			3	1	1		1	1	1	2	10
	大 型 油 圧 ス プ レ ッ ダ ー			2								2
	油 圧 切 断 機			4	1	1		1	1	1	2	11
	大 型 油 圧 切 断 機			2								2
	エ ア ー ソ ー			2								2
	マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ			2	1		1	1			1	6
	携 帯 用 コ ン ク リ ー ト 破 壊 器 具			2		1	1	1	1	1	1	8
	万 能 斧			7	3	2	1	1	2	4	2	22
	ハ ン マ ー			3	1	1		1	1	1		8
	救 助 用 滑 車			37	5	3	3	3	3	3	3	60
	空 気 式 救 助 マ ッ ト			1								1
	安 全 マ ッ ト		1	5	2	4	1	3	1	1	2	20
	バ ス ケ ッ ト 担 架			3	1				1	1	1	7
	サバイバースリング・救命用縛帯			11	3	3	3	2	2	2	4	30
	可 搬 式 ウ イ ン チ			3	1	3	1	2	1		1	12
	張 力 計		1	4				1				6
	緩 降 機			2						1		3
	ゴ ム ボ ー ト (船 外 機 を 含 む)			2						1	2	5
	水 上 バ イ ク					1						1
	潜 水 器 具 一 式			6								6
	救 命 胴 衣		27	42	8	23	8	13	13	24	22	180
	救 命 浮 環		1	6	1	4	1	1	1	6	4	25
	浮 標			8								8
救 急 資 機 材 等 そ の 他	携 帯 用 人 工 呼 吸 ・ 酸 素 蘇 生 器		2	3	2	2	2	2	2	3	3	21
	携 帯 用 電 動 吸 引 器		2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	ビ デ オ 喉 頭 鏡		3	2	1	1	1	1	1	1	1	12
	血 糖 測 定 器		2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	患 者 監 視 装 置		2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	自 動 体 外 式 除 細 動 器 (二 相 波 形 式)	TEC-2603等	2	2	1	1	1	1	1	1	1	11
	A E D	AED-2151等	2	4	3	3	3	3	3	3	3	27
	オ ゾ ン 発 生 器		1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	紫 外 線 殺 菌 装 置				1	1		1	1	1	1	6
	殺 菌 線 ロ ッ カ ー			1			1				1	3
	高 度 救 命 処 置 訓 練 人 形		3	1								4
	気 管 挿 管 モ デ ル		1		1	1	1	1	1	1	1	8
	静 脈 採 血 注 射 モ デ ル			1	1	1	1	1	1	1	1	8
	衛 星 電 話		1			1		1	1			4
そ の 他	コ ン プ レ ッ サ ー		1	2	1	1	1	1	1	1	1	10
	ガ レ ー ジ ジ ャ ッ キ		3	1	1	1	1	1	2	1	1	12
	バ ッ テ リ ー 充 電 器			1	1	1	1	1	1	1	1	8
	ホ ー ス 修 理 機 (リ ン グ 式 か し め 機)			1				1	1	1	1	5
他	携 帯 拡 声 器		4	8	2	2	1	2	4	3	3	29

消 防 水 利 施 設 現 況

種別 管轄別	消火栓 (令和6年4月1日現在)			防火水槽 (令和7年4月1日現在)											
	埋設管口径 (φ)			公設 (m³)					私設 (m³)					合計	プール
	150未満	150以上	合 計	20未満	20 40 未満	40 60 未満	60 100 未満	100以上	20未満	20 40 未満	40 60 未満	60 100 未満	100以上		
伊勢崎市	2,794	1,368	4,162	25	82	567	9	1	40	80	88	3	1	896	36
(伊勢崎消防署)	1,928	910	2,838		9	245	8	1		4	10	1		278	20
(赤堀消防署)	278	107	385	4	13	152			39	69	43	1	1	322	4
(東消防署)	237	154	391	21	58	73	1		1	6	28	1		189	4
(境消防署)	351	197	548		2	97				1	7			107	8
玉村町 (玉村消防署)	333	130	463	12	32	144	4	3			2			197	8
計	3,127	1,498	4,625	37	114	711	13	4	40	80	90	3	1	1,093	44

年 度 別 新 設 消 火 栓 現 況

(令和6年4月1日現在)

布設年度 管轄別	埋設管口径 (φ)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	計	合計
伊勢崎消防署	150以上	13	20	19	11	14	77	163
	150未満	6	10	19	30	21	86	
赤堀消防署	150以上	2	3	1	4	2	12	58
	150未満	8	13	10	4	11	46	
東消防署	150以上	1		2			3	6
	150未満	1	1			1	3	
境消防署	150以上		2	3	2	2	9	40
	150未満	13	2	6	3	7	31	
計	150以上	16	25	25	17	18	101	267
	150未満	28	26	35	37	40	166	

伊勢崎市

【令和6年度 消防水利整備事業】

防火水槽設置工事

桜公園 耐震性貯水槽 40 m³ 1基 (鋼板+FRP)

救 急



令和6年度 救急隊員生涯教育効果確認訓練
開催地：伊勢崎市消防本部

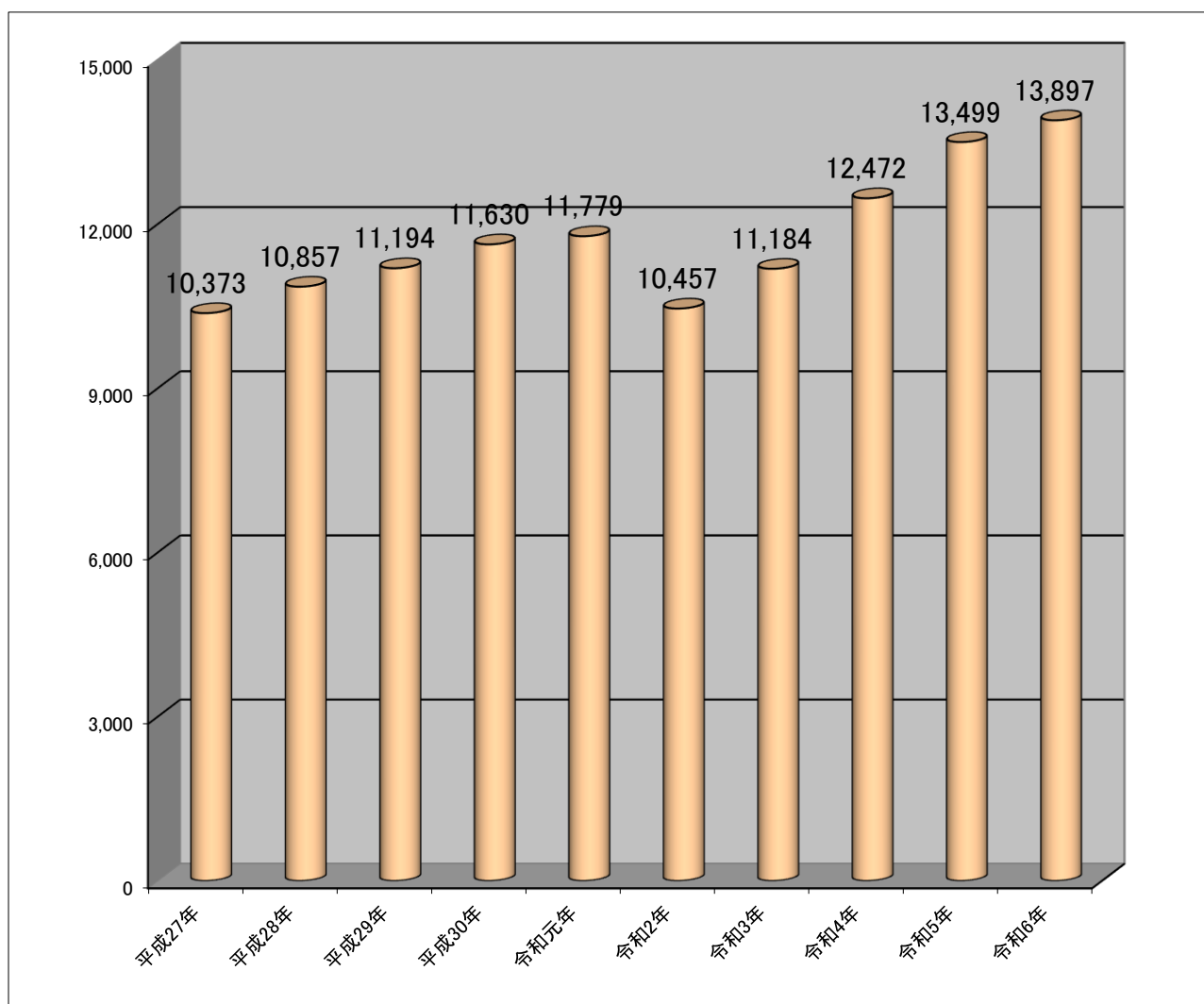
救 急 概 要

令和6年中の救急出動件数は、13,897件、搬送人員は、12,589人で前年と比較すると出動件数は398件増加、搬送人員は525人の増加となっています。

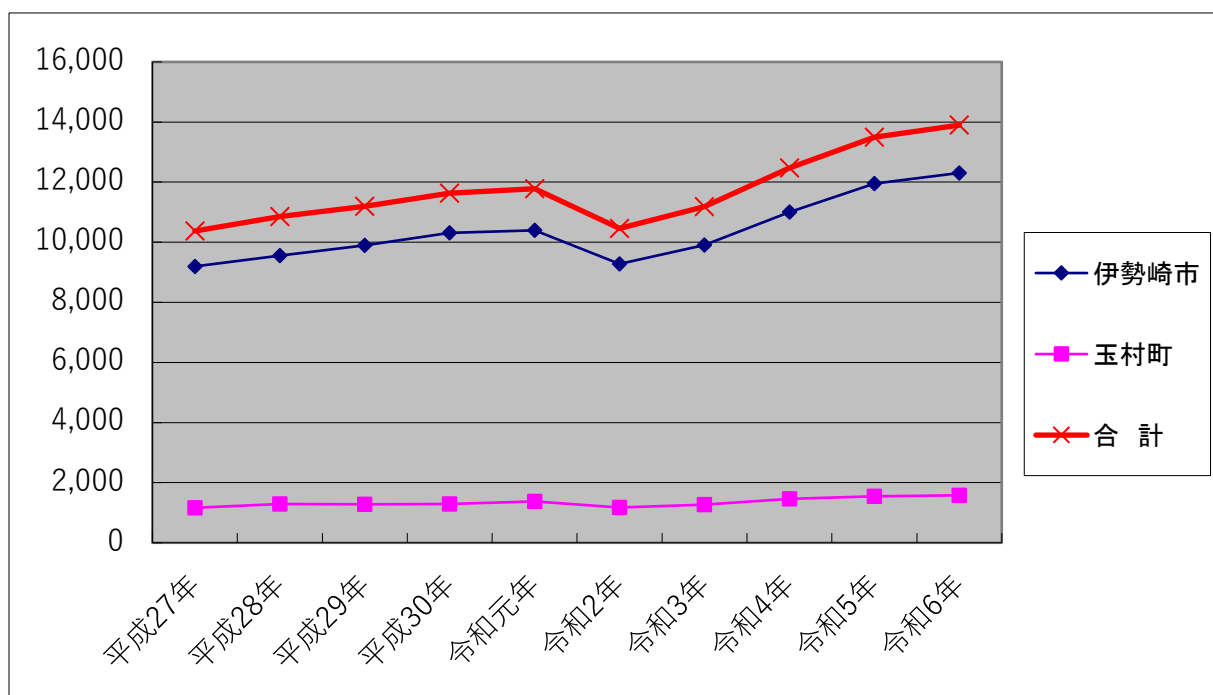
搬送状況を事故種別ごとにみると、急病が8,560人で全体の68.0%を占め、ついで一般負傷1,603人（12.7%）、転院搬送1,029人（8.2%）、交通事故940人（7.5%）の順となっています。

救急隊により搬送された方々の程度別の状況については、中等症が6,861人で全体の54.5%を占め、ついで軽症が4,172人（33.1%）、重症が1,460人（11.6%）の順となっています。

救 急 出 動 件 数 の 推 移



市町別救急出動件数の推移（過去10年間）



市町別 年	伊勢崎市	玉村町	管 外 (高速含む)	合 計
平成27年	9,197	1,164	12	10,373
平成28年	9,551	1,293	13	10,857
平成29年	9,897	1,277	20	11,194
平成30年	10,315	1,292	23	11,630
令和元年	10,392	1,379	8	11,779
令和2年	9,274	1,168	15	10,457
令和3年	9,910	1,264	10	11,184
令和4年	11,003	1,458	11	12,472
令和5年	11,948	1,544	7	13,499
令和6年	12,306	1,579	12	13,897

救急活動概要

(令和6年中)

区 分		令和6年 A	令和5年 B	前 年 比 較	
				増 減 A - B = C	増 減 率 C ÷ B
出 動 件 数		13,897 件	13,499 件	398 件	2.9 %
傷病者搬送件数		12,480 件	11,987 件	493 件	4.1 %
傷病者不搬送件数		1,417 件	1,512 件	-95 件	-6.3 %
医 師 搬 送 件 数		0 件	1 件	-1 件	-100.0 %
資器材等輸送件数		18 件	33 件	-15 件	-45.5 %
傷病者搬送人員		12,589 人	12,064 人	525 人	4.4 %
性別	男性	6,663 人	6,296 人	367 人	5.8 %
	女性	5,926 人	5,768 人	158 人	2.7 %
一日平均出動件数		38.0 件	37.0 件	伊勢崎佐波管内人口 令和6年1月1日現在 247,979 人 令和7年1月1日現在 247,704 人 前年比 275 人減	
発 生 率		38 分に 1 件	39 分に 1 件		
救 急 車 利 用 率		18 人に 1 人	18 人に 1 人		
人口1万人当たり の 出 動 件 数		557 件	544 件		

救急隊別出動状況

(令和6年中)

救急隊		区分	出動 件数	構成比 (%)	前年出 動件数	増減	1 ヶ月 平均	1 日 平均	搬送 人員	不搬送
伊勢崎消防署	伊勢崎署救急隊		3,607	25.96	3,583	24	301	9.9	3,123	510
	北分署救急隊		1,988	14.31	1,876	112	166	5.5	1,846	165
	南分署救急隊		1,573	11.32	1,516	57	131	4.3	1,415	168
	西分署救急隊		1,534	11.04	1,499	35	128	4.2	1,434	119
赤堀消防署救急隊			1,429	10.28	1,355	74	119	3.9	1,302	136
東消防署救急隊			1,241	8.93	1,228	13	103	3.4	1,143	107
境消防署救急隊			1,291	9.29	1,272	19	108	3.5	1,180	116
玉村消防署救急隊			1,234	8.88	1,170	64	103	3.4	1,146	96
合 計			13,897	100	13,499	398	1,158	38.1	12,589	1,417

発生市町別救急出動件数

(令和6年中)

市町別 事故種別		合 計	伊勢崎市	玉村町	管 外 (高速含む)
合 計		13,897	12,306	1,579	12
火 災		46	39	7	0
自然災害事故		0	0	0	0
水 難 事 故		5	2	2	1
交 通 事 故		965	881	77	7
労働災害事故		168	142	26	0
運動競技事故		120	112	8	0
一 般 負 傷		1,784	1,581	203	0
加 害		50	49	1	0
自 損 行 為		142	127	15	0
急 病		9,448	8,310	1,138	0
そ の 他	転 院 搬 送	1,033	945	88	0
	医 師 搬 送	0	0	0	0
	資器材等輸送	18	18	0	0
	そ の 他	118	100	14	4

発生市町別救急搬送人員

(令和6年中)

市町別 事故種別		合 計	伊勢崎市	玉村町	管 外 (高速含む)
合 計		12,589	11,128	1,447	14
火 災		12	11	1	0
自然災害事故		0	0	0	0
水 難 事 故		2	2	0	0
交 通 事 故		940	855	76	9
労働災害事故		168	142	26	0
運動競技事故		118	110	8	0
一 般 負 傷		1,603	1,417	186	0
加 害		40	40	0	0
自 損 行 為		106	94	12	0
急 病		8,560	7,512	1,048	0
そ の 他 (転院搬送等を含む)		1,040	945	90	5

現場到着までの所要時間

(令和6年中)

所要時間 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計(件)	平均(分)
急病	51	467	7,017	1,876	37	9,448	8.3
交通事故	9	52	620	250	34	965	9.3
一般負傷	10	95	1,328	346	5	1,784	8.2
その他	37	180	1,118	347	18	1,700	8.2
合計	107	794	10,083	2,819	94	13,897	8.3

病院収容までの所要時間

(令和6年中)

所要時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上	合計(人)	平均(分)
急病	0	17	928	6,506	1,109	8,560	44.5
交通事故	0	0	67	754	119	940	45.3
一般負傷	0	3	168	1,239	193	1,603	44.3
その他	0	28	319	1,006	133	1,486	40.7
合計	0	48	1,482	9,505	1,554	12,589	44.1

月別救急出動件数

(令和6年中)

月 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
急病	904	742	822	610	730	732	929	852	783	696	711	937
交通事故	75	80	80	80	81	69	79	86	75	63	109	88
一般負傷	164	130	146	129	149	148	143	167	117	179	149	163
その他	143	152	150	112	135	152	153	150	161	122	135	135
合計	1,286	1,104	1,198	931	1,095	1,101	1,304	1,255	1,136	1,060	1,104	1,323

曜日別救急出動件数

(令和6年中)

曜日 事故種別	月	火	水	木	金	土	日
急病	1,475	1,345	1,336	1,340	1,316	1,289	1,347
交通事故	162	132	146	138	153	126	108
一般負傷	255	261	249	246	237	291	245
その他	244	264	260	258	305	220	149
合計	2,136	2,002	1,991	1,982	2,011	1,926	1,849

時間別救急出動件数

(令和6年中)

時 間 \ 事故種別	合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
0時 ～ 2時	573	467	16	57	33
2時 ～ 4時	448	365	15	37	31
4時 ～ 6時	514	425	22	46	21
6時 ～ 8時	1,008	770	72	126	40
8時 ～ 10時	1,631	1,110	117	222	182
10時 ～ 12時	1,776	1,114	98	233	331
12時 ～ 14時	1,679	1,010	109	210	350
14時 ～ 16時	1,491	933	113	197	248
16時 ～ 18時	1,498	917	174	195	212
18時 ～ 20時	1,433	954	145	213	121
20時 ～ 22時	1,107	825	55	142	85
22時 ～ 24時	739	558	29	106	46
合 計	13,897	9,448	965	1,784	1,700

救急隊員の行った応急処置件数

(令和6年中)

事故種別 \ 応急処置等項目	合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
応急処置対象人員	12,589	8,560	940	1,603	1,486
止血	219	31	25	121	42
固定	628	34	371	136	87
人工呼吸	47	40	1	2	4
心臓マッサージ	0	0	0	0	0
（うち自動式）	0	0	0	0	0
心肺蘇生	228	189	6	11	22
（うち自動式）	134	116	1	7	10
酸素吸入	2,184	1,729	35	72	348
気道確保	336	280	9	14	33
1. 経鼻エアウェイ	37	31	1	1	4
2. 喉頭鏡／鉗子	7	4	0	3	0
3. ラリングアルマスク等	1	0	0	0	1
4. 気管挿管	6	3	0	3	0
保温	1,276	961	50	106	159
被覆	498	32	111	276	79
在宅療法の継続	153	142	1	7	3
ショックパンツ	0	0	0	0	0
除細動	25	22	0	0	3
静脈路確保	189	160	6	7	16
薬剤投与	101	84	2	5	10
その他の処置	11,970	8,176	885	1,519	1,390
血圧測定	11,785	8,009	910	1,461	1,405
聴診器	4,459	3,525	301	266	367
血中酸素飽和度	12,353	8,376	930	1,588	1,459
心電図	8,611	6,787	296	610	918
血糖測定	155	149	2	3	1
エピペン投与	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与	28	28	0	0	0
合 計	55,245	38,754	3,941	6,204	6,346

事故種別年齢区分別搬送人員

(令和6年中)

年齢区分	事故種別 傷病程度	火災	自然災害 事故	水難 事故	交通 事故	労働災害 事故	運動 競技 事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死 亡												0
	重 症											4	4
	中等症										3	24	27
	軽 症							1			1	1	3
	その他												0
	計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	29	34
乳幼児	死 亡												0
	重 症				1			2			9		12
	中等症				4			19			207	20	250
	軽 症				15			121	2		235	5	378
	その他												0
	計	0	0	0	20	0	0	142	2	0	451	25	640
少年	死 亡												0
	重 症				2		2	2			5	3	14
	中等症	1			30		23	16	1	7	102	6	186
	軽 症				80		45	42	1	1	117	1	287
	その他										2		2
	計	1	0	0	112	0	70	60	2	8	226	10	489
成人	死 亡				1					3	13		17
	重 症	1		2	21	18	3	12	4	22	173	61	317
	中等症	3			161	63	25	92	4	47	1,310	208	1,913
	軽 症	2			407	52	20	187	17	18	990	23	1,716
	その他										2		2
	計	6	0	2	590	133	48	291	25	90	2,488	292	3,965
高齢者	死 亡							1		1	64	3	69
	重 症	2			13	2		160	1	1	754	180	1,113
	中等症	1			73	16		465	5	5	3,459	461	4,485
	軽 症	2			132	17		481	5	1	1,110	40	1,788
	その他							2			4		6
	計	5	0	0	218	35	0	1,109	11	8	5,391	684	7,461
合計	死 亡	0	0	0	1	0	0	1	0	4	77	3	86
	重 症	3	0	2	37	20	5	176	5	23	941	248	1,460
	中等症	5	0	0	268	79	48	592	10	59	5,081	719	6,861
	軽 症	4	0	0	634	69	65	832	25	20	2,453	70	4,172
	その他	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8	0	10
	計	12	0	2	940	168	118	1,603	40	106	8,560	1,040	12,589

急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員

(令和6年中)

分類項目 傷病程度	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確 の状態	合 計
死 亡	0	27	0	1	0	0	0	5	37	7	77
重 症	127	131	48	136	0	6	4	29	266	194	941
中等症	325	254	394	583	34	83	117	59	1,786	1,446	5,081
軽 症	85	78	158	101	56	95	107	3	1,069	701	2,453
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8
合 計	537	490	600	821	90	184	228	96	3,166	2,348	8,560

住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

区 分 所 属	平成6年～令和4年		令和5年中		令和6年中		累 計 (平成6年から令和6年)	
	回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員
消防本部	22	218	15	148	14	284	51	650
伊勢崎消防署	857	19,011	25	502	23	533	905	20,046
北 分 署	388	7,580	11	143	10	116	409	7,839
南 分 署	362	6,784	11	106	5	48	378	6,938
西 分 署	205	3,822	3	27	3	36	211	3,885
赤堀消防署	302	5,896	6	54	11	110	319	6,060
東消防署	237	4,607	10	131	5	42	252	4,780
境消防署	494	8,060	12	220	17	234	523	8,514
玉村消防署	448	9,302	19	228	13	138	480	9,668
合 計	3,315	65,280	112	1,559	101	1,541	3,528	68,380

応急手当普及啓発活動の推移 (過去10年間)

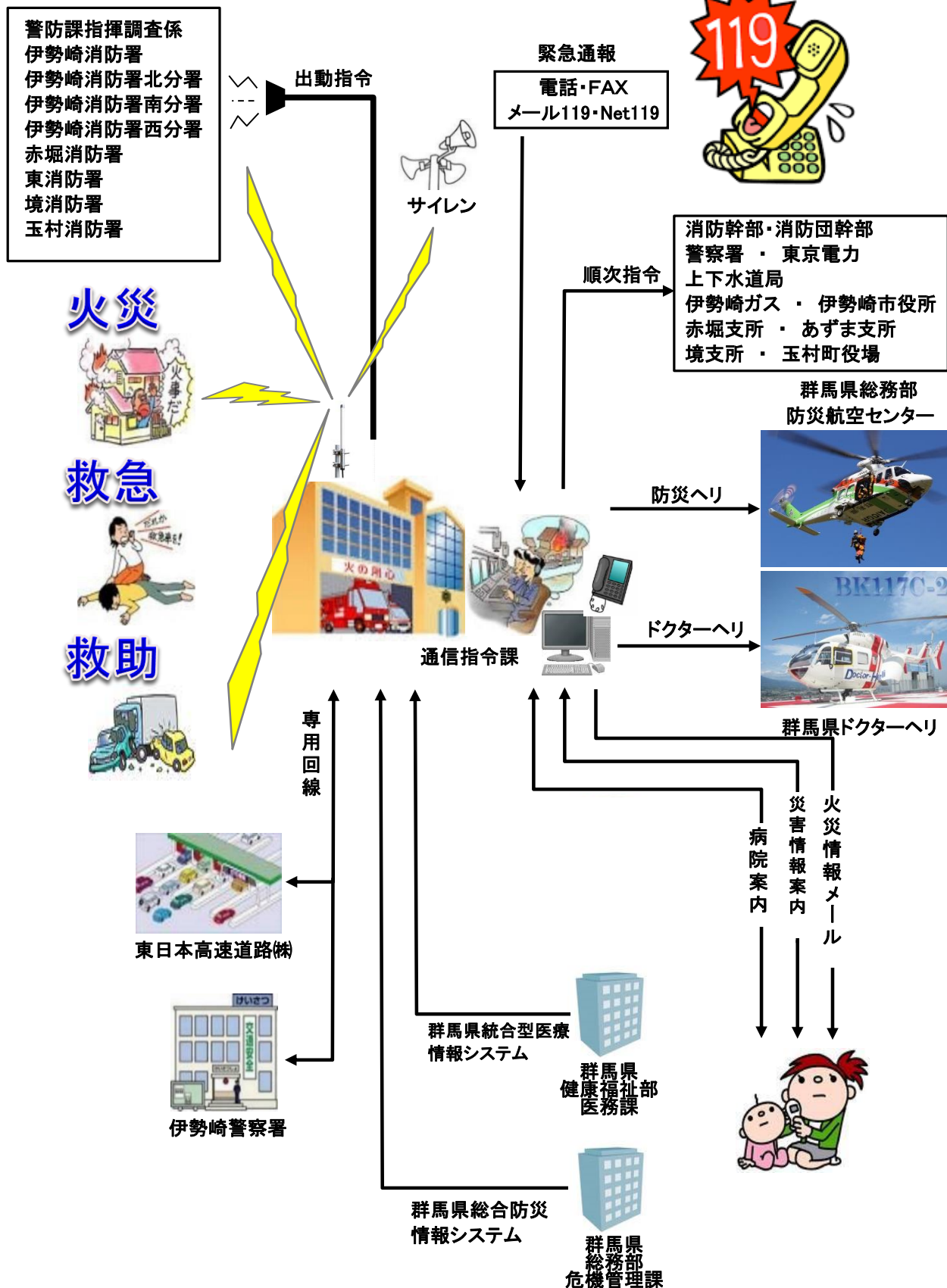
区 分 年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
実施回数	151	141	144	125	110	16	21	74	112	101
受講者数	2,582	2,661	2,519	2,362	1,916	333	220	651	1,559	1,541

通 信 指 令

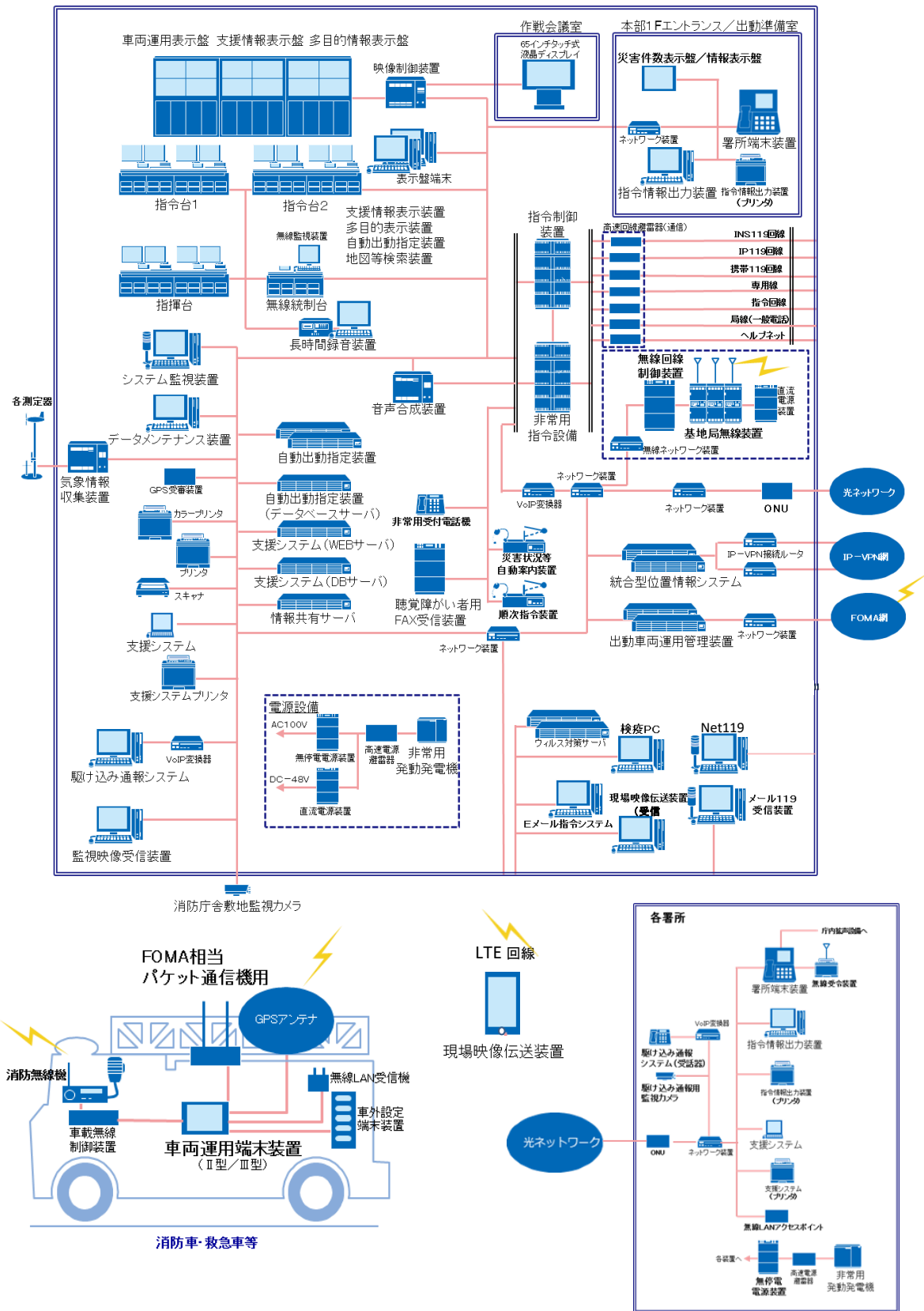


高機能消防指令センター

通信指令系統



高機能消防指令センター システム系統図



無線通信設備一覽

デジタル波:活動波1～3／主運用波7／統制波1～3

所属	車両名等	AVM	装置
消防本部	指令センター	-	基地
	伊勢崎本部1	Ⅲ型	車載
	伊勢崎本部2		車載
	伊勢崎本部3	Ⅱ型	車載
	伊勢崎本部4	Ⅲ型	車載
	伊勢崎本部5	Ⅱ型	車載
	伊勢崎本部6	Ⅱ型	車載
	本部支援1	Ⅲ型	車載
	本部機材1	Ⅲ型	車載
	救急伊勢崎3	Ⅲ型	車載
	救急伊勢崎4	Ⅲ型	車載
	本部調査1	Ⅲ型	車載
	本部指揮1(2台)	Ⅲ型	車載
	警防課(1台)		可搬
	通信指令課(2台)		可搬
	警防課(5台)		携帯
	通信指令課(2台)		携帯
伊勢崎消防署	伊勢崎指令1	Ⅱ型	車載
	伊勢崎1	Ⅲ型	車載
	伊勢崎水槽1	Ⅲ型	車載
	伊勢崎化学1	Ⅲ型	車載
	伊勢崎救助1	Ⅲ型	車載
	伊勢崎救助2	Ⅲ型	車載
	伊勢崎梯子1	Ⅲ型	車載
	伊勢崎機材1	Ⅱ型	車載
	救急伊勢崎1	Ⅲ型	車載
	救急伊勢崎2	Ⅲ型	車載
	伊勢崎消防署(9台)		携帯

所属	車両名等	AVM	装置
北分署	伊勢崎北指令1	Ⅱ型	車載
	伊勢崎北1	Ⅲ型	車載
	救急伊勢崎北1	Ⅲ型	車載
	北分署(4台)		携帯
南分署	伊勢崎南指令1	Ⅱ型	車載
	伊勢崎南1	Ⅲ型	車載
	伊勢崎南機材1	Ⅱ型	車載
	救急伊勢崎南1	Ⅲ型	車載
	南分署(4台)		携帯
西分署	伊勢崎西指令1	Ⅱ型	車載
	伊勢崎西1	Ⅲ型	車載
	救急伊勢崎西1	Ⅲ型	車載
	西分署(4台)		携帯
赤堀消防署	赤堀指令1	Ⅱ型	車載
	赤堀1	Ⅲ型	車載
	赤堀2	Ⅱ型	車載
	救急赤堀1	Ⅲ型	車載
東消防署	赤堀消防署(5台)		携帯
	東指令1	Ⅱ型	車載
	東1	Ⅲ型	車載
	東2	Ⅱ型	車載
	救急東1	Ⅲ型	車載
	東消防署(5台)		携帯

所属	車両名等	AVM	装置
境消防署	境消防署		卓上
	境指令1	Ⅱ型	車載
	境1	Ⅲ型	車載
	境2	Ⅲ型	車載
	境梯子1	Ⅲ型	車載
	境機材1	Ⅱ型	車載
	救急境1	Ⅲ型	車載
	境消防署(6台)		携帯
玉村消防署	玉村消防署		卓上
	玉村指令1	Ⅱ型	車載
	玉村1	Ⅲ型	車載
	玉村2	Ⅲ型	車載
	救急玉村1	Ⅲ型	車載
	玉村消防署(6台)		携帯

無線等設備数		
基地局		1局
移動局		106局
内訳	卓上型固定移動局	2局
	可搬型移動局	3局
	車載型移動局	51局
	携帯型移動局	50局
卓上受令機		16台
指令端末受令機		7台
携帯型受令機		22台

車両運用端末装置 (AVM)	
Ⅱ型	16台
Ⅲ型	33台

119番通報受信状況

(令和6年中)

種別 回線種別	火災	救急	救助	その他の災害	災害等問合せ	病院等問合せ	いたずら	間違い無言等	通報訓練	試験	携帯転送	その他	合計
119 加 入	29	2,333	6	18	12	12	0	192	400	685	1	166	3,854
119 携 帯	141	7,380	34	104	45	224	2	932	176	47	331	565	9,981
119 I P	19	3,785	3	6	5	27	0	99	540	16	10	86	4,596
合 計	189	13,498	43	128	62	263	2	1,223	1,116	748	342	817	18,431

災害情報案内テレホンサービス利用状況 (050-5536-6965)

(令和4年～令和6年)

月別 年別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
令 和 4 年	163	229	171	173	189	105	204	77	139	102	79	139	1,770
令 和 5 年	201	131	173	163	113	123	2,304	2,054	1,677	3,247	3,642	4,447	18,275
令 和 6 年	3,210	5,610	5,276	4,109	7,067	4,134	3,421	2,412	3,436	3,002	5,165	4,983	51,825

火災情報メール配信サービス利用状況

(令和4年～令和6年)

月別 年別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和4年	登録件数	8,218	8,250	8,263	8,278	8,309	8,327	8,346	8,349	8,354	8,353	8,370	8,362
	配信回数	10	10	6	8	6	0	13	2	4	6	1	10
令和5年	登録件数	8,371	8,390	8,405	8,412	8,442	8,460	8,498	8,534	8,547	8,570	8,617	8,656
	配信回数	10	6	8	10	8	7	12	6	4	10	8	17
令和6年	登録件数	8,680	8,743	8,785	8,812	8,859	8,873	8,882	8,872	8,882	8,881	8,886	8,898
	配信回数	2	17	16	8	18	9	9	4	6	4	9	12

※配信回数については建物火災の情報を配信したものです。

救急病院等案内テレホンサービス利用状況 (0270-23-1299)

(令和4年～令和6年)

年別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
令和4年	531	432	470	528	590	491	834	875	658	610	653	815	7,487
令和5年	883	611	580	649	817	714	860	959	814	727	824	928	9,366
令和6年	798	709	630	541	727	621	622	793	618	597	544	1,098	8,298

救急病院等案内テレホンサービス科目別案内状況

(令和6年中)

科目 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
内科	274	161	123	101	129	135	134	232	125	118	97	439	2,068
小児科	162	242	207	130	170	118	118	137	109	142	118	262	1,915
外科	57	41	46	42	48	49	64	55	47	53	48	52	602
脳神経外科	48	49	51	42	57	49	49	32	48	40	50	54	569
産婦人科	4	5	3	2	5	5	1	6	11	2	2	2	48
整形外科	151	135	134	144	165	149	137	168	167	145	153	150	1,798
泌尿器科	13	14	7	13	18	6	15	12	11	12	7	15	143
耳鼻咽喉科	18	14	25	18	37	25	18	27	17	11	20	35	265
眼科	28	11	14	18	28	21	19	22	17	25	15	25	243
精神科	2	0	0	0	1	4	2	2	1	0	1	5	18
皮膚科	16	14	10	16	37	33	41	57	45	34	15	32	350
歯科	8	7	3	3	8	13	7	17	7	4	8	13	98
その他	17	16	7	12	24	14	17	26	13	11	10	14	181
合計	798	709	630	541	727	621	622	793	618	597	544	1,098	8,298

気象情報発表状況

(令和6年中)

項目 \ 月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
特別警報	暴風													
	暴風雪													
	大雨													
	大雪													
	合計													

項目 \ 月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
警報	暴風													
	暴風雪													
	大雨								2	1				3
	大雪		1											1
	洪水								1	1				2
	合計		1						3	2				6

項目 \ 月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
注意報	風雪													
	強風	5	3	3	1				1					13
	大雨						3	2	11	7	1			24
	大雪		2											2
	洪水							1	5	6				12
	着雪		2											2
	乾燥	4	2	2	2	3							1	14
	濃霧	5	3	4	3	3	3				2	3		26
	霜	2			1									3
	なだれ													
	融雪													
	低温													
	着氷													
	雷	3		1	2	4	16	23	7	12	4		1	73
	合計	19	12	10	9	10	22	26	24	25	7	3	2	169

消防音楽隊

消防音楽隊は音楽を通じて「火災予防の普及」及び「消防士気の高揚」、「住民との融合」などを目的として昭和39年に設立されたものである。

全国的にもその歴史は古く、隊発足時には15名の隊員構成であったが、新旧交代を幾度か繰り返し、現在は47名で活動している。

若い隊員が多く消防職員としての仕事の傍ら、消防行事から各種公式行事、市民行事まで幅広く参加し、消防広報の一翼を担っている。

(名称の変遷)

伊勢崎市消防音楽隊

昭和39年 2月 7日発足

伊勢崎佐波消防組合消防音楽隊

昭和46年 4月 1日

伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合
消防音楽隊

昭和47年10月 1日

伊勢崎市消防音楽隊

平成17年 1月 1日



令和6年度消防音楽隊第1回広報活動
(第43回さかい産業祭会場内)



令和6年度消防音楽隊第2回広報活動
(WORKWORK☆フェス2024会場内)

消 防 音 楽 隊 編 成 表

(令和7年4月1日現在)

パート \ 階級	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
指 揮 者	1				1
フルート・ピッコロ	1	2		1	4
オ ー ボ エ	1				1
ク ラ リ ネ ッ ト	1	3	2		6
ソプラノサクソ					0
アルトサクソ	1	2			3
テナーサクソ	1	1			2
バリトンサクソ		2			2
ト ラ ン ペ ッ ト	3	1	1	1	6
フレンチホルン	1	2	2		5
ト ロ ン ボ ー ン		2	2		4
ユーフォニウム			3		3
テ ュ ー バ	2	1			3
パーカッション	1	4	2		7
合 計	13	20	12	2	47

歴 代 の 音 楽 隊 長

代	氏 名	期 間
初代	栗原 秀夫 氏	昭和39年 2月 7日～昭和44年 3月31日
2代	木口 実 氏	昭和44年 4月 1日～昭和49年 3月31日
3代	新井 周雄 氏	昭和49年 4月 1日～昭和51年 3月31日
4代	井埜 宗市 氏	昭和52年 4月 1日～昭和53年 3月31日
5代	多田 紀一 氏	昭和53年 4月 1日～昭和54年 3月31日
6代	栗原 秀夫 氏	昭和54年 4月 1日～昭和56年 3月31日
7代	栗原 康二 氏	昭和56年 4月 1日～昭和57年 3月31日
8代	新井 周雄 氏	昭和57年 4月 1日～平成 3年 3月31日
9代	栗原 清二 氏	平成 3年 4月 1日～平成 8年 5月31日
10代	竹澤 茂 氏	平成 8年 6月 1日～平成11年 3月31日
11代	細井 喜也 氏	平成11年 4月 1日～平成21年 3月31日
12代	西野目心吾	平成21年 4月 1日～平成28年 9月30日
13代	倉金 寛政	平成28年10月 1日～令和 3年 3月31日
14代	阿久津友寛	令和 3年 4月 1日～

派遣状況の推移

年 度	派遣回数	年 度	派遣回数
平成27年度	11	令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
平成28年度	14	令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
平成29年度	14	令和4年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
平成30年度	11	令和5年度	2
令和元年度	8	令和6年度	4

令和6年度派遣状況

日 時	行 事 名	派遣 隊員数	場 所
9月14日(土) 8時15分～	第20回関東選抜還暦古希軟式野球大会開会式	28	セブennaッツスタジアム (伊勢崎市野球場)
11月10日(日)12時30分～	令和6年度消防音楽隊第1回広報活動	38	境ふれあいパーク (第43回さかい産業祭内)
11月23日(土)10時00分～	令和6年度消防音楽隊第2回広報活動	35	アイオーしんきん伊勢崎アリーナ前エントランス (WORKWORK☆フェス2024会場内)
1月13日(月) 9時30分～	令和7年伊勢崎市消防出初式	24	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎 (伊勢崎市文化会館)

消 防 団



伊勢崎市秋季消防点検
(令和6年10月20日 八斗島ちびっこ広場)

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団

伊勢崎市消防団・玉村町消防団

伊勢崎市消防本部管轄区域の消防団現況配置図

(令和7年4月1日現在)

所在地〔事務局〕

伊勢崎市消防団	群馬県伊勢崎市今泉町二丁目895	[消防本部総務課消防団係]	TEL. 0270-25-3511
第1・第2方面隊	〃伊勢崎市今泉町二丁目895	[伊勢崎消防署総務係]	TEL. 0270-25-3918
赤堀方面隊	〃伊勢崎市西久保町二丁目341-3	[赤堀消防署総務係]	TEL. 0270-62-0230
東方面隊	〃伊勢崎市東小保方町3238	[東消防署総務係]	TEL. 0270-62-8980
境方面隊	〃伊勢崎市境木島907	[境消防署総務係]	TEL. 0270-27-9119
玉村町消防団	〃佐波郡玉村町大字下新田201	[玉村町環境安全課]	TEL. 0270-65-2511



伊勢崎市消防団の沿革

１．市町村合併以前

○伊勢崎市消防団

明治２７年 ８月 従来の伊勢崎火防組を、伊勢崎消防組と改編し、３部制、定数１８３人、腕用ポンプ３台となる。
大正１５年１２月 ３部制を６部制に改組し、定数７７人に減員する。
昭和 ３年１１月 ６部制を５部制に改組し、定数７３人に減員する。
昭和１５年 ９月 殖蓮村及び茂呂村合併により、伊勢崎市警防団に改組し、８個分団、定数８４６人となる。
昭和２１年 ７月 伊勢崎市警防団改編により、定数４３２人に減員する。
昭和２２年１２月 伊勢崎市警防団を、伊勢崎市消防団に改称する。
昭和２６年１０月 全分団に自動車ポンプを配置し、１個分団定員１５人、自動車ポンプ１３台、定数１８５人となる。
１２月 伊勢崎市消防団常備消防部を１０人増員し、計２６人となる。
昭和３０年 １月 三郷村合併により、手引きガソリンポンプ３台となり、団員５０人を増員する。
３月 宮郷村、名和村及び豊受村合併により、伊勢崎市消防団は、１８個分団３４１人、自動車ポンプ１６台、手引きガソリンポンプ５台となる。
昭和４６年 ４月 組織再編により、伊勢崎市消防本部伊勢崎消防団から、伊勢崎佐波消防組合伊勢崎消防団となる。
（１８個分団（うち２部制３個分団）３１９人）
昭和４７年１０月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合伊勢崎消防団となる。
昭和５３年 ７月 第２分団１部を第２の１分団に、第２分団２部を第２の２分団に、第９分団１部を第９の１分団に、第９分団２部を第９の２分団に組織改編し、分団数が１８個分団から２０個分団（１個分団のみ２部制）となる。
昭和５４年 ４月 団本部に分団長級を３人増員し、定数３２０人となる。
昭和６０年 ４月 消防団が市に帰属し、伊勢崎市消防団となる。
平成 ８年 ４月 第１分団１部を第１の１分団に、第１分団２部を第１の２分団に組織改編し、分団数が２０個から２１個分団となる。

○赤堀町消防団

明治２７年１１月 赤堀消防組を設置する。
昭和１４年 ４月 赤堀警防団に改称し、定数４３４人となる。
昭和２２年 ４月 赤堀消防団に改称する。
昭和３９年 １月 赤堀消防団の編成が、６個分団、定数１０４人となる。
昭和４６年 ４月 組織再編により、伊勢崎佐波消防組合赤堀消防団となる。（６個分団、１０４人）
昭和４７年 ９月 群馬県消防ポンプ操法大会において、赤堀消防団第２分団が優勝する。
１０月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合赤堀消防団となる。
昭和４８年 ４月 赤堀消防団が優秀消防機関として、県知事から表彰状及び表彰旗を授与される。
昭和６０年 ４月 消防団が町に帰属し、赤堀町消防団となる。

○東村消防団

明治２８年 消防組６部を設置する。（警察の管理下）
昭和１４年 １月 警防団令が公布され、警防団となる。
昭和２３年 ３月 消防組織法が施行され、消防団となる。（４個分団８９人）
昭和４５年 ４月 東村消防団の編成が、４個分団、定数８８人となる。
昭和４６年 ４月 組織再編により、伊勢崎佐波消防組合東消防団となる。
昭和４７年１０月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合東消防団となる。
昭和６０年 ４月 消防団が村に帰属し、東村消防団となる。

○境町消防団

明治２７年１１月 公設消防組を５組（境、采女、剛志、島及び世良田）設置する。
昭和１４年 ４月 公設消防組合を廃止、公設警防団となる。
昭和２２年 ４月 公設警防団を廃止、消防団となる。
昭和３０年 ３月 町村合併により、境町、采女村、剛志村及び島村が廃止され境町になり、境消防団を設置する。
昭和３２年１１月 新田郡世良田村の一部が合併し、７個分団を増設して２３個分団となる。
昭和３６年 ４月 消防団改編（分団統合）により、２３個分団から１８個分団となる。
昭和３７年 ４月 消防団改編（分団統合）により、１８個分団から１４個分団、定数２６５人となる。
昭和４２年 ４月 消防団改編により、９分団９部制、定数２３４人となる。
昭和４６年 ４月 組織再編により、伊勢崎佐波消防組合境消防団となる。（９個分団（うち３部制１個分団、２部制３分団）２３４人）
昭和４７年１０月 組織再編により、伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合境消防団となる。
昭和５５年 ４月 消防団組織改編により、部制を廃止、９分団９部制から１４分団、定数２３４人となる。
昭和６０年 ４月 消防団が町に帰属し、境町消防団となる。
平成 ２年 ４月 消防団条例の改正により、副団長３人、定数２１９人となる。

２．市町村合併後

平成１７年	１月	市町村合併に伴い、伊勢崎市消防団（定数３２０人）が伊勢崎市伊勢崎消防団に、赤堀町消防団（定数１０４人）が伊勢崎市赤堀消防団に、東村消防団（定数９１人）が伊勢崎市東消防団に、境町消防団（定数２１９人）が伊勢崎市境消防団に改称する。
	１月	玉村町と消防団相互応援協定を締結する。
	３月	太田市と消防相互応援協定を締結する。
平成１８年	２月	前橋市及び桐生市と、消防団相互応援協定を締結する。
	３月	みどり市と消防団相互応援協定を締結する。
	１２月	伊勢崎市伊勢崎消防団第１の２分団及び第１７分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成１９年	４月	消防団の一元化と組織の改編に伴い、４消防団を統合し、伊勢崎市消防団（１本部５方面隊、定数７３４人）を配置する。
	４月	初代消防団長に、吉岡伸也氏が就任する。
	１２月	伊勢崎第１方面隊第４分団及び伊勢崎第２方面隊第１６分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成２０年	２月	赤石地区整備事業に伴い、伊勢崎第１方面隊第１の１分団詰所を、曲輪町２８番２３号から曲輪町２７番７号に、新築移転する。
	４月	第２代消防団長に、小堀和行氏が就任する。
	４月	深谷市及び本庄市と、消防団相互応援協定を締結する。
	１２月	北関東自動車道波志江スマートＩＣ設置に伴い、伊勢崎第１方面隊第９の１分団詰所を、波志江町２５７４番地から波志江町２６３８番地２に、新築移転する。
平成２１年	１月	伊勢崎第１方面隊第１１分団及び伊勢崎第２方面隊第２の１分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
	４月	組織の改編により、団本部員の副方面隊長の階級を、副団長から分団長に改め、副団長階級を１６人から５人、分団長階級を４５人から５６人とする。併せて、伊勢崎第１方面隊及び伊勢崎第２方面隊から伊勢崎を削除し、第１方面隊及び第２方面隊に改称する。
	４月	第３代消防団長に、矢内昌春氏が就任する。
	５月	消防庁長官表彰を受章する。
	７月	組織の改編により、部長階級を廃止し、定数７３５人となる。
	１２月	第２方面隊第２の２分団及び第１８分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成２２年	３月	境方面隊第１分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（９００リットル水槽付）を更新し、配備する。（経済危機対策臨時交付金事業）
	４月	第４代消防団長に、齋藤本日氏が就任する。
	４月	境消防署配備の消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（９００リットル水槽付）を、伊勢崎市消防団の災害対応車として配置換えし、車両運用の効率化を図るため、東方面隊本部配備の水防車を東消防署に、境方面隊本部配備の水防車を境消防署に配置換える。
平成２３年	１月	境方面隊第２分団及び第８分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
	４月	第５代消防団長に、矢内豊氏が就任する。
	５月	群馬県知事総合表彰を受章する。
平成２４年	１月	東方面隊第３分団及び境方面隊第１４分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成２５年	２月	第２方面隊第８分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を、赤堀方面隊第１分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（９００リットル水槽付）を更新し、配備する。
	４月	伊勢崎市消防団の組織等に関する規則を、一部改正し、副団長及び方面隊長の兼務を解き、それぞれ専任とする。また、団本部を１７人から１８人に増員する。
平成２６年	２月	第１方面隊第１２分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を、境方面隊第１１分団に消防ポンプ自動車水Ｉ－Ａ型（１，５００リットル水槽付）を更新し、配備する。
	１１月	総務省消防庁から借受した、救助資機材搭載型消防ポンプ自動車を、伊勢崎市消防団の災害対応車として境消防署に配備する。
平成２７年	２月	第１方面隊第１の１分団及び第１０分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成２８年	２月	東方面隊第４分団及び境方面隊第１３分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
平成２９年	２月	第２方面隊第１３分団及び境方面隊第５分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
	３月	日本消防協会定例表彰を受章する。
	４月	伊勢崎市消防団の組織等に関する規則を、一部改正し、赤堀方面隊本部の副方面隊長を２人から１人とし、団本部を１８人から１７人に減員する。
平成３０年	２月	第１方面隊第５分団及び赤堀方面隊第６分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
	４月	第６代消防団長に、諏訪耕平氏が就任する。
平成３１年	２月	第２方面隊第６分団及び第１４分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型を更新し、配備する。
令和　　年	２月	第１方面隊第３分団及び境方面隊第１０分団に、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（普通免許対応）を更新し、配備する。
	４月	伊勢崎市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を、一部改正し、機能別消防団員制度を導入する。

- 10月 救助活動用資機材（エンジンカッター、チェーンソー及び油圧切断機）を、第1方面隊、赤堀方面隊及び東方面隊に配備する。
- 12月 第1方面隊第9の1分団及び東方面隊第2分団に、消防ポンプ自動車CD-I型（普通免許対応）を更新し、配備する。
- 12月 第1方面隊第11分団詰所の老朽化に伴い、東上之宮町327から東上之宮町439-2に、新築移転する。
- 令和 3年 2月 水災活動用資機材として、ボートを2艇（第1及び第2方面隊に1艇、境方面隊に1艇）配備する。また、排水ポンプを2台（第1及び第2方面隊に1台、境方面隊に1台）配備する。
- 3月 総務大臣から感謝状を授与される。
- 令和 4年 1月 第1方面隊、赤堀方面隊、東方面隊及び境方面隊に、方面隊本部車を更新し、配備する。
- 1月 赤堀方面隊第4分団詰所の老朽化に伴い、西野町495に新築する。
- 4月 第7代消防団長に、金井健一氏が就任する。
- 12月 赤堀方面隊第3分団詰所の老朽化に伴い、香林町二丁目1295-8から香林町二丁目1291-53に、新築移転する。
- 令和 5年 3月 赤堀方面隊第4分団に、消防ポンプ自動車CD-I型（普通免許対応）を更新し、配備する。
- 令和 6年 1月 境方面隊第7分団に、消防ポンプ自動車CD-I型（普通免許対応）を更新し、配備する。
- 11月 赤堀方面隊第5分団に、消防ポンプ自動車CD-I型（普通免許対応）を更新し、配備する。
- 令和 7年 1月 第1方面隊第10分団詰所の老朽化に伴い、宮子町1170-6から宮子町1211-15に、新築移転する。

伊勢崎市消防団組織表

(令和7年4月1日現在)

		所 在 地	区 域	団 員 配 置						
				団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計
	団本部	今泉町二丁目895 (消防本部総務課内)	伊勢崎市管内一円	1	8	8				17
第1方面隊	方面隊本部	今泉町二丁目895 (伊勢崎消防署内)	第1方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)
	1の1分団	曲輪町27-7	曲輪町一区・二区・三区 大手町一区・二区・三区・四区 平和町一区・二区・三区・若葉町一区			1	1	2	11	15
	1の2分団	柳原町70-1	喜多町区・宗高町区・柳原町区 寿町区・華蔵寺町区・末広町区			1	1	2	11	15
	3分団	宮前町161	昭和町区・宮前町区 東本町区・下植木町区			1	1	2	11	15
	4分団	上植木本町2309-11	三和町曙区・三和町堤区・三和町書上区 本間町区・鹿島町植木区・鹿島町中下区 上植木本町区			1	1	2	11	15
	5分団	上諏訪町1588	豊城町区・上諏訪町区 日乃出町下諏訪区・日乃出町神谷区			1	1	2	11	15
	9の1分団	波志江町2638-2	波志江町一丁目区・波志江町二丁目区 波志江町三丁目区			1	1	2	11	15
	9の2分団	安堀町264	安堀町区・太田町区			1	1	2	11	15
	10分団	宮子町1211-15	稲荷町区・宮子町区			1	1	2	11	15
	11分団	東上之宮町439-2	田中町区・上之宮町区・宮古町区			1	1	2	11	15
	12分団	連取町3331-1	連取本町区・連取元町区 連取町区・田中島町区			1	1	2	11	15
第2方面隊	方面隊本部	今泉町二丁目895 (伊勢崎消防署内)	第2方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)
	2の1分団	三光町7-50	本町一区・三光町区・若葉町二区			1	1	2	11	15
	2の2分団	中央町24-10	本町二区・中央町一区・二区・三区 緑町区			1	1	2	11	15
	6分団	今泉町一丁目1233-1	上泉町区・八坂町区 今泉町一丁目区・今泉町二丁目区			1	1	2	11	15
	7分団	茂呂町二丁目3318-5	北千木町区・南千木町区 茂呂町一丁目区・茂呂町二丁目区			1	1	2	11	15
	8分団	茂呂南町4479	美茂呂町区・ひろせ町区 茂呂南町区・新栄町区			1	1	2	11	15
	13分団	山王町393-6	今井町区・山王町区			1	1	2	11	15
	14分団	柴町629-3	菰塚町区・阿弥大寺町区・柴町区			1	1	2	11	15
	15分団	福島町29-1	堀口町区・中町区・戸谷塚町区 福島町区・八斗島町区			1	1	2	11	15
	16分団	富塚町2419-5	除ヶ町区・大正寺町区・富塚町区 下道寺町区			1	1	2	11	15
	17分団	馬見塚町1046	馬見塚天神町区・馬見塚三ツ橋町区 馬見塚中町区・馬見塚本町区 馬見塚淵町区・馬見塚清水町区 リバータウン広瀬区・羽黒町区			1	1	2	11	15
	18分団	下蓮町18-6	長沼本郷町区・長沼町区・上蓮町区 下蓮町区・国領町区・飯島町区			1	1	2	11	15

名 称		所 在 地	区 域	団 員 配 置						
				団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	計
赤堀方面隊	方面隊本部	西久保町二丁目341-3 (赤堀消防署内)	赤堀方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (1)				(2)
	1 分団	西久保町一丁目55-1	西久保町一丁目区・西久保町二丁目区 曲沢町区・赤堀今井町一丁目区 赤堀今井町二丁目区			1	1	3	15	20
	2 分団	赤堀鹿島町523-2	赤堀鹿島町区・間野谷町区			1	1	2	11	15
	3 分団	香林町二丁目1291-53	香林町一丁目区・香林町二丁目区			1	1	2	11	15
	4 分団	西野町495	野町区・磯町区・西野町区			1	1	2	11	15
	5 分団	下触町999-1	下触町区・五日牛町区			1	1	2	11	15
	6 分団	市場町二丁目360	西久保町三丁目区・堀下町区 市場町一丁目区・市場町二丁目区			1	1	3	15	20
東方面隊	方面隊本部	東小保方町3238 (東消防署内)	東方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (1)				(2)
	1 分団	東町2597-2	小泉町区・東町区 八寸町区・西小保方町区			1	1	3	17	22
	2 分団	東小保方町3339-1	下代区・平井町区・下谷区 下区・新町区・三室町区			1	1	3	17	22
	3 分団	田部井町一丁目1433-1	田部井上区・田部井下区・向原区 上田町区			1	1	3	17	22
	4 分団	国定町一丁目1250-32	東国定上区・東国定下区 西国定上区・西国定下区			1	1	3	17	22
境方面隊	方面隊本部	境木島907 (境消防署内)	境方面隊管内一円		隊長 (1)	副隊長 (2)				(3)
	1 分団	境東279	境東町区・諏訪町区・元町区 南町区・境仲町区・上町区 萩原町区・清水町区・美原区			1	1	3	15	20
	2 分団	境伊与久2537-1	伊与久一区・二区・三区			1	1	2	11	15
	3 分団	境木島424-6	百々東区・百々区・木島区			1	1	2	11	15
	4 分団	境上刈名1143-1	上刈名区			1	1	2	11	15
	5 分団	境下刈名1857-8	下刈名六区・下刈名七区			1	1	2	11	15
	6 分団	境東新井452-1	東新井区			1	1	2	11	15
	7 分団	境下武士460-1	上武士区・下武士西区・下武士東区			1	1	2	11	15
	8 分団	境保泉880-2	保泉区・保泉一丁目区			1	1	2	11	15
	9 分団	境小此木463-4	小此木区			1	1	2	11	15
	1 0 分団	境島村43-1	中島区・北向区・西島前河原区			1	1	2	11	15
	1 1 分団	境島村2594-1	新地区・新野新田区・立作区			1	1	2	11	15
	1 2 分団	境平塚1221-5	平塚区・南米岡区・北米岡区			1	1	2	11	15
	1 3 分団	境三ツ木239-9	境新栄区・栄町区・女塚区・三ツ木区			1	1	2	11	15
	1 4 分団	境上矢島905-1	西今井区・上矢島区			1	1	2	11	15
合 計				1	8	53	45	97	531	735

※ 表中の（ ）は兼務者を指す。

※ 表中の隊長は方面隊長、副隊長は副方面隊長を指す。

※ 機能別消防団員は、本部又は方面隊本部、若しくは分団に所属し、条例定数735人の範囲内とする。

伊勢崎市消防団車両一覧表

(令和7年4月1日現在)

	車 両 名	メーカー	登録番号	登録年月日	ポ ン プ			原動機		備 考
					製作所	型式	級別	燃 料	排気量	
団本部	団本部車	ニッサン	800あ2378	R3.12.9				ガソリン	650	第1・第2方面隊と兼用
	団本部2号車	トヨタ	800せ8886	H31.1.25				ガソリン	2,690	第1・第2方面隊と兼用
	災害対応車	いすゞ	800せ6001	H26.11.27	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	2,990	CD-I型 (救助資機材搭載)
第1方面隊	1の1分団	トヨタ	800せ6119	H27.2.5	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型 (可搬C-1積載)
	1の2分団	日野	830た1102	H18.12.7	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	3分団	トヨタ	800せ9551	R2.1.21	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (可搬C-1積載) (普通免許対応)
	4分団	日野	800す9801	H19.12.18	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型
	5分団	トヨタ	800せ8190	H30.1.19	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	9の1分団	トヨタ	800そ187	R2.11.19	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (普通免許対応)
	9の2分団	ニッサン	800さ1696	H11.11.24	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型 (可搬C-1積載)
	10分団	トヨタ	800せ6120	H27.2.5	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	11分団	トヨタ	800せ768	H20.11.19	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	12分団	トヨタ	800せ5322	H26.2.4	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
第2方面隊	2の1分団	トヨタ	800せ767	H20.11.19	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	2の2分団	トヨタ	800せ1723	H21.11.16	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	6分団	トヨタ	800せ8916	H31.2.13	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	7分団	いすゞ	88ね143	H10.11.30	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	8分団	トヨタ	800せ4490	H25.2.6	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	13分団	トヨタ	800せ7510	H29.1.12	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	14分団	トヨタ	800せ8915	H31.2.13	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型 (可搬C-1積載)
	15分団	いすゞ	88ね144	H10.11.30	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	16分団	日野	800す9802	H19.12.18	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	17分団	日野	830そ1017	H18.12.7	〃	〃	〃	〃	〃	〃
赤堀方面隊	方面隊本部車	ニッサン	880あ2377	R3.12.9				ガソリン	650	
	1分団	トヨタ	800せ4491	H25.2.6	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	4,000	CD-I型 (900L水槽付)
	2分団	いすゞ	88ね897	H11.3.8	〃	〃	〃	〃	4,570	CD-I型
	3分団	いすゞ	800さ2207	H12.1.31	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	4分団	トヨタ	800そ1779	R5.2.16	〃	〃	〃	ガソリン	1,990	CD-I型 (普通免許対応)
	5分団	トヨタ	800そ2951	R6.10.10	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	6分団	トヨタ	800せ8191	H30.1.19	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型

	車 両 名	メーカー	登録番号	登録年月日	ポ ン プ			原動機		備 考
					製作所	型式	級別	燃 料	排気量	
東 方 面 隊	方面隊本部車	ニッサン	880あ2380	R3.12.9				ガソリン	650	
	1分団	ミツビシ	800す2923	H15.12.5	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	8,200	水Ⅱ型 (2,000L水槽付)
	2分団	トヨタ	800そ188	R2.11.19	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (普通免許対応)
	3分団	トヨタ	800せ3619	H24.1.25	〃	〃	〃	〃	4,400	CD-I型
	4分団	トヨタ	800せ6841	H28.1.26	〃	〃	〃	〃	4,000	〃
境 方 面 隊	方面隊本部車	ニッサン	880あ2379	R3.12.9				ガソリン	650	
	1分団	トヨタ	800せ2081	H22.3.16	モリタ	二段バランスタービン	A-2	軽油	4,000	CD-I型 (900L水槽付)
	2分団	トヨタ	800せ2762	H23.1.11	〃	〃	〃	〃	〃	CD-I型
	3分団	いすゞ	800さ1271	H11.10.4	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	4分団	いすゞ	800さ7620	H13.9.28	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	5分団	トヨタ	800せ7511	H29.1.12	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	6分団	いすゞ	88ぬ6816	H9.9.29	〃	〃	〃	〃	4,570	〃
	7分団	トヨタ	800そ2288	R5.10.11	〃	〃	〃	ガソリン	1,990	CD-I型 (普通免許対応)
	8分団	トヨタ	800せ2763	H23.1.11	〃	〃	〃	軽油	4,000	CD-I型
	9分団	いすゞ	800さ1272	H11.10.4	〃	〃	〃	〃	4,570	〃
	10分団	トヨタ	800せ9552	R2.1.21	〃	〃	〃	〃	2,980	CD-I型 (普通免許対応)
	11分団	日野	800せ5327	H26.2.5	〃	〃	〃	〃	6,400	水Ⅰ-A型(1,500L水槽付) (可搬C-1積載)
	12分団	いすゞ	800さ7621	H13.9.28	〃	〃	〃	〃	4,570	CD-I型
	13分団	トヨタ	800せ6843	H28.1.26	〃	〃	〃	〃	4,000	CD-I型 (可搬C-1積載)
	14分団	トヨタ	800せ3622	H24.1.25	〃	〃	〃	〃	4,400	CD-I型

伊勢崎市消防団ポンプ車等の配備状況及び現有台数

(令和7年4月1日現在)

水槽付ポンプ車			普通ポンプ車	方面隊本部車	合 計	小型動力ポンプ C-1級
水Ⅱ型	水Ⅰ型	CD-I型	CD-I型			
A-2級			A-2級			
1	1	2	42 (7)	5	51	10

※ 表中の () は、42のうち車両総重量3.5t未満の普通免許で運転可能なポンプ車の台数。

伊勢崎市消防団無線配備一覧表

(令和7年4月1日現在)

	消防救急デジタル携帯無線機	デジタル簡易無線機	消防救急デジタル携帯受令機
正副団長		4	4
第1方面隊	2	23 (本部3、各分団2)	63 (本部3、各分団6)
第2方面隊	2	25 (本部3、各分団2)	69 (本部3、各分団6)
赤堀方面隊	2	15 (本部3、各分団2)	39 (本部3、各分団6)
東方面隊	2	11 (本部3、各分団2)	27 (本部3、各分団6)
境方面隊	2	31 (本部3、各分団2)	87 (本部3、各分団6)
合 計	10	109	289

伊勢崎市消防団資機材配備一覧表

(令和7年4月1日現在)

	エンジンカッター	チェーンソー	油圧救助資機材	排水ポンプ	救助用ボート
第1方面隊	1	1	1	1	1
第2方面隊	1	1	1		
赤堀方面隊	1	1	1		
東方面隊	1	1	1	1	
境方面隊	1	1	1	1	2
合 計	5	5	5	3	3

1. 伊勢崎市消防団員年齢別状況

(令和7年4月1日現在)

18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳
1	4	7	5	2	5	9	6	12	8
28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳
15	8	14	16	11	15	18	24	25	16
38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳	47歳
30	19	32	31	25	30	39	18	26	26
48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳
26	14	24	13	21	14	12	11	6	6
58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳以上
6	3	2	3	2	2	3	1	0	3
							平均年齢	うち女性	合 計
							41.2歳	39.7歳	669人

2. 伊勢崎市消防団員階級別在団年数状況

(令和7年4月1日現在)

階級	年数	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
団 長								1		1
副 団 長					1	1	3	3		8
分 団 長			7	15	11	9	8	4		54
副分団長		1	11	11	12	7	3			45
班 長		8	31	22	16	15	3	1		96
団 員		39	78	99	112	70	41	15	11	465
合 計		39	87	148	160	110	73	33	19	669人

3. 伊勢崎市消防団員の職業構成別状況

(令和7年4月1日現在)

農 業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	卸売・小売・飲食店	サービス業	公務員	その他	合 計
55	91	180	17	46	90	46	144	669人

4. 伊勢崎市消防団員の就業形態別状況

(令和7年4月1日現在)

被用者	自営業	家族従業者	その他	うち学生	合 計
452	109	55	53	15	669人

5. 伊勢崎市消防団出動状況

(令和6年中)

	火 災	演習訓練	特別警戒	警防調査	その他	合 計
出動回数	289	582	174	15	2,581	3641回
出動延人数	1,144	2,814	1,243	90	10,197	15488人

6. 伊勢崎市消防団充足率

(令和7年4月1日現在)

定 数	実 員	充足率
735	669	91.0%

消防関係団体



急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

(令和7年度 全国統一防火標語)

危険物 無事故へ挑む ゴング鳴る

(令和7年度 危険物安全週間推進標語)

消 防 関 係 団 体 の 現 況

(令和7年4月1日現在)

名 称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
群馬県消防協会伊勢崎佐波支部 支部長 金 井 健 一 (伊勢崎市消防団長)	S47.10.1	1,071	消防本部総務課

(令和7年4月1日現在)

名 称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎地区危険物安全協会 会 長 岡 本 英 一	H30.4.1	172	消防本部予防課

(令和7年4月1日現在)

名 称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎佐波防火協会 会 長 城 田 孝 雄	H9.4.1	510	消防本部予防課

(令和7年4月1日現在)

名 称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎佐波少年女性防火委員会 会 長 長 岡 秀 和 (消防長)	S55.11.20	10	消防本部予防課

(委員構成：消防関係2名、消防協力団体7名、教育関係1名)

(令和7年4月1日現在)

名 称	結成年月日	会 員 数	事 務 局
伊勢崎佐波救急医療連絡協議会 会 長 羽 鳥 則 夫 (伊勢崎佐波医師会長)	H10.9.17	21	消防本部救急課

(委員構成：伊勢崎佐波医師会3名、告示7病院14名、伊勢崎市健康推進部長、消防関係3名)

女 性 防 火 ク ラ ブ の 現 況

(令和7年4月1日現在)

名称	本部・支部名	班名	会員数(実数)
伊勢崎市女性防火クラブ 会 長 原 田 初 枝 結成年月日 平成17年4月1日 事務局 消防本部予防課	本 部		(6)
	伊勢崎第1支部	北班・南班・殖蓮班 ・茂呂班	59
	伊勢崎第2支部	三郷班・宮郷班 ・名和班・豊受班	91
	赤 堀 支 部	北班・南班	48
	東 支 部	北班・南班	42
	境 支 部	北班・中央班・南班	69
	合 計		309

※表中の（ ）は兼務者を示す。

※玉村町女性防火クラブは、令和5年3月31日をもって解散となる。

少 年 消 防 ク ラ ブ の 現 況

(令和7年4月1日現在)

名称	結成年月日	会員数
西国定地区少年消防クラブ 指導者 齋 藤 茉莉英	S55.11.20	59
平井地区少年消防クラブ 指導者 清 水 恵 理	S58. 3.21	19
境上矢島地区少年消防クラブ 指導者 後 藤 里 美	S56. 4. 1	23

